

※電気自動車 (EV : Electric Vehicle) の蓄電池に蓄えた電気を家庭に供給すること (Vehicle to Home)

EV用パワーコンディショナ「SMART V2H[※]」

形名

EVP-SS60B3-M7
EVP-SS60B3-Y7
EVP-SS60B3-Y7W

取扱説明書

お客様用

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ず守ること」はご使用前に必ずお読みください。
- 保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。

お客様ご自身では据付けしないでください
(安全や機能の確保ができません。)

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、日本国外ではアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

- この製品は作動中に運転音がします。運転音が気になる場所には据付けしないでください。また、各地区の騒音規制等に関する条例にしたがって設置してください。
- この製品にはリチウムイオン電池を搭載しております。使用済みリチウムイオン電池は、廃棄物処理法により、お客様が適切に処理することが求められます。
- お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

もくじ



| | ページ |
|------------------------------------|-----|
| 安全のために必ず守ること | 2 |
| EV用パワーコンディショナの特長 | 5 |
| タイプM、タイプYの違い | 7 |
| システム機器配置例 | 8 |
| ご使用前に | 9 |
| 各部のなまえとはたらき | 11 |
| 使用前の準備 | 20 |
| 1. 初期設定 | 20 |
| 2. 車両選択設定 | 23 |
| 3. エコノミーモード設定 | 24 |
| 4. 充電スケジュール設定 | 26 |
| 5. EV電池 / ピークカット設定 | 29 |
| 使いかた | 34 |
| 1. 車両に充電する | 34 |
| 2. 自立運転をする | 39 |
| 3. いろいろな使いかた | 43 |
| 〔1〕 エコノミーモード | 43 |
| 〔2〕 グリーンモード | 44 |
| 〔3〕 EV予約充電モード | 46 |
| 〔4〕 売電最大運転 (EVP-SS60B3-M7のみ) | 48 |
| 〔5〕 余剰売電運転 | 50 |
| 〔6〕 ピークカット運転 | 52 |
| 〔7〕 買電最小運転 | 54 |
| 〔8〕 詳細電力確認 | 56 |
| 〔9〕 システム履歴 / 機器情報確認 | 59 |
| お手入れと定期点検のお願い | 61 |
| 地震発生時のお願い | 65 |
| EVに接続する際のお願い | 66 |
| 車両選択による機能の一部制限に関するお知らせ | 67 |
| エラー停止状態の解除 | 69 |
| 保証とアフターサービス | 70 |
| 故障かな?と思ったら | 71 |
| 仕様 | 78 |


安全のために必ず守ること



- 電気配線工事は、第二種電気工事士の資格を有する販売店・工事店様が実施してください。
- 火災・けが・感電のおそれがありますので、次の注意事項を必ず守って作業してください。
- 据付工事部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用してください。
当社指定部品を使用しないと、故障や事故の原因になります。
- お客様自身での工事は、故障や事故の原因になります。








■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。






■“図記号”の意味は次のとおりです。

| | |
|--|---------------------------------------|
|  警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの |
|  注意 | 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの |




| | |
|---|---|
|  禁止 |  水ぬれ禁止 |
|  分解禁止 |  指示に従い必ず行う |
|  接触禁止 |  接地(アース)線接続 |

| | | | |
|--|--|---|---|
|  警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの | | | |
|  禁止 | 異常のままに放置しない 万一、異臭、発煙があった場合は直ちに「非常停止」ボタンを押してお買上げの販売店にご連絡ください。 火災、感電、やけど、けがの原因になります。 |  禁止 | 子供だけの使用はしない 感電、火災、やけどの原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナの内部、吸気口、排気口、コネクタに金属や水などの異物を入れない 火災、感電、故障の原因になります。 | | 吸気口、排気口をふさがない 火災、やけど、故障の原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナのコネクタはEV以外に接続しない 火災、感電の原因になります。 | | コネクタ、充電ケーブル、EV用パワーコンディショナの上に乗ったり、ぶらさがったり、もたれたりしない 感電、けがの原因になります。 |
| | コネクタの電極に触れない 感電、故障の原因になります。 | | 蹴飛ばしたり強い衝撃をあたえない 感電、火災の原因になります。 |
| | コネクタ、充電ケーブルを踏んだり、充電ケーブルの上に物を置かない 感電、火災、故障の原因になります。 | | 可燃性ガスの近くに置かない 火災の原因になります。 |
| | 使用後や車両を移動するときは、充電ケーブルやコネクタを放置しない 感電、火災、けがの原因になります。 また、車両が乗り上げて充電ケーブルやコネクタを破損する原因になります。 | | コネクタを落下させない 感電、故障、けがの原因になります。 |
| | 心臓ペースメーカ、植え込み型除細動器(ICD)を使用している方は運転中に製品に近づかない 心臓ペースメーカ、ICDの動作に影響を与えるおそれがあります。 製品を操作する必要がある場合は、他の方をお願いしてください。 | | コネクタ、充電ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたり、はさみこんだりしない 感電、火災、けが、故障、破損の原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナは医療機器などの人命に関わる設備や機器として使用しない EV用パワーコンディショナは医療機器などの人命に関わる設備や機器としての使用は意図されておりません。高度な信頼性が要求される設備や機器として使用する場合は、故障に対する保護対策および安全設計に考慮し、適切な処置を行ってください。万一これらの設備や機器にEV用パワーコンディショナを使用されたことにより人身事故、火災事故、および損害などが生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、この場合は保証期間内であっても無料修理の対象外になることがありますので、ご注意ください。 | | 蓄電池システムやディーゼル発電機など、他の発電システムと併設しない 火災、感電、故障の原因になります。 |
| | | | 充電ケーブルを車両に接続する際に、中継ケーブルやアダプターを使用しない 感電、火災の原因になります。 |
| | | | コネクタ、充電ケーブルを破損した場合は使用しない 火災、感電の原因になります。 |
| | コネクタ、充電ケーブルを火気および高温になっているものに近づけない 故障、火災、感電、やけど、けがの原因になります。 | | |
| | コネクタを挿入したまま車両を動かさない 火災、感電、故障や破損の原因になります。 | | |
| | コネクタの挿入が完了していない状態で充放電操作をしない 感電、火災、けがの原因になります。 | | |
| | コネクタのリリースボタンを押したまま充放電動作をしない 故障や破損による感電、火災、けがの原因になります。 | | |

|  警告 | | 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの | |
|---|--|---|--|
|  禁止 | 充放電中にコネクタを無理に引き抜いたりリリースボタンを押さない 破損、故障、感電、火災、やけど、けがの原因になります。 |  接触禁止 | 濡れた手でコネクタ、充電ケーブルを持たない 感電の原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナ、コネクタ、充電ケーブル、リモコンには以下の薬品や油類・洗剤・スプレー等を使用しない シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・洗剤・サビ止め・解氷剤・スプレー等 感電、火災、やけど、破損によるけがの原因になります。 |  分解禁止 | 分解・分解点検・改造は絶対に行わない(コネクタの緊急離脱時は除く) 感電、火災、転倒の原因になります。 蓄電池を分解したり改造しない 蓄電池の漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。 |
|  接触禁止 | 高温時、低温時にはコネクタ、充電ケーブル、EV用パワーコンディショナの上面や背面排気口付近を素手で触れない 感電、火災、けがの原因になります。 |  指示に従い必ず行う | お手入れの際は必ずEV用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押して運転を停止し、保守用ブレーカ、PV用ブレーカを「OFF」にして、車両からコネクタを外す 感電・火災の原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナの内部には手を触れない 感電の原因になります。 | | 電解液が蓄電池からこぼれて皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに清潔な水で洗い流す 目に入った場合は、こすらずにすぐに多量の清潔な水で洗い流す 洗い流した後、医師の治療を受けてください。 |
| | 災害発生時や雷鳴時にはEV用パワーコンディショナに触れない 感電、故障の原因になります。 |  接地(アース)線接続 | 接地(アース)線の接続は確実にを行う 感電、火災の原因になります。 |

|  注意 | | 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの | |
|---|---|--|---|
|  禁止 | EV用パワーコンディショナの上にはものを置かない 火災、感電、けがの原因になります。 |  禁止 | 地震後、漏電ブレーカがOFF(トリップ)した場合は、自立運転を行わない 短絡や漏電が起こり火災の原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナに蒸気をあてない 露がつき漏電、焼損の原因になります。 |  接触禁止 | 真夏にコネクタ、充電ケーブルを素手でさわらない 高温のため、やけどの原因になります。 |
| | EV用パワーコンディショナを次のような場所では使用しない ・浴室 ・洗面所や脱衣所の直接蒸気のかかる場所(浴室側扉の上部、洗面台の上部)など著しく湿度の高いところ(感電、漏電、焼損の原因になります) ・台所など油煙や蒸気を受けるところ(感電、漏電、焼損の原因になります) ・可燃性ガスなどが漏れるおそれのあるところ(製品周囲にたまると火災の原因になります) ・無線機など高周波機器があるところ(誤作動により焼損の原因になります) | |  水ぬれ禁止 |
| | | | EV用パワーコンディショナ、充電ケーブル、コネクタを高圧洗浄機で洗浄しない 感電、故障の原因になります。 |

安全のために必ず守ること つづき

|  注意 | | 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの | |
|--|---|--|--|
|  指示に従い 必ず行う | 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変の後は点検を受ける 電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因になります。 |  指示に従い 必ず行う | 地震、大雪後の点検を受ける アンカーボルトの固定にゆるみや異常があるとEV用パワーコンディショナが転倒してけがをすることがあります。また、電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因になります。 |
| | 充電ケーブルに足を引っ掛けないよう十分注意する 充電ケーブルが損傷し、火災や感電の原因になります。また、充電ケーブルで足をつまずき、けがの原因になります。 | | リモコンに蓄電池交換のお知らせが表示された場合は、リチウムイオン電池を交換する 劣化した蓄電池を使用し続けると、発煙、発火、火災の原因になります。 |
| | 車両との接続時に、宙吊りにならないように充電ケーブルを地面に接触させる 充電ケーブルで足をつまづき、けがの原因になります。また、充電ケーブルの荷重が加わるため、コネクタの根元が破損する可能性があります。 | | お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。 |
| | 必ず側面のケーブルフックに掛けて収納する 充電ケーブルで足をつまずき、けがの原因になります。 | | EV用パワーコンディショナをから拭きするときには手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。 |
| | 充電ケーブルは定期的に交換する 劣化した充電ケーブルを長期間使用しますと、火災や感電の原因になることがあります。 | | コネクタに直射日光が当たっているときや低温時に、コネクタを操作する場合は手袋を着用する 着用しないとやけどや凍傷の原因になります。 |

EV 用パワーコンディショナの特長

1. 電気自動車 (EV)、太陽光発電システム (PV)、系統の電力を同時に使用可能

EV、PV、系統の3種類の電力から、家庭内の使用電力量とお選びの運転モードに応じて買電電力量を抑制することで、エネルギーピークシフトに大きく貢献できます。太陽光発電の余剰電力を多く売電することもできます。

※PVを設置する場合があります。

2. 蓄電システムを構築

EV に搭載の蓄電池を活用。EV と EV 用パワーコンディショナの組み合わせにより、蓄電システムを構築できます。

また、「電力需給制御システム」により、充電⇄放電の切り替え時に、電力供給停止時間（瞬時停電）なく運転継続することができます。

3. EV への充電機能

- ・最大出力6kWの充電能力により、普通充電器の1/2の時間^{*1}で充電することができます。
- ・充電コネクタはCHAdeMO（チャデモ）^{*2}規格を採用していますので、CHAdeMO規格充電対応車への充電が可能です。

※1 200V普通充電器(出力3kW)と、EV用パワーコンディショナ「SMART V2H」(出力6kW)を比較した場合。使用条件により充電量は変化します。

※2 CHAdeMO(チャデモ)はEVの急速充電方法の商標で、CHAdeMO(チャデモ)協議会の登録商標です。

- ・EV用パワーコンディショナ本体、または、リモコン操作により車両に充電できます。
- ・リモコンの操作によりタイマー設定による充電も可能です。

4. 契約電力内充電

契約電力により設置される受電部のブレーカ容量を超えないように、充電電力をコントロールします。

※契約ブレーカ容量を超える負荷が接続された場合は、契約ブレーカがトリップします。

※力率の悪い家電製品を使用すると、本機能が効かない場合があります。

※負荷を不平衡で使用すると、本機能が効かない場合があります。

5. 停電時に対応

停電時の自立運転で、家庭用のコンセントからそのまま住宅内に電力が供給できます。太陽光発電を併設すれば、停電時にEVへの充電も可能です。

6. 鍵付ケーブルカバー取り付け可能

充電ケーブルの保護、充電中のいたずら防止のために、鍵付ケーブルカバーをオプション（別売）で準備しています。

EV 用パワーコンディショナの特長 つづき

●さまざまな運転モード

3つの通常運転（自動運転）モードと、6つの割り込み運転（手動運転）モードを選択できます。

【3つの通常運転】

あらかじめ設定された充電時間や給電時間に従って自動運転するモードです。

①エコノミーモード P43 参照

夜間はEVに充電、昼間はEVから給電するピークシフトで、経済性を優先するモードです。

②グリーンモード P44 参照

昼間はPVの電力で生活・EV充電を行い、夜間はEVから給電を主な電力源とすることで、エネルギーの自給自足をめざす環境に配慮したモードです。

③EV予約充電モード P46 参照

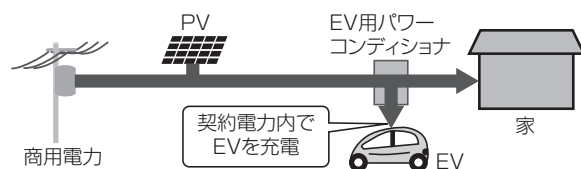
設定した時間にEVに充電するモードです。充電された電力は給電には使用されません。

【6つの割り込み運転】※1

あらかじめ設定された充電時間や給電時間に関係なく手動運転するモードです。

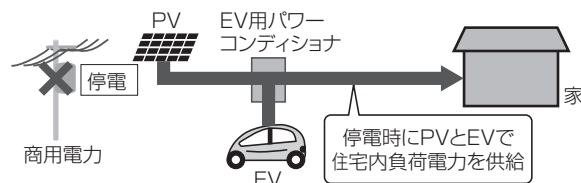
①EV充電運転 P34 参照

強制的にEV充電を開始します。
買電電力が設定したピークカット目標値を超える場合は充電量を抑えます。



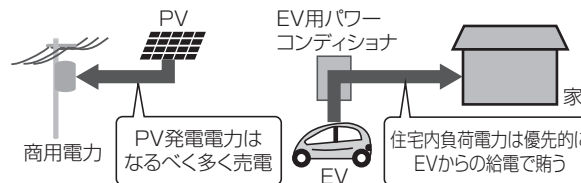
②自立運転 P39 参照

停電時に、自立運転（PVとEVからの給電）を開始します。PVの発電で電力が余った場合は、EVに充電します。
※外付けPV用パワーコンディショナは、停電時、EV用パワーコンディショナとの連携はできません。



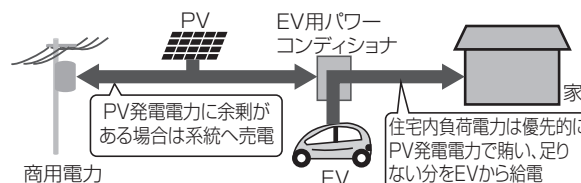
③売電最大運転 P48 参照

住宅内の電力はEVからの電力を優先し、PVの売電を優先するモードです。（EVP-SS60B3-M7のみ）



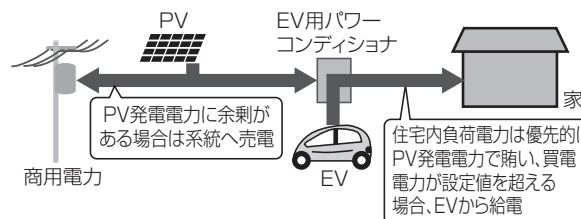
④余剰売電運転 P50 参照

住宅内の電力はPVからの電力を優先します。余った電力は売電し、不足した場合は、EVからの給電で賄い、商用電力からの買電を最小に抑えるモードです。



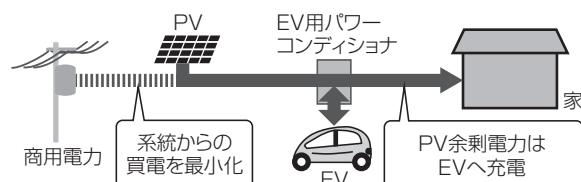
⑤ピークカット運転 P52 参照

住宅内の電力はPVからの電力を優先します。余った電力は売電し、不足した場合は買電します。買電電力が設定したピークカット目標値を超える場合は、EVからの給電で賄い、買電を抑えるモードです。



⑥買電最小運転 P54 参照

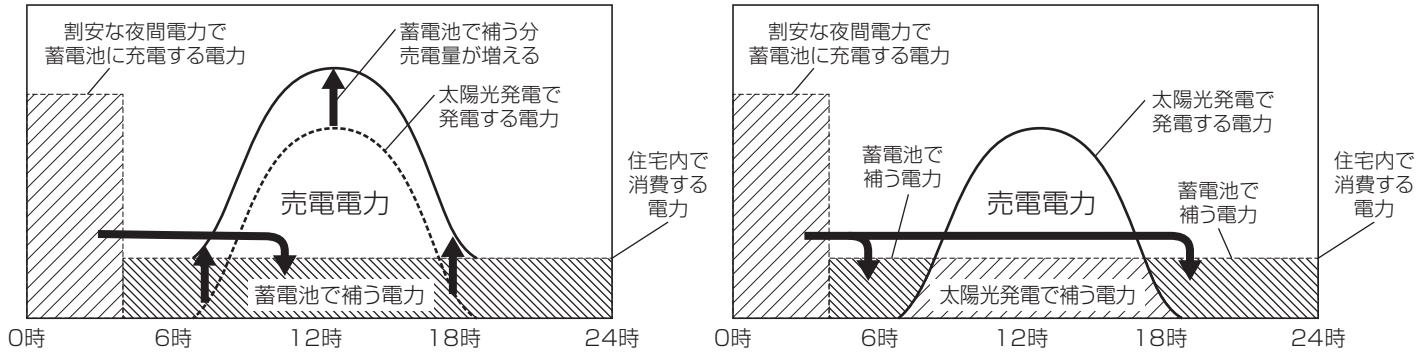
住宅内の電力はPVからの電力を優先します。余った電力はEVへ充電し、不足した場合は、EVからの給電で賄い、商用電力からの買電を最小に抑えるモードです。



※1 割り込み運転を使用すると通常運転が解除されます。通常運転を選択する場合は、再度モードの設定が必要です。

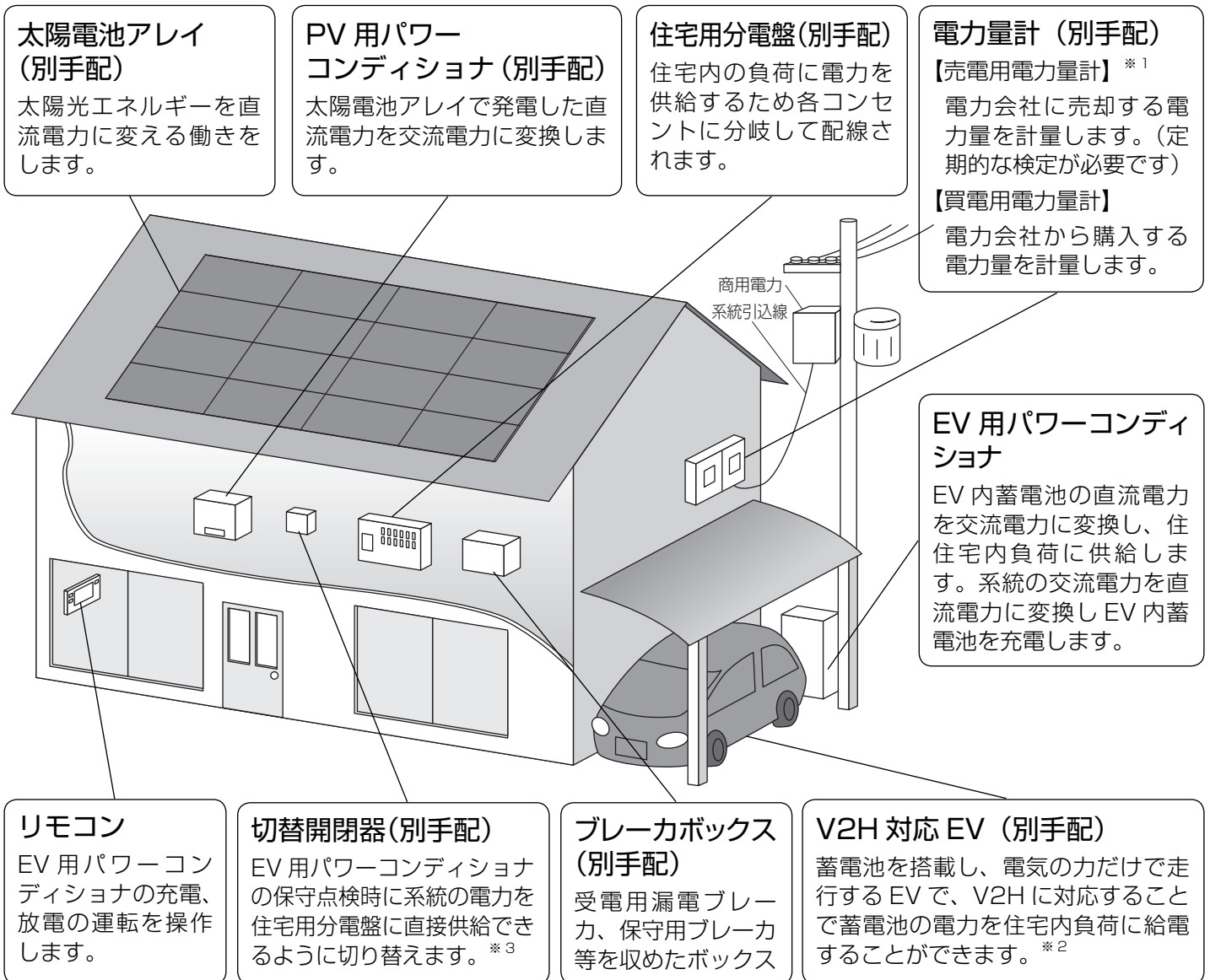
タイプM、タイプYの違い

■タイプMイメージ図 エコノミーモード（売電最大） ■タイプYイメージ図 エコノミーモード（余剰売電）



| 製品タイプ | 概要 | 電力売電ニーズ |
|---|--|---|
| タイプM EVP-SS60B3-M7 | <p>昼間に家庭内で使う電力をEVから給電し、PVで発電した分の電力はなるべく多く売電することになります。</p> <p>この場合、売電単価はダブル発電単価となり、売電単価は余剰売電単価に比べて低くなりますが、総売電電力量は多くなります。</p> <p>EV用パワーコンディショナに接続できるPV用パワーコンディショナは定格出力が6.0kW以下に限ります。</p> <p>太陽電池容量が大きいなどPV用パワーコンディショナを2台以上接続（EV用パワーコンディショナの他に6.0kWを超える分の外付けPV用パワーコンディショナを接続）した場合、EV用パワーコンディショナの他に接続することになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PV発電電力は1台目のみの表示で外付けPV分は表示されません。 ・ 買電/売電電力はEV用パワーコンディショナの外付けPVの発電電力を除いた電力での表示値になります。 <p>外付けPV用パワーコンディショナは、停電時、EV用パワーコンディショナとの連携はできません。</p> | PVでつくった電気をできるだけ多く売りたいかたに最適。 |
| タイプY EVP-SS60B3-Y7 EVP-SS60B3-Y7W | <p>昼間に使う電力をPVでまかない、余った電力のみを売電することになります。</p> <p>この場合、売電単価は余剰売電単価となり、タイプMと比較して、総売電電力量は少なくなりますが、売電単価はダブル発電単価に比べて高くなります。</p> <p>EV用パワーコンディショナに接続できるPV用パワーコンディショナは定格出力が6.0kW以下に限ります。</p> <p>太陽電池容量が大きいなどPV用パワーコンディショナを2台以上接続（EV用パワーコンディショナの他に6.0kWを超える分の外付けPV用パワーコンディショナを接続）した場合は、Y7Wでのご使用になります。外付けPVがある場合は、リモコンに表示されるPV発電電力および積算電力量は2台の合計で表示されます。（各PV用パワーコンディショナ個別には表示できません）</p> <p>外付けPV用パワーコンディショナは、停電時、EV用パワーコンディショナとの連携はできません。</p> | 電力会社からの電気の購入をできるだけ減らしたいかた、PVでつくった電気を余剰売電単価で売りたいかたに最適。 |

システム機器配置例



※1：EV内蓄電池の電力は売電（商用系統への逆潮流）することができません。

※2：給電（V2H）機能はリーフ、e-NV200、MiEV（ミーブ）シリーズ、アウトランダー PHEV が対応しています。（2017年3月現在）

「リーフ」「e-NV200」は、日産自動車株式会社の登録商標です。

「MiEV（ミーブ）」「アウトランダー」は三菱自動車工業株式会社の登録商標です。

※3：切替開閉器をブレーカボックスに収めても問題ありません。

メモ

EV用パワーコンディショナの中には、住宅内に電力を供給する蓄電池は搭載していません。本システムをご使用になるためには、EVが必要です。

ご使用前に

据付けに関するお願い

- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)
- お客様ご自身でEV用パワーコンディショナ内のブレーカをONにしないでください。
- パワーコンディショナが下記のような場所に据付けられていないか確認してください。
 - ・ガス類や引火物の近く(ガスボンベからは2m以上離す)
 - ・温泉など腐食物質(硫黄やアンモニアなど)が存在するところ
 - ・物置など換気の少ない密閉された狭い空間
 - ・浴室の窓付近など蒸気が存在し、湿気の多い場所
 - ・過度の水蒸気、煙、塵埃、塩分が存在するところ
 - ・振動または衝撃を受けるところ
 - ・テレビ、ラジオのアンテナやケーブルに近いところ(3m以上離すこと)
 - ・積雪するところ、落雪するところ、雪の吹きだまるところ
 - ・降雨時に冠水し、水につかるような場所
 - ・常に水に濡れるところ
 - ・特殊な条件下(船舶、自動車など)
 - ・重塩害地域
 - ・日中(10:00～15:00)に直射日光の当たるところ(風通しの良い日陰への据付けをおすすめします)
 - ・アスファルトの上への直接施工(必ずコンクリート基礎を準備すること)
 - ・EV用パワーコンディショナの充電ケーブルが、車両の急速充電口に届かないところ
- リモコンが下記のような場所に据付けられていないか確認してください。
 - ・屋外
 - ・人の手が届かない高所や押入れの中
 - ・台所などの油蒸気が存在するところ
 - ・浴室の窓付近など湿気の多い場所
 - ・過度の水蒸気、煙、塵埃、塩分が存在するところ

お願い

- ・車両がEV用パワーコンディショナに衝突するとパワーコンディショナが故障します。
必ず、輪止め等の保全をしてください。
(車両の衝突に起因する不良修理対応は有償となります)
- ・受電用主幹漏電ブレーカと保守用ブレーカは「OFF」にしないでください。
EV用パワーコンディショナ内部のリチウムイオン電池の容量が少なくなり、運転を行うことができなくなります。

ご使用の前に つづき

工事が完了しましたら販売店・電力会社から次の資料を受け取り、直射日光や水濡れを避けるため屋内に大切に保管してください。

(竣工点検表で工事が確実に行われたことを確認してください)

大切に保管してください

販売店より

- ・システム仕様書※
- ・システム配線系統図※
- ・システム機器配置図※
- ・「ご購入製品の登録」のご案内
※販売店の書式による
- ・取扱説明書(本書)
- ・竣工点検表
- ・保証書
- ・EV用パワーコンディショナ出荷検査成績書
- ・定期検査点検表
- ・コネクタ緊急離脱用工具

電力会社より

- ・電力受給契約書(電力会社により書類が異なります)

※保証書の「引き渡し日」「保証期間」「販売店名」を必ず確認してください。

■PVの売電料金の請求のしかた

PVで発電され消費電力として消費し切れず余った電力は、電力会社が購入しますので、電力受給契約書に基づき電力会社へ売電料金の請求の手続きを行ってください。

EV用パワーコンディショナと組み合わせて使用する場合、ダブル発電の適用を受ける場合と受けない場合で、太陽光発電電力の売電単価が異なります。

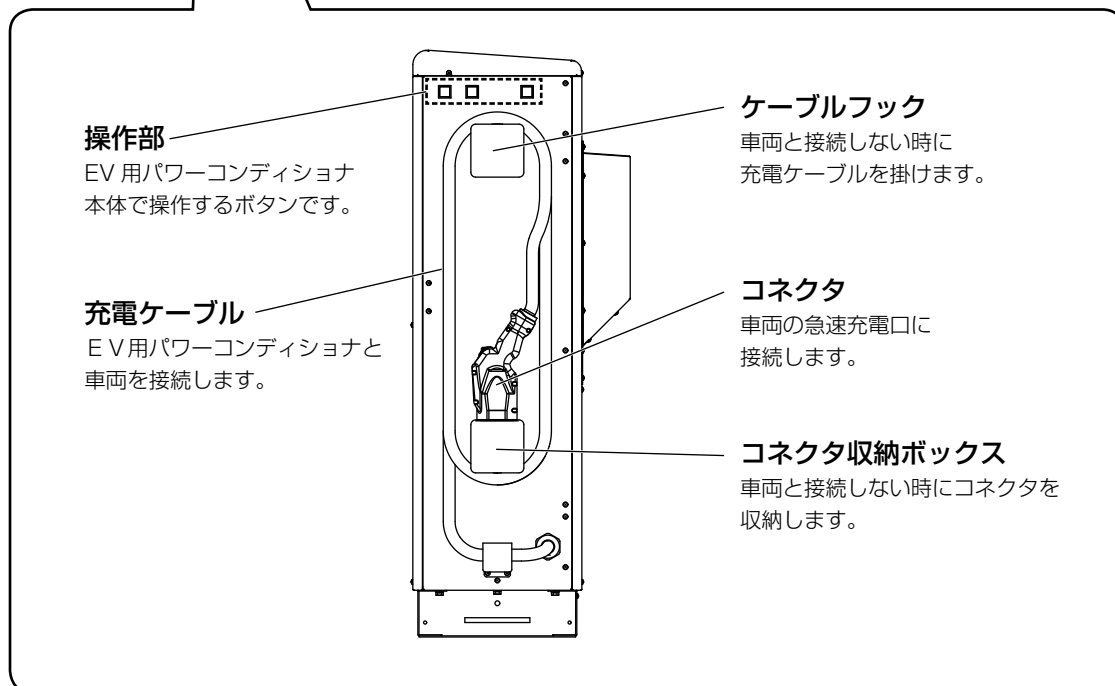
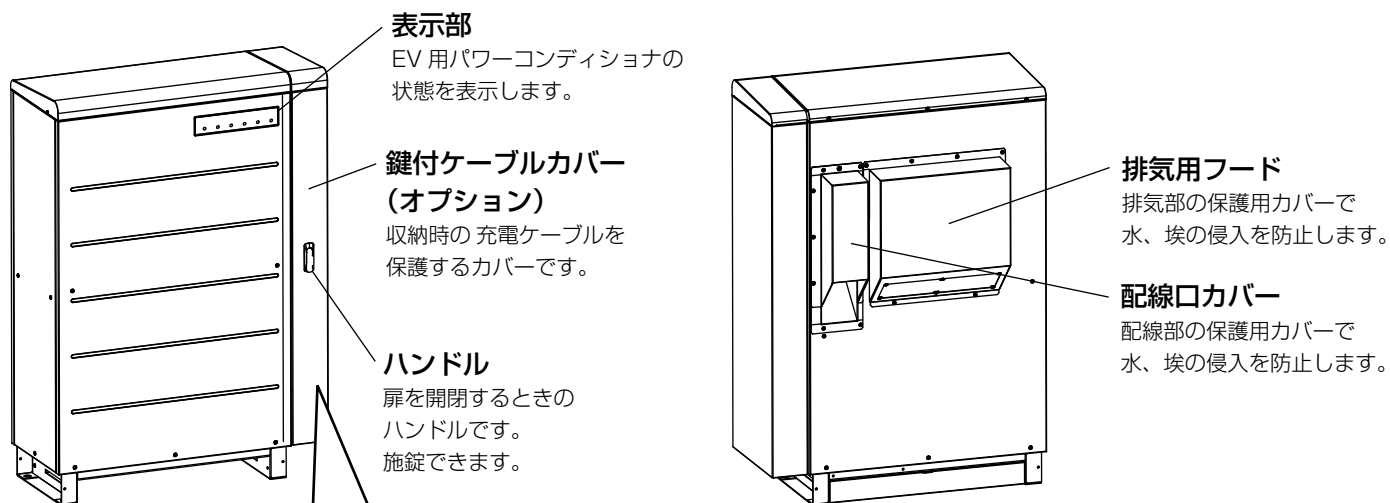
メモ

電力会社との取り決めにより、EVに充電した電気は売電することはできません。

住宅内の消費にご利用いただけます。

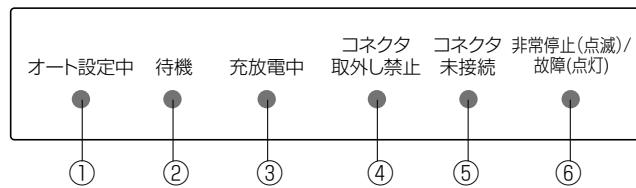
各部のなまえとはたらき

■EV用パワーコンディショナ本体【製品外観】



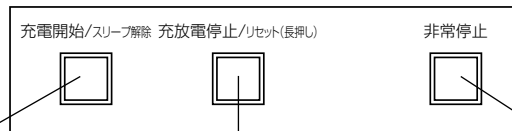
各部のなまえとはたらき つづき

【表示部】



| ランプの種類 | ランプの色 | 本製品の状態 |
|--------------------|-------|--|
| ①オート設定中 | 緑 | 通常運転（自動運転）を設定した場合に点灯します。 |
| ②待機 | 緑 | 充電、放電（給電）動作の準備中に点灯します。 |
| ③充放電中 | 緑 | 充電動作時、放電（給電）動作時に点灯します。 |
| ④コネクタ取外し禁止 | 橙 | 充電中、放電（給電）中など安全上コネクタの取外し操作を禁止する場合に点灯します。 |
| ⑤コネクタ未接続 | 橙 | 車両にコネクタが接続されていない場合に点灯します。 |
| ⑥非常停止（点滅） / 故障（点灯） | 赤 | 故障が発生したときに点灯します。 |

【操作部】



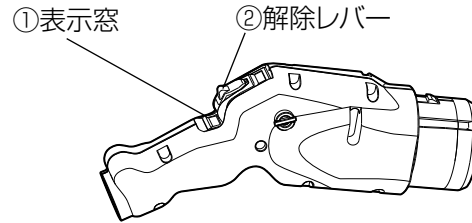
①充電開始/スリープ解除ボタン

②充放電停止/リセット(長押し)ボタン

③非常停止ボタン

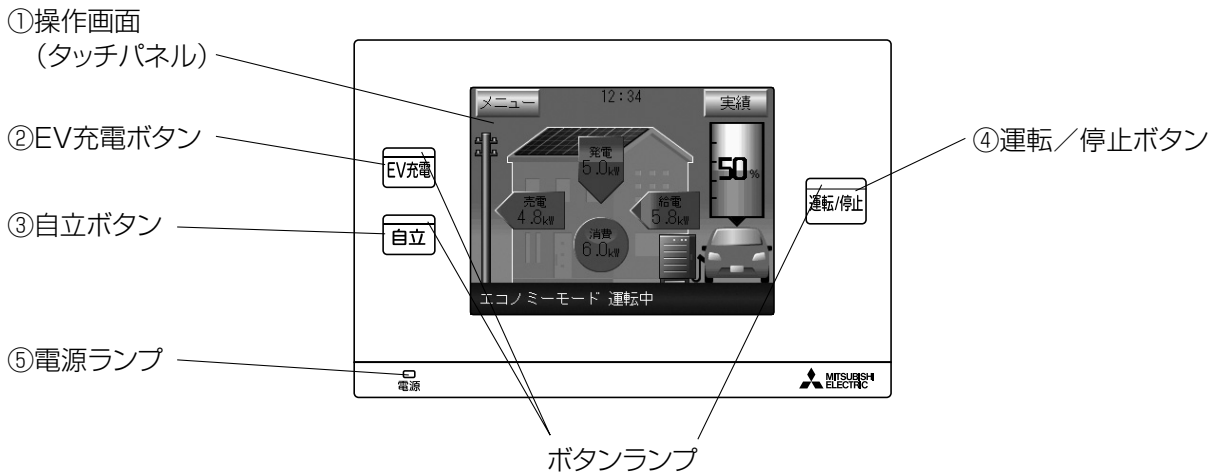
| なまえ | 機能説明 |
|-----------------------|--|
| ①充電開始 / スリープ解除ボタン | <p>車両への充電を開始します。（通常運転（自動運転）を設定している場合は無効となります） 通常運転（自動運転）を停止し、EV 充電させたい場合は、リモコンの「EV 充電」ボタンを押してください。充電完了後、再度通常運転（自動運転）させたい場合は、リモコンで再設定してください。スリープ状態を解除します。（スリープ時のみ）*</p> <p>※スリープはEV 用パワーコンディショナ内部の動作を停止し電力の消費を抑える機能です。停電発生から 10 分以内に自立運転を開始しない場合に自動でスリープ状態になります。 ※スリープ状態ではリモコンの電源ランプが消え、操作画面が表示されません。スリープ状態を解除するには本体側面の「充電開始 / スリープ解除」ボタンを押してください。 ※停電が終わると自動的にスリープ状態は解除されます。</p> |
| ②充放電停止 / リセット（長押し）ボタン | <p>車両への充電や、車両からの放電（給電）を停止します。 通常運転（自動運転）中は、ボタンを押すと一時停止します。コネクタを抜き差しするか、リモコン操作をすると、一時停止を解除し、通常運転（自動運転）が再開します。*</p> <p>※割り込み運転はコネクタの抜き差しにより再開されません。 ※コネクタの抜き差しによる通常運転の一時停止解除機能は、ご使用の車種により使用できない場合がございます。本ボタンを長押し（約 5 秒間）するとリセットによりエラー停止状態を解除します。（P69 参照）</p> |
| ③非常停止ボタン | <p>充電や放電（給電）を停止します。*</p> <p>通常は、「充放電停止 / リセット（長押し）」ボタンで停止してください。 ※非常停止ボタンはラッチ（状態の保持）がかかるボタンです。誤って非常停止ボタンを押してしまった場合は、③非常停止ボタンをもう一度押してラッチをはずし、次に②充放電停止 / リセット（長押し）ボタンを長押し（約 5 秒間）して解除できます。リモコンの操作では解除できません。</p> |

【コネクタ】



| なまえ | 機能説明 |
|--------|---|
| ①表示窓 | 青色表示時：コネクタの解除レバーがロックされ、コネクタをEVから取り外すことはできません。充電中や放電（給電）中であることを示します。（停止中でもコネクタに電圧が印加されているエラー状態の場合はロックがかかり青色表示になります） 白色表示時：コネクタの解除レバーが操作可能状態で、コネクタをEVから取り外すことができます。運転停止中でコネクタに電圧が印加されていない状態です。 |
| ②解除レバー | 充放電が停止し、コネクタを取り外すときに押します。 |

【リモコン】



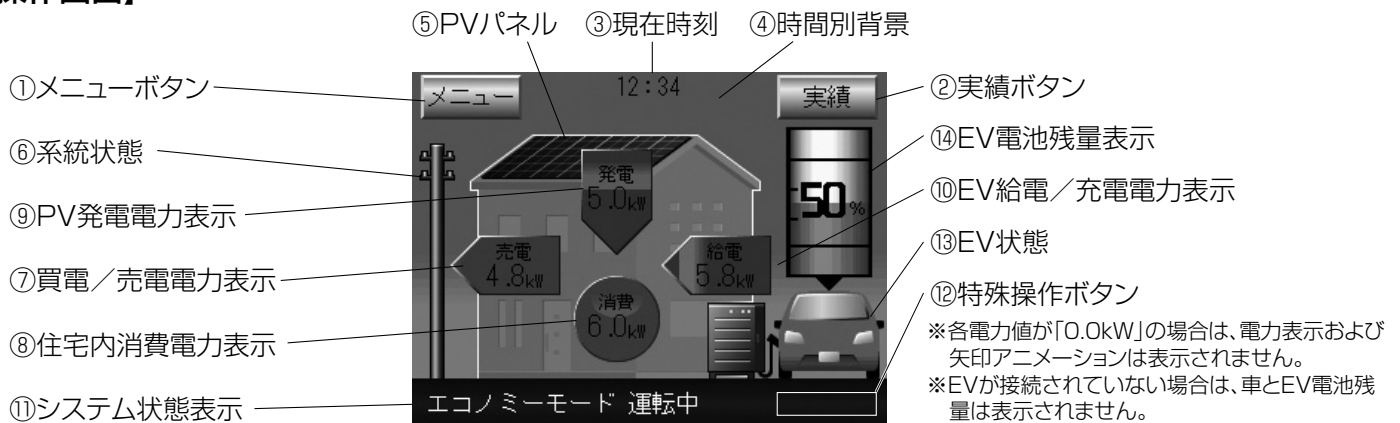
| なまえ | 機能説明 |
|----------------|--|
| ①操作画面 (タッチパネル) | 現在の状態の表示や、各種設定、運転モードの切り替えを画面タッチで行います。無操作状態で約5分経過すると液晶画面とバックライトが消灯します。消灯時に画面をタッチすると液晶画面とバックライトが再点灯します。 |
| ②EV充電ボタン | EV充電運転する場合に押します。運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。ボタンランプは、EV充電時（割り込み運転）：点灯、それ以外：消灯します。 |
| ③自立ボタン | 停電時に自立運転する場合に押します。（停電していない場合は自立運転を開始できません）運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。ボタンランプは、自立時：点灯、それ以外：消灯します。 |
| ④運転/停止ボタン | 各運転モードを運転または停止します。停止時に「運転/停止」ボタンを押すと前の運転モードを再開します。運転中に「運転/停止」ボタンを押すと停止します。運転開始操作はホーム画面表示時のみ有効です。ボタンランプは、運転時：点灯、停止時：消灯します。通常運転（自動運転）設定時はタイマーによる運転自動停止時を含めて、点灯します。 |
| ⑤電源ランプ | EV用パワーコンディショナから電源が供給されると点灯します。通常常時点灯します。 |

※停電発生により自立運転設定が可能な場合、および非常停止中には全てのボタンランプが点滅します。

※スリープ状態ではリモコンの電源ランプが消え、操作画面が表示されません。スリープ状態を解除するには本体側面の「充電開始/スリープ解除」ボタンを押してください。

各部のなまえとはたらき つづき

【操作画面】

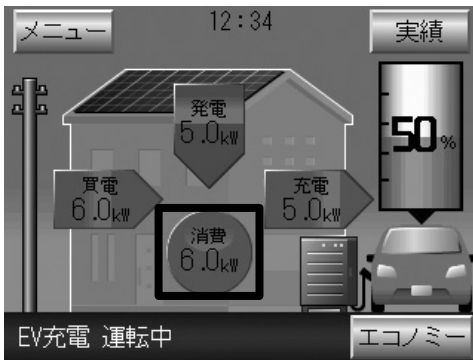


※各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示および矢印アニメーションは表示されません。
 ※EVが接続されていない場合は、車とEV電池残量は表示されません。

| なまえ | 機能説明 | |
|--------------|--|------------------------------|
| ①メニューボタン | ボタンを押すとメニュー（1/3）画面を表示します。 | |
| ②実績ボタン | ボタンを押すと各種積算電力量の状況を表示します。 | |
| ③現在時刻 | 現在時刻を表示します。（00:00～23:59） | |
| ④時間別背景 | 現在時刻に応じて背景画像を切り替えます。 6:00～17:59は日中背景、18:00～5:59は夜間背景を表示します。 | |
| ⑤PVパネル | メニュー2/3の「システム履歴/機器情報」-「機器情報」-「太陽光発電システム」が「接続」に設定されている場合、PVパネルを表示します。（出荷時は、未接続に設定されています） | |
| ⑥システム状態 | システム状態に応じて系統電柱画面を切り替えます。 正常時は通常電柱画像、停電時は×付電柱画像を表示します。 | |
| ⑦買電/売電電力表示 | 系統からの売電、買電電力を表示します。（売電は左矢印、買電は右矢印） 表示箇所を押すと吹き出しで「本日の電力量収支（買電または売電）」を表示します。 | 本日の電力量収支 （買電） 15.9kWh |
| ⑧住宅内消費電力表示 | 住宅内の消費電力を表示します。 表示箇所を押すと吹き出しで「本日の積算消費電力量」を表示します。 | 本日の 積算消費電力量 15.9kWh |
| ⑨PV発電電力表示 | PVの発電電力を表示します。 表示箇所を押すと吹き出しで「本日の積算発電電力量」を表示します。 | 本日の 積算発電電力量 15.9kWh |
| ⑩EV給電/充電電力表示 | EVの給電、充電電力を表示します。（給電は左矢印、充電は右矢印） 表示箇所を押すと吹き出しで「本日の電力量収支（給電または充電）」を表示します。 | 本日の電力量収支 （給電） 15.9kWh |
| ⑪システム状態表示 | 運転状態、システム状態など、システムの運転状態を表示します。 運転モードを切り替えると、選択した運転モードで「○○○ 運転中」と文字が点滅表示し、運転準備状態になります。しばらく経過すると、「○○○ 運転中」文字が通常表示し、選択した運転状態になります。文字が点滅表示中に、文字箇所を押すと、システムコードなどの運転状態を表示することができます。HEMS操作中は「HEMS 操作中：○○○」と表示されます。 | |
| ⑫特殊操作ボタン | <ul style="list-style-type: none"> ・ショートカット機能として、前回運転していた通常運転（自動運転）の設定に応じて、「エコノミー」/「グリーン」/「EV予約充電」ボタンの何れかを表示します。割り込み運転後、通常運転に戻したい場合などに押してください。 ・通常運転中にEV用パワーコンディショナ本体側で「充放電停止/リセット（長押し）」ボタンを押すと、通常運転は一時停止になり、「一時停止解除」ボタンが表示されます。リモコン側から通常運転を継続したい場合に押してください。（PI2参照） ・HEMS操作中はリモコンでの運転ができません。HEMS操作中は、特殊操作ボタンが「HEMS解除」と表示されますので、リモコン運転したい場合はボタンを押してHEMS解除してください。 | |
| ⑬EV状態 | “EV接続状態”、“放電未対応”に応じて車画像を切り替えます。 “EV接続状態”が検出できない場合は白抜車画像、検出時は青色車画像、“放電未対応”のEVが検出された場合は車画像上部に「充電のみ」と表示されます。 | |
| ⑭EV電池残量表示 | <ul style="list-style-type: none"> ・EVの電池残量を電池残量アニメーションで表示します。EVから電池残量情報を取得できない場合は、「-」で表示します。 ・EVの電池残量は、コネクタを抜き差しされた場合などは、再度、各運転モードによりEV給電/充電しないとEVから値を取得できません。 ・“充電上限設定”、“放電下限設定”に応じて、上下限領域を表示します。また、電池表示箇所を押すと吹き出しで“充電上限設定値”、“放電下限設定値”（0～100%）を表示します。 ・“EV満充電”、“EV不足充電”に応じて、「Limit」を表示します。“EV満充電”の場合、電池残量の上部、“EV不足充電”の場合、電池残量の下部に表示します。リモコンと車両の表示が異なる場合がありますが計算方式の違いによるもので異常ではありません。 | 充電上限値 80% 放電下限値 20% |

※本製品は計量法の対象製品ではありません。表示される数値は目安であり、電力量計の値や電力会社からの請求書他、各種数値と異なる場合があります。

【電力表示】



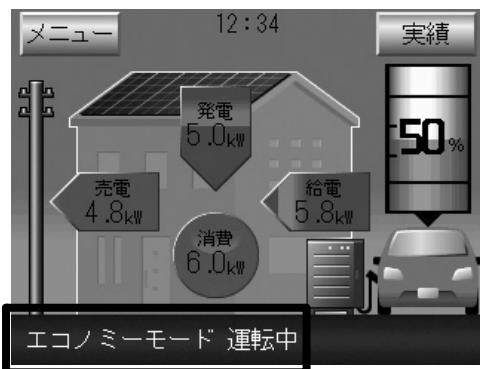
メモ

リモコンの電力表示はいずれも交流（系統側）の電力を表示しています。

※EV用パワーコンディショナが交流電力を直流電力に変換するための損失はEV充電電力表示に含まれます。

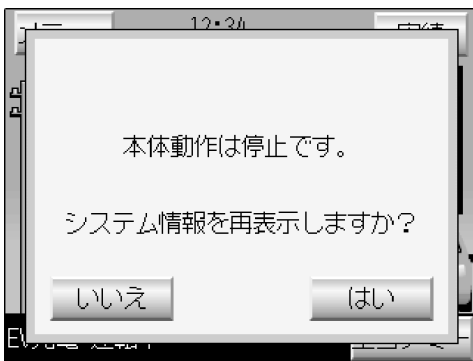
※EV用パワーコンディショナの消費電力は住宅内消費電力表示に含まれます。

【システム状態表示】

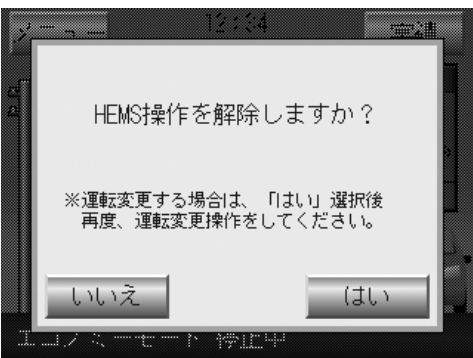


メモ

運転モードを切り替えると、選択した運転モードで「○○○ 運転中」と文字が点滅表示し、運転準備状態になります。しばらく経過すると、「○○○ 運転中」文字が通常表示し、選択した運転状態になります。



※システム状態表示が点滅表示中に、文字箇所を押してシステム情報を取得すると、現在発生しているシステムコードなどの情報を表示して、運転モードが変化しない原因を確認することができます。



メモ

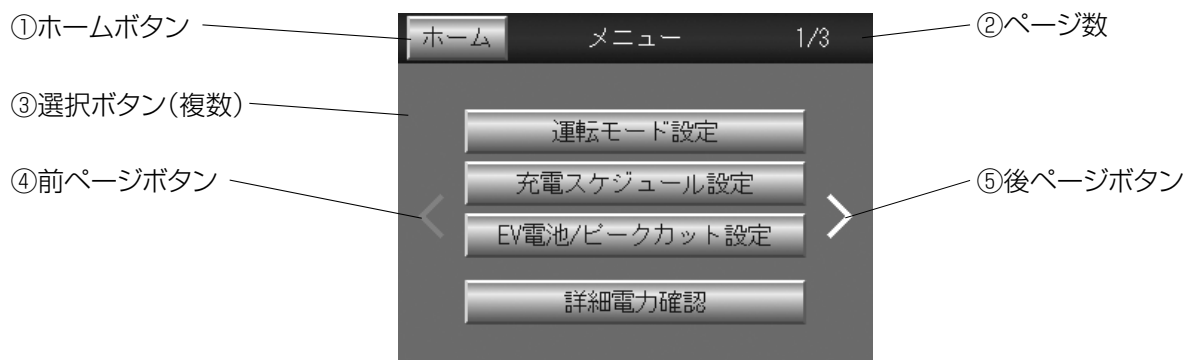
HEMS 操作中はホーム画面左下のシステム状態表示に「HEMS 操作中：○○○」と表示されて、リモコンでの運転ができません。リモコン運転したい場合は、ホーム画面右下の「HEMS 解除」ボタンを押すと、「HEMS 操作を解除しますか？」のポップアップ確認画面が表示されるので、「はい」を押した後、リモコン運転をしてください。

(HEMS を解除せずに、「EV 充電」ボタン、「自立」ボタン、「運転/停止」ボタン、または、メニュー画面中の「運転モード設定」ボタンを押しても、「HEMS 操作を解除しますか？」のポップアップ確認画面が表示されます)

以前のリモコン運転が通常運転（自動運転）であった場合は、HEMS 操作を解除した後、以前のリモコンの通常運転（自動運転）状態に戻ります。また、以前のリモコン運転が割り込み運転（手動運転）であった場合は、HEMS 操作を解除した後、HEMS で設定した割り込み運転（手動運転）と同じ運転状態が継続します。

各部のなまえとはたらき つづき

【メニュー画面】



| なまえ | 機能説明 |
|-------------|---|
| ①ホームボタン | ボタンを押すとホーム画面を表示します。 |
| ②ページ数 | ページ数を (1/3 ~ 3/3) で表示します。 3/3 はサービスマンが製品設置時などに使用するページで、お客様はご使用できません。 |
| ③選択ボタン (複数) | ボタンに応じた設定画面に遷移します。 |
| ④前ページボタン | 前ページのメニュー画面に遷移します。 |
| ⑤後ページボタン | 後ページのメニュー画面に遷移します。 |

| 製品タイプ | メニュー 1/3 | メニュー 2/3 | メニュー 3/3 |
|---|----------|----------|----------|
| タイプM (ダブル発電適用) EVP-SS60B3-M7 | | | |
| タイプY EVP-SS60B3-Y7 EVP-SS60B3-Y7W | | | |

※ 3/3 はサービスマンが製品設置時などに使用するページで、お客様はご使用できません。

【メニュー一覧】

| メニュー画面 | タブ | 機能選択 | 設定 | 説明 |
|---------------|-----------|---------------------|----------------|--|
| 運転モード設定 | 通常運転設定 | エコノミー | エコノミーモードの運転開始 | 夜間はEVに充電、昼間はEVから給電するピークシフトで、経済性を優先するモードです。 |
| | | グリーン | グリーンモードの運転開始 | 昼間はPVの電力で生活・EV充電を行い、夜間はEVから給電する、環境に配慮したモードです。(充電設定もできます) |
| | | EV予約充電 | EV予約充電モードの運転開始 | ユーザーの時間設定でEVに充電するモード ※EVの電力は給電に利用しない設定。 |
| | 割り込み運転設定 | 売電最大 (ダブル発電機種のみ) | 売電最大運転開始 | 住宅内消費はEVからの給電でまかない、太陽光発電電力の売電を優先するモードです。 |
| | | 余剰売電 | 余剰売電運転開始 | 住宅内消費は太陽光発電からの電力を優先し、余った電力は売電するモードです。 |
| | | ピークカット | ピークカット運転開始 | 目標値を超えないようにEVから給電し、買電を抑えるモードです。 |
| | | 買電最小 | 買電最小運転開始 | 住宅内消費をEVからの給電でまかない、買電を最小に抑えるモードです。太陽光発電からの電力が余ればEV充電します。 |
| 充電スケジュール設定 | 充電タイプ設定 | 夜間電力利用 | 通常運転時の充電時間設定 | EV充電を、契約による電気料金が割安の夜間時間帯で行う場合に選択してください。 |
| | | ユーザー設定 | 通常運転時の充/給電時間設定 | EV充/給電を、任意の設定時間で行う場合に選択してください。 |
| | | 夜間電力外充電 | 有効/無効 | 夜間電力時間中に充電が完了しない場合に、夜間電力時間を超えて充電を継続するかを選択してください。 |
| | 充電/給電時間設定 | 充電時間 | HH:MM ~ HH:MM | EV充電を実施する時間を設定してください。 |
| | | 給電時間 | HH:MM ~ HH:MM | EV電力を住宅内消費に活用する時間を設定してください。 ※EVが未接続または充電量が少ない場合を除きます。 |
| EV電池/ピークカット設定 | EV電池設定1 | 充電上限設定1 | **% | 接続するEVに充電する上限値を設定します。 ※設定値になった場合には充電を停止します。 |
| | | 充電残量設定1 | **% | EVの給電利用時に、残しておく充電量を設定します。 ※設定値になった場合には給電(放電)を停止します。 |
| | EV電池設定2 | 充電上限設定2 | **% | 買電最小(グリーンモードの場合は「給電時間」動作時)のときに、EV電池を長持ちさせるために、充電を制限する上限値を設定します。 ※設定値になった場合には給電(放電)のみ実施します。 |
| | | 充電残量設定2 | **% | 非常時のために、残しておく充電量を設定します。 ※EVの放電下限値+設定値になった場合には給電(放電)を停止します。 |
| | ピークカット設定 | ピークカット目標値 | **.*kW | 電力会社から買う電力の節約目標とする上限値を設定してください。 下記の運転時のみ設定が有効です。 ・通常運転(自動運転)モード時の夜間電力利用時間帯のEV充電 ・通常運転(自動運転)モード時のユーザー設定の充電時間帯のEV充電 ・割り込み運転のEV充電運転 ・割り込み運転のピークカット運転 |

各部のなまえとはたらき つづき

| メニュー画面 | タブ | 機能選択 | 設定 | 説明 |
|------------------|-------------------------------|-----------|--|--|
| 詳細電力確認 | 日 (8日分) | グラフ | — | 1日の各電力量を時間単位でグラフ表示します。 |
| | | 数値 | — | 1日の各電力量を時間単位で数値表示します。 |
| | 月 (3ヶ月分) | グラフ | — | 1ヶ月の各電力量を日単位でグラフ表示します。 |
| | | 数値 | — | 1ヶ月の各電力量を日単位で数値表示します。 |
| | 年 (3年分) | グラフ | — | 1年の各電力量を月単位でグラフ表示します。 |
| | | 数値 | — | 1年の各電力量を月単位で数値表示します。 |
| 初期設定 | 時刻設定 | — | YYYY年MM月DD日HH時MM分 | 時刻設定をしてください。 |
| | 契約内容 入力 | 夜間電力時間帯 | HH:MM ~ HH:MM | 「夜間電力利用」選択時の契約による電気料金が割安の夜間時間帯を設定してください。 |
| | | ブレーカ容量 | 30A(3kVA)、40A(4kVA)、 50A(5kVA)、60A(6kVA)、 30A(6kVA)、40A(8kVA)、 50A(10kVA) | 電力会社との契約内容を入力してください。 |
| | その他 | ブザー音量 | 切/小/中/大  | ブザー音量を選択してください。 ブザー音の種類 ・ボタン操作音: 「ピッ」と1回鳴ります ・警告、注意音: 「ピーピーピー」と繰り返し音が鳴ります |
| LAN接続 | | 有効/無効 | LAN接続の有効/無効を選択してください。 | |
| システム履歴 / 機器情報 | システム履歴 | — | — | システム履歴は最大20個まで閲覧できます。古いものから順に上書き消去されます。 |
| | 機器情報 | — | — | MACアドレス表示 リモコンソフトウェアバージョン表示 本体ソフトウェアバージョン表示 |
| | | 太陽光発電システム | 接続/未接続 | 太陽光発電システムの設置状況を入力してください。 |
| 車両選択設定 | — | — | 1/2 | 1: タイプA (リーフ、e-NV200) 2: タイプB (i-MiEV, MINICAB-MiEV VAN, MINICAB-MiEV TRUCK, アウトランダーPHEV) 詳細は、「2. 車両選択設定」() をご確認ください。 |
| | エコノミーモード設定 EVP-SS60B3-M7のみ | — | 売電条件設定 | 通常運転「エコノミーモード」の売電に関する条件を設定してください。 |

各メニューの設定は、運転状態により設定値が変更できない場合があります。

その場合はポップアップ画面が表示され、設定を変更できないことを表示します。

設定変更できる条件を下表に示します。

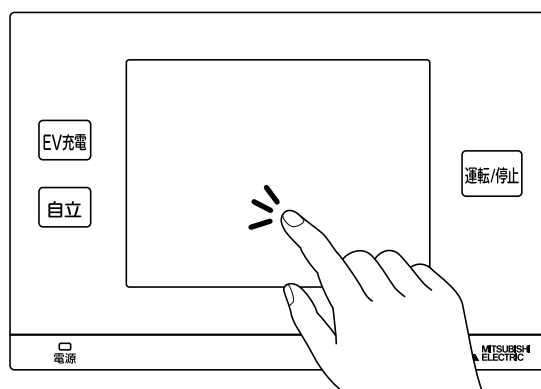
ピークカット設定、時刻設定、ブザー設定以外の設定変更は、運転が停止状態時に反映されます。

○：設定変更可能 ×：設定変更不可

| 設定変更項目 | 運転モード | 停止 | EV 充電運転 自立運転 売電最大運転 余剰売電運転 ピークカット運転 買電最小運転 | エコノミーモード グリーンモード EV 予約充電モード |
|-------------------|-------|----|---|-----------------------------------|
| 充電タイプ設定 | | ○ | ○ | × |
| 充電 / 給電時間設定 | | ○ | ○ | × |
| EV 電池設定 1 | | ○ | × | × |
| EV 電池設定 2 | | ○ | × | × |
| ピークカット設定 | | ○ | ○ | ○ |
| 時刻設定 | | ○ | ○ | × |
| 契約内容入力 | | ○ | × | × |
| その他 - ブザー、LAN | | ○ | ○ | ○ |
| 機器情報 - 太陽光、車両選択設定 | | ○ | × | × |
| エコノミーモード設定 | | ○ | ○ | × |

タッチパネルの使い方

リモコンのディスプレイはタッチパネルになっており、ディスプレイを直接指で触れて操作できます。タッチパネルを軽くたたたく操作で目的の項目に触れると、その項目を選択できます。



タッチパネル使用上のお願い

- 必要以上に強い力で操作しないでください。故障の原因になります。
- 汚れた指で操作しないでください。画面に汚れが付着して見えにくくなる場合があります。
- タッチパネル画面は強化ガラスでできていますが、万が一強化ガラスが割れた場合は指で触れたりせず修理を依頼してください。
- タッチパネル表面にフィルムなどを貼らないでください。タッチ操作が正常に行えなくなる場合があります。また、汚れや水滴が付いた場合は柔らかい布で取り除いてください。
- ボールペンやシャープペン、金属類などの硬いものや鋭利なものでは操作しないでください。けがや故障の原因になります。
- タッチする力が弱いと反応しないことがあります。
- タッチ操作はゆっくり確実に行ってください。素早く連打などすると、誤動作の原因になります。

使用前の準備

ご使用になる前に、「初期設定」、「エコノミーモード設定」(EVP-SS60B3-M7のみ)、「充電スケジュール設定」、「EV電池/ピークカット設定」、「機器情報」の5つの設定が必要です。なお、「使用前の準備」の説明は充電コネクタが接続された状態のものです。充電コネクタの接続方法は **P34** を参照してください。

設定は運転停止(運転/停止ボタン ランプオフ)状態で設定してください。説明の画面はEVP-SS60B3-M7の場合です。EVP-SS60B3-Y7、EVP-SS60B3-Y7Wはメニュー画面説明(**P16**)をご覧ください。

1. 初期設定

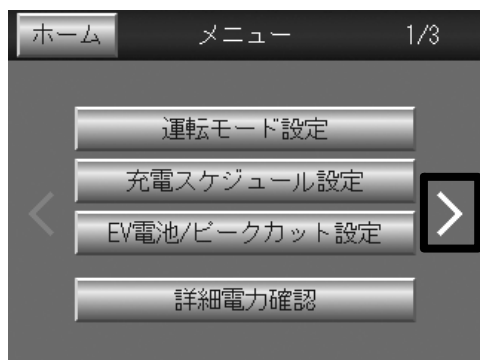


(1) 「メニュー」ボタンを押す。

※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「—」で表示します。



(2) 「>」を押す。



(3) 「初期設定」ボタンを押す。

1-1. 時刻設定

設定後

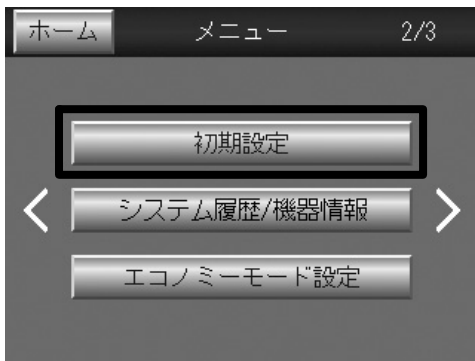


(4) 「時刻設定」ボタンを押し、「▼」「▲」ボタンで日時を設定して「完了」ボタンを押す。

「完了」ボタンを押すと00秒からスタートします。

※変更が無い場合は「完了」ボタンを押さないで、「戻る」ボタンを押してください。

※変更すると実績データの一部がクリアされます。



(5) 「初期設定」 ボタンを押す。

1-2. 契約内容入力



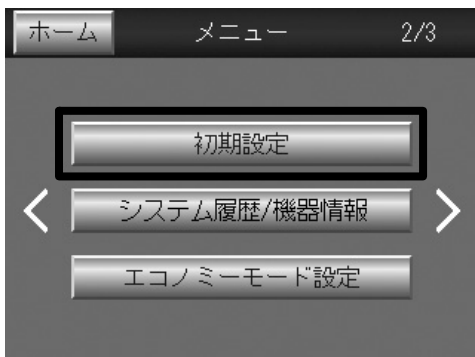
(6) 「契約内容入力」 ボタンを押し、「▼」「▲」 ボタンで「夜間電力時間帯」(P7)および「ブレーカ容量」を設定して「完了」ボタンを押す。

ブレーカ容量は、30A(3kVA)、40A(4kVA)、50A(5kVA)、60A(6kVA)、30A(6kVA)、40A(8kVA)、50A(10kVA) から選択できます。

※変更が無い場合は「完了」ボタンを押さないで、「戻る」ボタンを押してください。
 ※本設定は、ブレーカトリップ防止用であり、電力会社との契約容量に応じた正しい値を設定してください。ブレーカ容量の設定は、高めに設定することはできますが、契約ブレーカがトリップする場合がありますのでお気をつけください。また、低めに設定することは可能ですが、EV充電完了時間が長くなる場合がありますので、お気をつけください。

〈工場出荷時〉

「夜間電力時間帯」23:00～07:00、「ブレーカ容量」60A(6kVA)



(7) 「初期設定」 ボタンを押す。

1-3. その他の設定



(8) 「その他」 ボタンを押し、「ブザー音量」「LAN 接続」を設定すると、確認画面が出るので「はい」を押す。



@部分は下記のいずれかが表示されます。

- ・「ブザー音量」を「切」に設定しますか?
- ・「ブザー音量」を「小」に設定しますか?
- ・「ブザー音量」を「中」に設定しますか?
- ・「ブザー音量」を「大」に設定しますか?
- ・「LAN接続」を「有効」に設定しますか?
- ・「LAN接続」を「無効」に設定しますか?

※「LAN接続」は、HEMSコントローラを接続する場合、「有効」に設定してください。

LAN接続しない場合は、「無効」に設定してください。

〈工場出荷時〉

「ブザー音量」切、「LAN接続」無効

使用前の準備 つづき



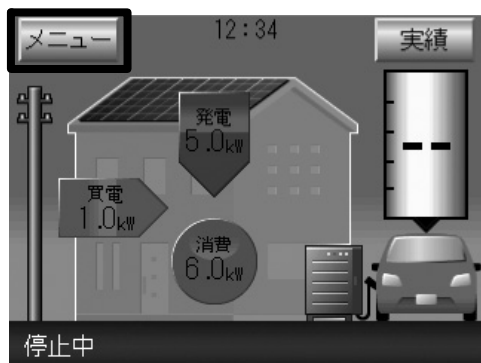
(9) 以上で初期設定は終了です。「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。



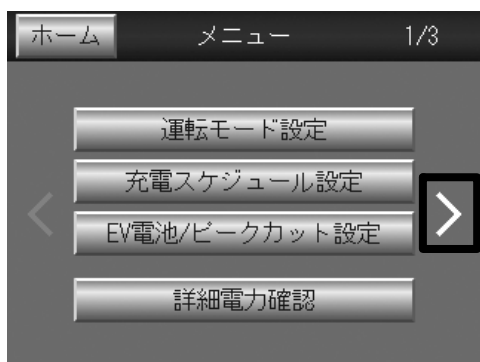
2. 車両選択設定

EV用パワーコンディショナの車両選択の確認、変更を実施します。

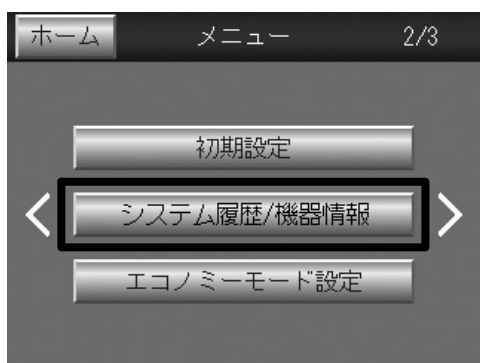
車両選択



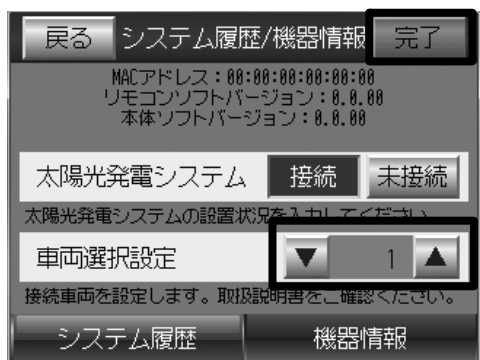
(1) ホーム画面の左上にある「メニュー」ボタンを押す。



(2) 「>」を押す。



(3) 「システム履歴 / 機器情報」ボタンを押す。



(4) 「車両選択設定」の設定値がご使用の車種に合わせて設定されていることを確認する。合っていれば「戻る」ボタンを押す。変更する場合は「▼」「▲」ボタンで設定値を変更して「完了」ボタンを押す。

使用前の準備 つづき

| 車両選択 | 車種 | メーカー | 設定値 ^(※2) |
|---|---|-------------|---------------------|
| タイプA (初期設定) ※タイプBの車種と併用する場合はタイプBに設定してください。 | リーフ、e-NV200 | 日産自動車株式会社 | 1 |
| タイプB ^(※1) | i-MiEV、 MINICAB-MiEV VAN、 MINICAB-MiEV TRUCK、 アウトランダー PHEV | 三菱自動車工業株式会社 | 2 |

「リーフ」「e-NV200」は日産自動車株式会社の登録商標です。

(2017年3月現在)

「MiEV (ミーブ)」「アウトランダー」は三菱自動車工業株式会社の登録商標です。

(※1) タイプBに設定された場合、機能が一部制限されます。(P67参照)

(※2) 設定値3は選択しないでください。

設定を変更する場合はEV用パワーコンディショナが停止中に実施してください。

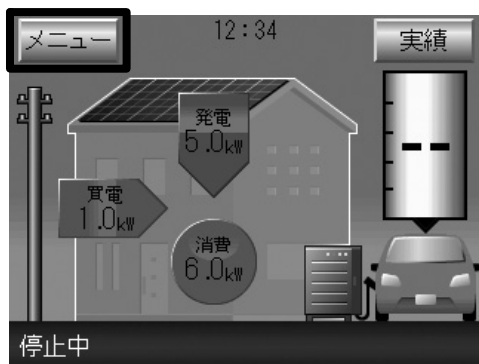


(5) 以上で車両選択設定は終了です。

「ホーム」ボタンを押してホーム画面に戻ってください。

3. エコノミーモード設定

エコノミーモード運転の売電時の運転条件を設定します。(EVP-SS60B3-M7のみ)

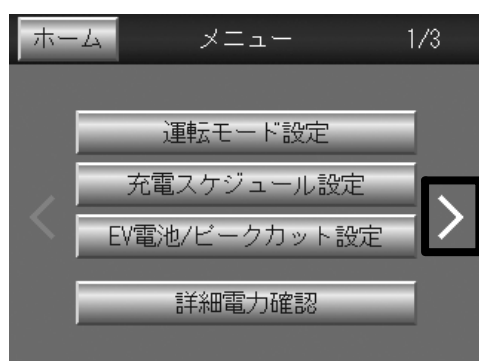


(1) 「メニュー」ボタンを押す。

※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

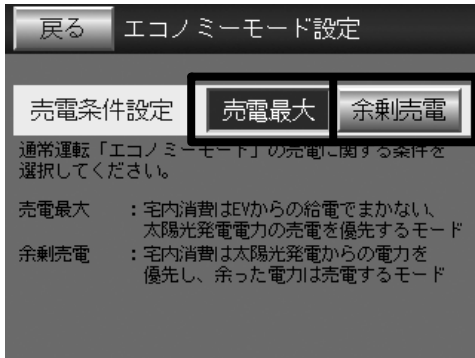
※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「—」で表示します。



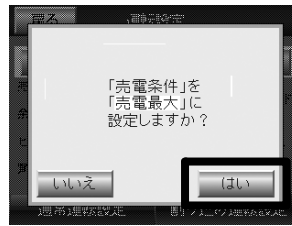
(2) 「>」を押す。



- (3) 「エコノミーモード設定」ボタンを押す。
本ボタンは EVP-SS60B3-M7 のみ表示されます。



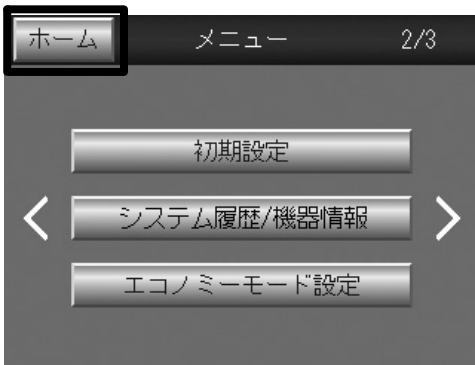
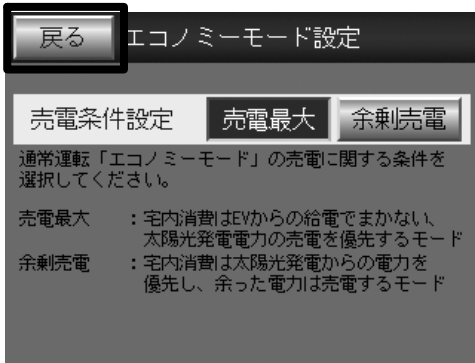
- (4) 売電条件設定で、「売電最大」または「余剰売電」ボタンを押すと、確認画面が出るので「はい」を押す。



お知らせ

「売電条件」を「余剰売電」に設定した場合でも、EVP-SS60B3-M7 の売電単価は変わりません。

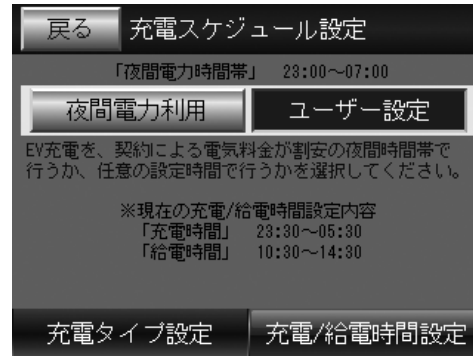
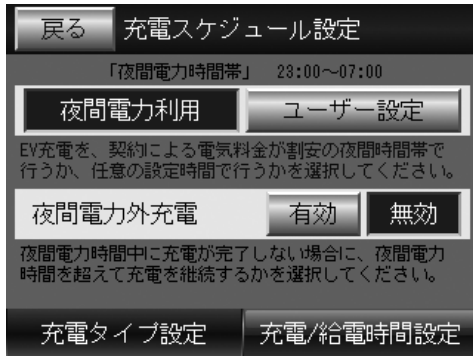
〈工場出荷時〉
「売電条件設定」売電最大



使用前の準備 つづき

4. 充電スケジュール設定

通常運転時（エコノミーモード、グリーンモード、EV 予約充電モード）に EV に充電 / 給電する時間を設定します。
（給電時間設定は EV 予約充電モードには適用されません）



【充電スケジュール設定で「夜間電力利用」を選択時】

(A) 夜間電力時間帯：EV 充電動作

(B) (A) 以外の時間帯：

- ・エコノミーモード設定時：EV 給電動作

売電最大運転相当：住宅内負荷を EV 給電でまかない、押し上げられた PV の発電電力は売電する。
(EVP-SS60B3-M7 のみ)

余剰売電運転相当：買電を最小にするように、住宅内負荷を EV 給電と PV 給電でまかなう。
但し、PV 発電で余剰電力が発生した場合は、EV を停止し、PV の余剰電力を売電する。

- ・グリーンモード設定時：EV 給電動作

買電最小運転相当：買電を最小にするように、住宅内負荷を EV 給電と PV 給電でまかなう。
但し、PV 発電で余剰電力が発生した場合は、EV 充電する。

- ・EV 予約充電モード設定時：停止

【充電スケジュール設定で「ユーザー設定」を選択時】

(A) 充電時間：EV 充電動作

(B) 給電時間：

- ・エコノミーモード設定時：EV 給電動作

売電最大運転相当：住宅内負荷を EV 給電でまかない、押し上げられた PV の発電電力は売電する。
(EVP-SS60B3-M7 のみ)

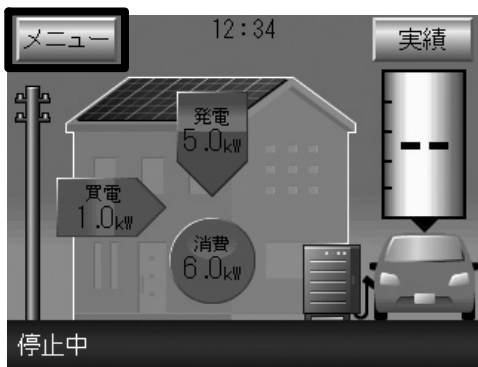
余剰売電運転相当：買電を最小にするように、住宅内負荷を EV 給電と PV 給電でまかなう。
但し、PV 発電で余剰電力が発生した場合は、EV を停止し、PV の余剰電力を売電する。

- ・グリーンモード設定時：EV 給電動作

買電最小運転相当：買電を最小にするように、住宅内負荷を EV 給電と PV 給電でまかなう。
但し、PV 発電で余剰電力が発生した場合は、EV 充電する。

- ・EV 予約充電モード設定時：停止

(C) (A) と (B) 以外の時間帯：停止

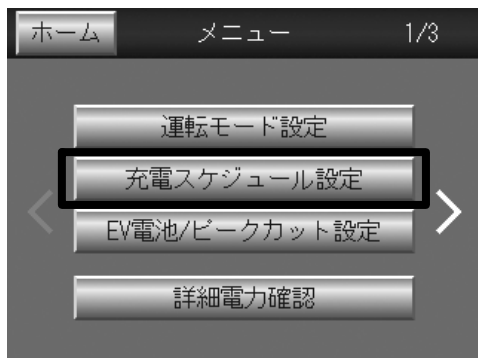


(1) 「メニュー」ボタンを押す。

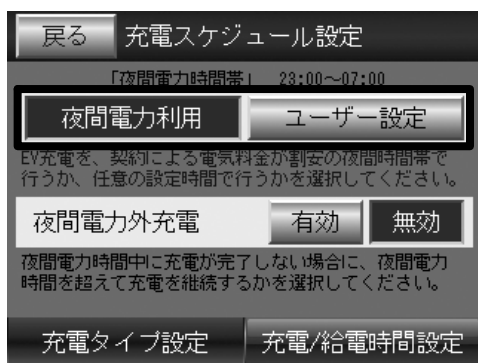
※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「—」で表示します。

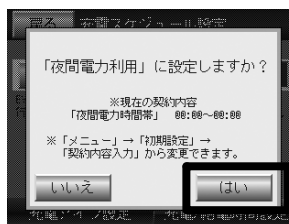


(2) 「充電スケジュール設定」ボタンを押す。

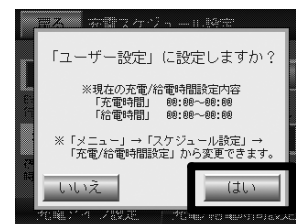


(3) 「夜間電力利用」か「ユーザー設定」を選択する。
確認画面が出ますので、「はい」を押して確定する。

【夜間電力利用選択時】



【ユーザー設定選択時】



・夜間電力利用は、初期設定にて設定した夜間電力時間帯に EV 充電します。(P21 参照)

※夜間電力時間帯に充電が完了しない場合に、夜間電力時間帯を超えて充電を継続したい場合は、「夜間電力外充電」を「有効」に設定してください。(出荷設定は「無効」です)

※「ユーザー設定」選択時は、「夜間電力外充電」は表示されません。

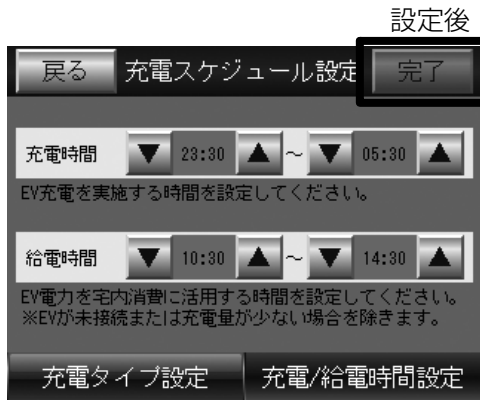
・ユーザー設定は、(4) 項で設定した充電時間帯に EV 充電します。

〈工場出荷時〉

「充電タイプ設定」夜間電力利用

「夜間電力外充電」無効

使用前の準備 つづき



(4) 「充電 / 給電時間設定」 ボタンを押し、「充電時間」と「給電時間」を設定する。

「▼」「▲」ボタンで時間を設定し(10分刻み)、「完了」ボタンを押し。

※変更が無い場合は「完了」ボタンを押さないで、「戻る」ボタンを押してください。

※「充電時間」と「給電時間」は重複して設定することはできません。

※「充電時間」、「給電時間」以外は停止になります。

※充電をしない場合は、「充電時間」 00:00~00:00を設定してください。

※給電をしない場合は、「給電時間」 00:00~00:00を設定してください。

※24時間給電設定をしたい場合は、

「充電時間」 00:00~00:00

「給電時間」 00:00~24:00

を設定してください。

※給電時間設定はEV予約充電モードには適用されません。

〈工場出荷時〉

「充電時間」 00:00~00:00

「給電時間」 00:00~24:00

充電 / 給電時間設定の工場出荷設定値は、24 時間給電設定になっています。

「ユーザー設定」選択時は、お客様のシステム構成に応じて、「充電 / 給電時間設定」を変更してください。

〈充電/給電時間設定例〉

① エコノミーモードで、夜間の割安な時間帯にEV充電、それ以外は給電したい場合。

「充電時間」 23 : 00 - 7 : 00

「給電時間」 7 : 00 - 23 : 00

② グリーンモードで、PVの発電時間帯に合わせてEV充電、それ以外は給電したい場合。

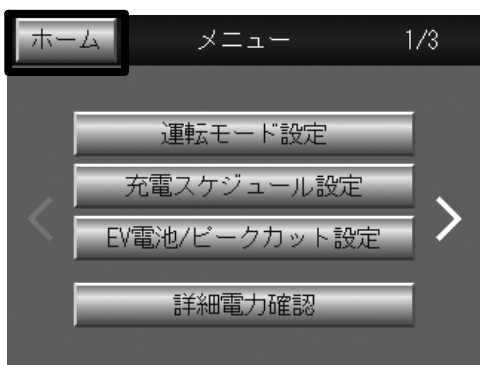
「充電時間」 10 : 00 - 17 : 00

「給電時間」 17 : 00 - 10 : 00

③ EV予約充電モードで、週末などにEVを使用するために、満充電にしておきたい場合。

「充電時間」 23 : 00 - 7 : 00

「給電時間」 設定値は無視されます。



(5) 以上で充電スケジュール設定は終了です。

「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻る。

5. EV 電池 / ピークカット設定

EV 電池の充電上限・下限値、および電力会社からの買電電力の目標上限値（ピーク）を設定します。



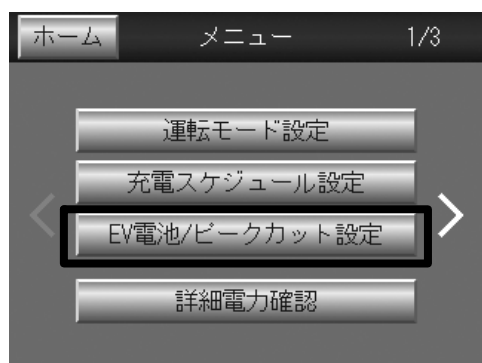
(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※EV接続状態が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「―」で表示します。

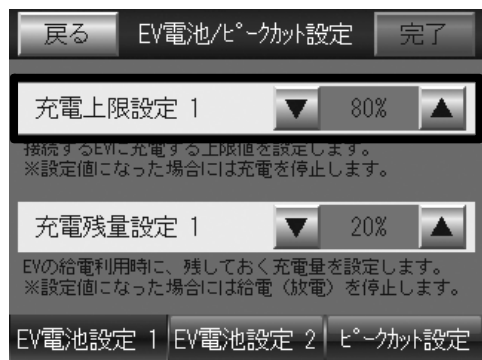
【EV 電池設定 1】



(2) 「EV 電池 / ピークカット設定」 ボタンを押す。

EV に充電する電力量を制限する

EV に充電する電力量を制限したい場合は、「充電上限設定 1」を設定してください。但し、EV 給電動作で使用できる電力量が制限されます。



(3) 「EV 電池設定 1」 ボタンを押し、「▲」「▼」 ボタンで「充電上限設定 1」(5 ~ 100%) を設定する。

※「充電上限設定 1」 > 「充電残量設定 1」になるように設定操作はブロックされます。

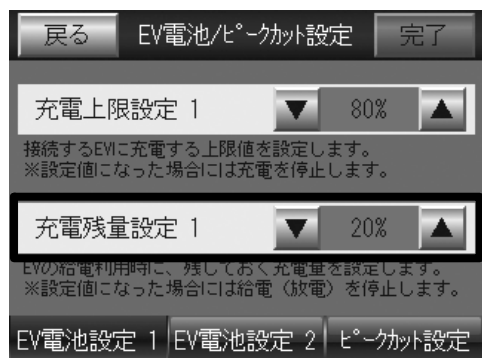
※「充電上限設定 1」とEVが固有で持つ充電上限設定値との小さい方の設定が優先されます。

〈工場出荷時〉

「充電上限設定 1」 100%

EV が走行するための電力を残す

EV が走行するための電力を残したい場合は、「充電残量設定 1」を設定してください。但し、EV 給電動作で使用できる電力量が制限されます。



(4) 「▲」「▼」 ボタンで「充電残量設定 1」(0 ~ 95%) を設定する。

設定後、「完了」 ボタンを押す。

※「充電上限設定 1」 > 「充電残量設定 1」になるように設定操作はブロックされます。

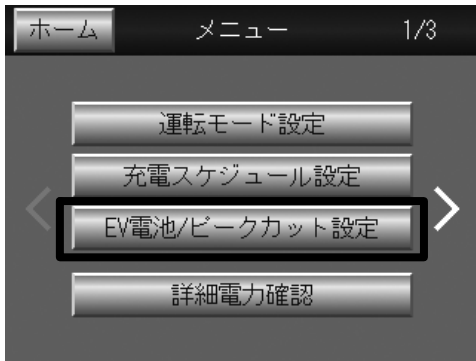
※「充電残量設定 1」と、EVが固有で持つ充電残量設定値との大きい方の設定が優先されます。

〈工場出荷時〉

「充電残量設定 1」 0%

使用前の準備 つづき

【EV 電池設定 2】

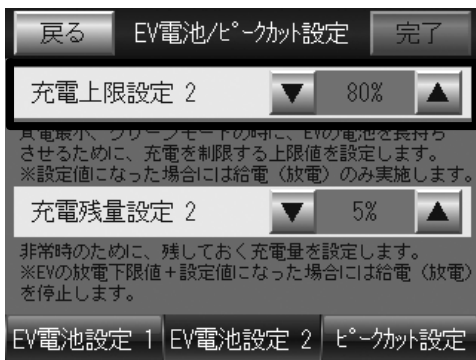


(5) 「EV 電池 / ピークカット設定」 ボタンを押す。

EV 電池を長持ちさせる

「充電上限設定 2」は充放電モードである買電最小運転（グリーンモードの場合は「給電時間」動作時）のみ有効な設定で、EV 電池を長持ちさせるために電池残量レベルを設定値に抑えます。充電により電池残量レベルが「充電上限設定 2」に達した場合、充電動作が停止し、給電により電池残量レベルが一定量下がるまで充電を再開しません。

EV の取扱説明書等に EV 電池を長持ちさせるための推奨設定があれば、その内容に従って「充電上限設定 2」を設定してください。但し、買電最小運転（グリーンモードの場合は「給電時間」動作時）で使用できる電力量が制限されます。推奨設定が特にない場合は、「充電上限設定 2」を「充電上限設定 1」と同じ値に設定してください。



(6) 「EV 電池設定 2」 ボタンを押し、「▲」「▼」 ボタンで「充電上限設定 2」（0 ～ 「充電上限設定 1」）を設定する。

- ※ 「充電上限設定 1」 ≥ 「充電上限設定 2」 になるように「充電上限設定 2」の操作はブロックされます。
- ※ 「充電上限設定 1」を下げても「充電上限設定 2」の値でブロックされません。「充電上限設定 1」を変更した場合は、必要に応じて、「充電上限設定 2」を再設定してください。
- ※ 「充電上限設定 1」と「充電上限設定 2」とEVが固有で持つ充電上限設定値との小さい方の設定が優先されます。

〈工場出荷時〉

「充電上限設定 2」 80%

メモ

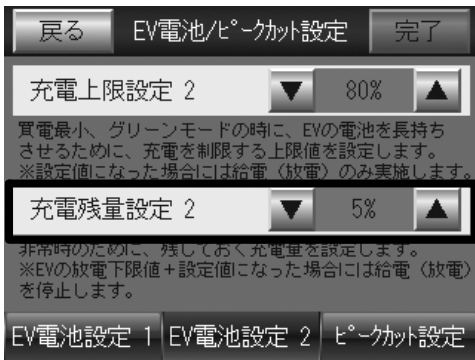
買電最小運転（グリーンモードの場合は「給電時間」動作時）は PV の発電電力や住宅内消費電力の変動に従って充電と放電が頻りに切り替わる場合があり、EV 電池を長持ちさせるために、電池残量の上限値を個別に設定できるようにしています。

電池残量レベルが「充電上限設定 2」の設定値を一定時間内に下回らない場合は、運転を一旦停止し待機電力低減をはかるため、十分な電池残量レベルであっても給電せずに買電を開始する場合があります。（定期的に運転再開の診断をします）

非常時の電力を残す

非常時（自立運転で EV 電池を使い切ったとき）のために残しておく電力量を設定します。非常時に、再び自立運転を開始したい場合は、「充電残量設定 2」を 0% に設定してください。「充電残量設定 2」で確保していた電池残量分（初期設定 5%）だけ EV 電池を使用できます。PV の余剰電力があるときに自立運転を再開すると、PV の電力を EV 電池に充電させることができます。

復電して通常使用に戻した後、「充電残量設定 2」を元の設定に戻してください。



(7) 「▲」「▼」ボタンで「充電残量設定 2」を設定する。設定後、「完了」ボタンを押す。

※ 通常使用の場合は初期設定の5%に設定することを推奨します。

〈工場出荷時〉

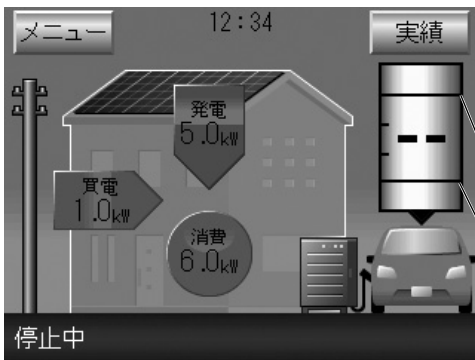
「充電残量設定2」 5%

メモ

非常時に、「充電残量設定 2」を0%に設定すると、再び自立運転を開始して、PVの余った電力をEVに充電できるようになります。PVが発電していないときに再び自立運転を開始すると、EV電池を使い切ってしまう、復電して再び充電するまで運転を再開できなくなります。

お願い

PV用パワーコンディショナが連携してEVに充電を開始するまでの間は、EVから住宅内負荷に給電しますので、できる限り住宅内負荷を減らしてから自立運転を開始してください。



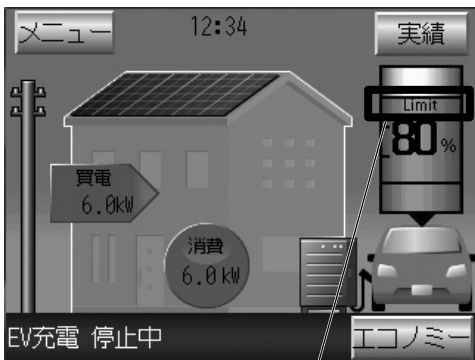
メモ

EV電池設定の「充電上限設定 1」、「充電残量設定 1」はリモコンのホーム画面のEV電池残量表示の上下限領域として表示されます。

※ EVが固有で持つ充電上限設定値、充電残量設定値はリモコンの画面には表示されません。

充電上限設定 1

充電残量設定 1



メモ

リモコンのホーム画面のEV電池残量表示の上部（下部）に「Limit」が表示されたときは「EV満充電」（「EV不足充電」）の状態です。

※ EV電池残量が「充電上限設定 1」またはEVが固有で持つ充電上限設定値より大きい場合、「EV満充電」となります。「EV満充電」のときは充電できません。

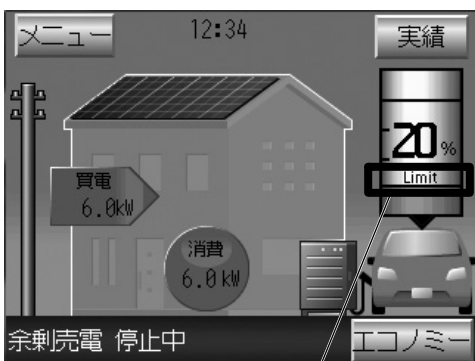
※ EV電池残量が「充電残量設定 1」またはEVが固有で持つ充電残量設定値+「充電残量設定 2」より小さい場合、「EV不足充電」となります。「EV不足充電」のときは給電できません。

※ 自立運転モードの場合は、「EV不足充電」になっても、急に停電させないために、しばらく給電を継続します。

※ 「EV満充電」になると、EV電池残量が約5%低下するまで「EV満充電」の状態を継続します。

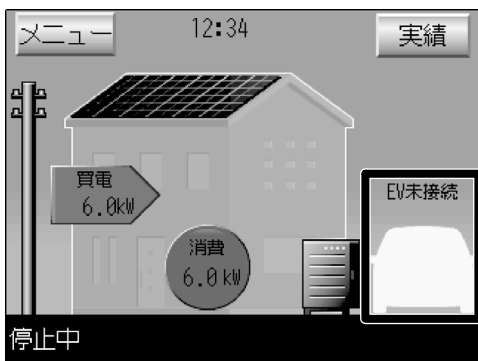
※ 「EV不足充電」になると、EV電池残量が約5%上昇するまで「EV不足充電」の状態を継続します。

EV満充電



EV不足充電

使用前の準備 つづき



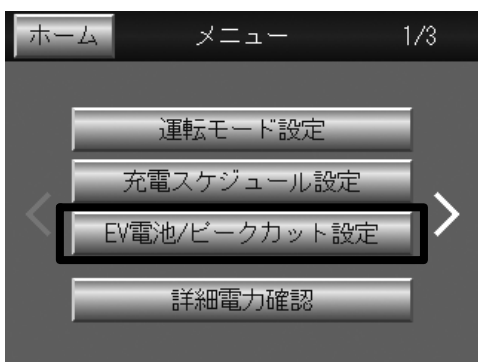
コネクタをEVから外すまでは、“EV満充電”、“EV不足充電”、“放電未対応”、EV電池残量など、EV固有の情報が保持されます。コネクタをEVから外すと、EV固有の情報がクリアされます。

メモ

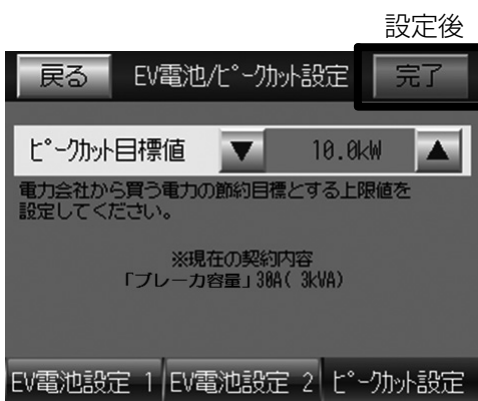
ご使用の車種により、コネクタをEVから外してもEV固有の情報がクリアされない場合があります。その場合は、「車両選択による機能の一部制限に関するお知らせ」の〔2〕(P68)の方法で、EV固有の情報をクリアできます。

※EV固有の情報がクリアされないと、実際のEV電池残量が低下していても、“EV満充電”が保持されて充電ができない場合があります。

【ピークカット設定】



(8) 「EV電池 / ピークカット設定」ボタンを押す。



(9) 「ピークカット設定」ボタンを押し、「▼」「▲」ボタンでピークカット目標値を設定して「完了」ボタンを押す。

- ・ピークカット目標値は、電力会社から買う電力の節約目標とする上限値を設定してください。
- ・本ピークカット目標値(kW)は、買う電力の上限設定であり、下記の運転時のみ設定が有効です。
 - ・通常運転(自動運転)モード時の夜間電力利用時間帯のEV充電
 - ・通常運転(自動運転)モード時のユーザー設定の充電時間帯のEV充電
 - ・割り込み運転のEV充電運転
 - ・割り込み運転のピークカット運転
- ・電力会社から買う電力でのEV充電は本ピークカット目標値(kW)で買電電力が制限されます。ピーク電力を抑えたい場合に設定してください。

なお、グリーンモードの放電時間帯にPV発電で余った電力が充電される分には影響しません。

- ・ピークカット運転は、住宅内の電力はPVからの電力を優先します。余った電力は売電し、不足した場合は買電します。買電電力が設定したピークカット目標値を超える場合は、EVからの給電でまかない、買電を抑えるモードです。

※変更が無い場合は「完了」ボタンを押さないで、「戻る」ボタンを押してください。

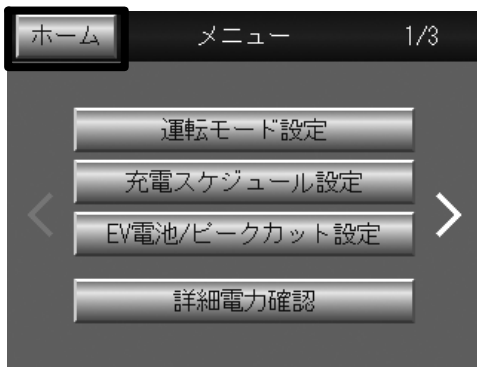
※ピークカット目標値は、電力会社から買う電力の「ブレーカ容量」を超えた設定はできません。

(「ブレーカ容量」(kVA) > 「ピークカット目標値」(kW))

※初期設定の「ブレーカ容量」を下げた場合は、「ピークカット目標値」を「ブレーカ容量」より小さくなるように再設定してください。

〈工場出荷時〉

「ピークカット目標値」 10.0kW



(10) 以上で EV 電池 / ピークカット設定は終了です。
「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。

メモ

- ・工場出荷時のピークカット目標値は 10.0kW（最大値）で、電力会社から買う電力がピークカット目標値により制限されない設定です。ピークカット目標値を下げると電力会社から買う電力が制限されるため、EV 充電運転時に充電電力が下がる場合があります。充電電力を下げたくない場合は、本ピークカット目標値の設定を見直してください。
- ・住宅内の電力がピークカット目標値を超過した場合は買電電力をピークカット目標値以内に制限することはできません。

使いかた

警告



禁止

コネクタの電極にふれない
感電、故障の原因になります。

コネクタ、充電ケーブルを踏んだり、充電ケーブルの上に物を置かない
感電、火災、故障の原因になります。

使用後や車両を移動するときは、充電ケーブルやコネクタを放置しない
感電、火災、けがの原因になります。
また、車両が乗り上げて充電ケーブルやコネクタを破損する原因になります。

コネクタを落下させない
感電、故障の原因になります。

コネクタ、充電ケーブルを無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたり、はさみこんだりしない
感電、火災、けが、故障、破損の原因になります。

コネクタ、充電ケーブルを破損した場合は使用しない
火災、感電の原因になります。



接触禁止

濡れた手でコネクタ、充電ケーブルを持たない
感電の原因になります。

注意



指示に従い
必ず行う

充電ケーブルに足を引っ掛けないよう十分注意する

充電ケーブルが損傷し、火災や感電の原因になります。充電ケーブルで足をつまずき、けがの原因になります。

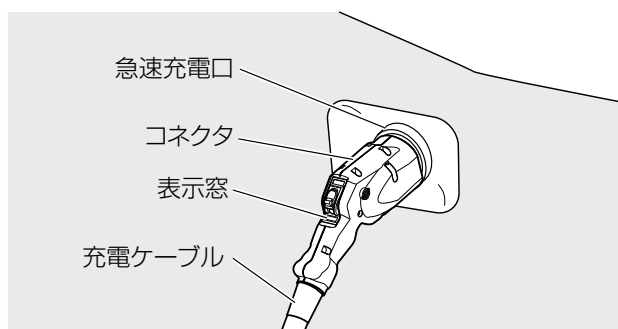
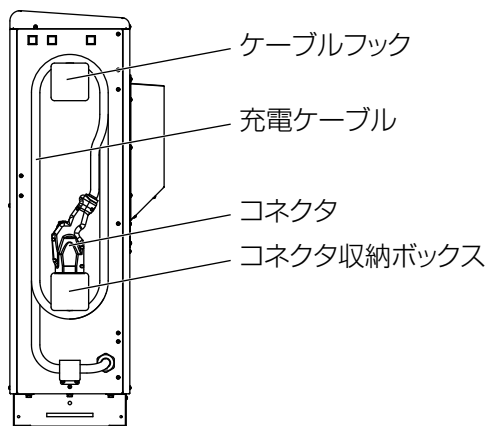
必ず側面のケーブルフックに掛けて収納する
充電ケーブルで足をつまずき、けがの原因になります。

コネクタに直射日光が当たっているときや低温時に、コネクタを操作する場合は手袋を着用する
着用しないとやけどや凍傷の原因になります。

車両との接続時に、吊りにならないように充電ケーブルを地面に接触させる

充電ケーブルで足をつまづき、けがの原因になります。また、充電ケーブルの荷重が加わるため、コネクタの根元が破損する可能性があります。

1. 車両に充電する



〔1〕 車両とコネクタの接続

- (1) 車両がパーキング状態でパワースイッチがオフであることを確認する。
- (2) 車両の充電口を開き急速充電口が見える状態にする。
- (3) EV用パワーコンディショナ側面のコネクタ収納ボックスからコネクタを抜き、充電ケーブルをケーブルフックから丁寧に取り外し車両の充電口までコネクタを移動させる。

お願い

コネクタを落とさないようにお気をつけください。また、充電ケーブルを無理に引っ張らないようにし、充電ケーブルに足を引っ掛けないよう十分お気をつけください。

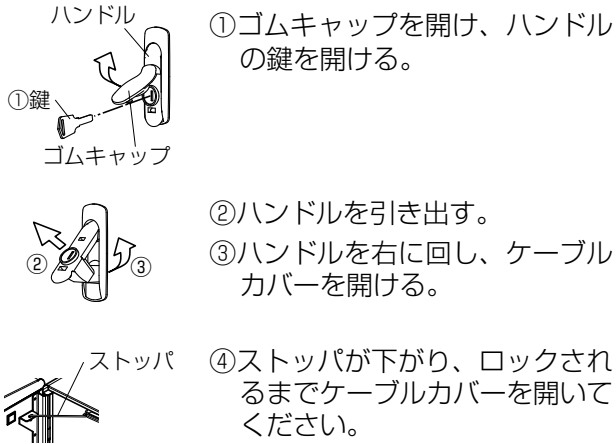
- (4) 車両の急速充電口に「カチッ」とロックするまでしっかりと差し込む。

お願い

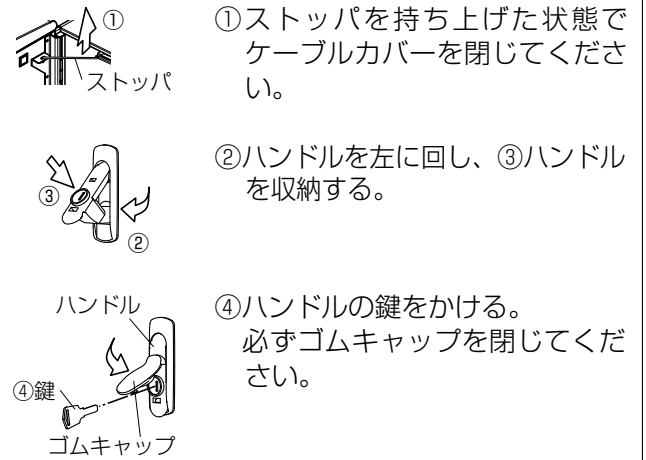
EVの取扱いについては、EVの取扱説明書をご参照ください。

鍵付ケーブルカバー（オプション）が取り付けられている場合は、
下記要領にて開閉を行ってください。

■開けるとき



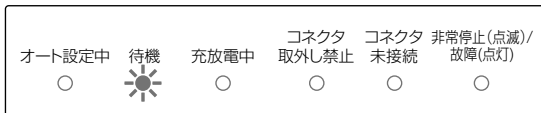
■閉めるとき



充電開始/スリープ解除ボタン



充放電停止/リセット(長押し)ボタン



〔2〕充電の開始と停止

充電の開始と停止は、EV 用パワーコンディショナ本体およびリモコンにて操作できます。

【EV 用パワーコンディショナで操作する場合】

充電を開始する。

- (1) EV 用パワーコンディショナ操作部の「充電開始/スリープ解除」ボタンを押す。
- (2) EV 用パワーコンディショナ表示部の「充放電中」ランプと「コネクタ取外し禁止」ランプが点灯し、充電を開始します。

充電を停止する。

- (1) EV 用パワーコンディショナ操作部の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押す。
- (2) EV 用パワーコンディショナ表示部の「充放電中」ランプと「コネクタ取外し禁止」ランプが消灯、「待機」ランプが点灯し、充電を停止します。

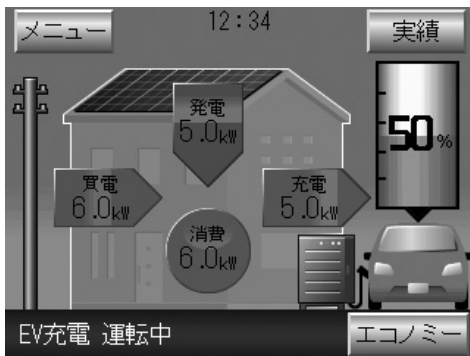
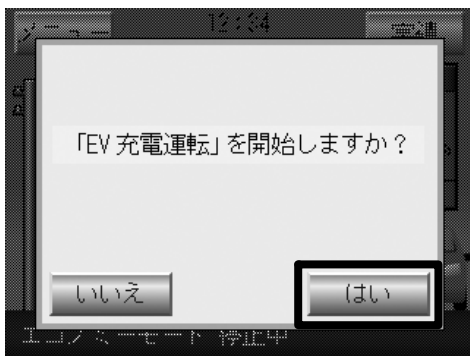
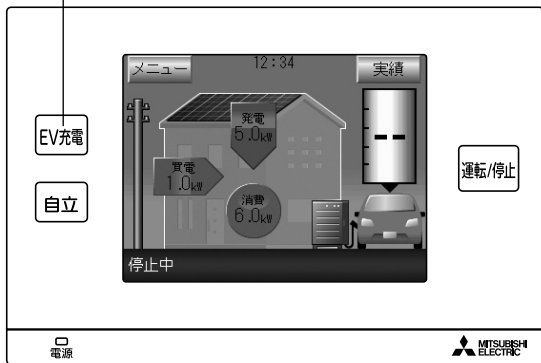
メモ

通常運転（自動運転）が設定されている場合は、EV 用パワーコンディショナ本体操作部の「充電開始/スリープ解除」ボタンで「充電開始」操作をすることができません。（ P12 ）

この場合は、通常運転（自動運転）をリモコンで停止させてください。

使いかた つづき

EV充電ボタン



【リモコンで操作する場合】

充電を開始する。HEMS 操作中は、リモコンでの運転ができません。特殊操作ボタンが「HEMS 解除」と表示されているのでボタンを押した後に、EV 充電運転操作をしてください。

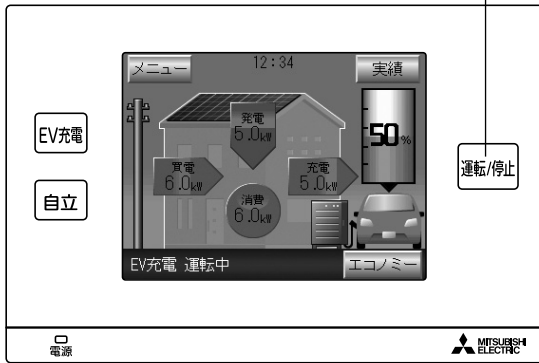
- (1) コネクタを車両に接続してからリモコンの「EV 充電」ボタンを押す。

- ※運転開始操作はホーム画面表示のみ有効です。
- ※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV 発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。
- ※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。
- ※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。

- (2) 「EV 充電運転を開始しますか?」というポップアップ画面が現れますので、画面右下の「はい」を押す。

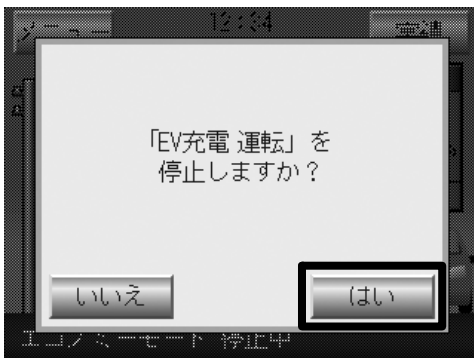
- (3) 充電動作が始まり、画面左下が「EV 充電運転中」と表示されることを確認する。
(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

運転/停止ボタン

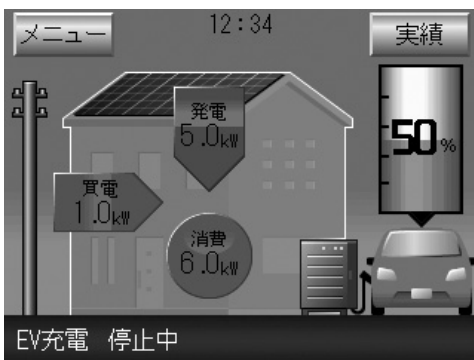


充電を停止する。

(1) 「運転 / 停止」 ボタンを押す。



(2) 『「EV 充電運転」を停止しますか?』というポップアップ画面が現れますので、画面右下の「はい」を押す。



(3) 充電動作が停止し、画面左下が「EV 充電 運転中」から「EV 充電 停止中」となることを確認する。

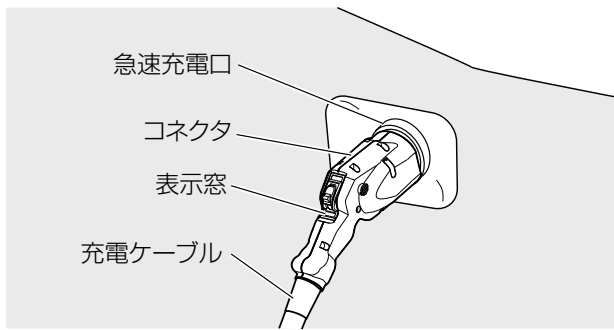
(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

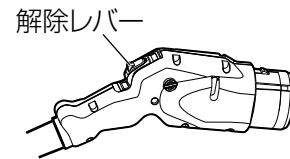
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。

使いかた つづき



〔3〕 コネクタの取り外しと収納

- (1) コネクタの表示窓が白色になっていることを確認してから、解除レバーを押しながらコネクタを急速充電口から引き抜く。



メモ

コネクタの表示窓が青色表示している間はコネクタを取り外すことができません。EV用パワーコンディショナの「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押して充放電を停止し、コネクタの表示窓が青色から白色になったことを確認してから取り外してください。

- (2) 取り外したコネクタは、コネクタを持ちながら充電ケーブルをEV用パワーコンディショナのケーブルフックとコネクタ収納ボックスに巻き、コネクタをコネクタ収納ボックスに収める。

お願い

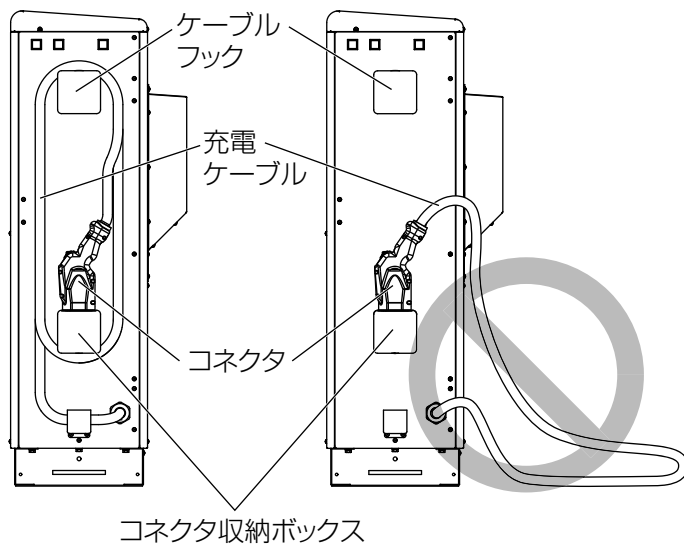
外したコネクタは、地面に放置せず必ずEV用パワーコンディショナに収納してください。

放置した状態にしておきますと、充電ケーブルに足を引っ掛けてけがをしたり、車両が乗り上げてコネクタや充電ケーブルを破損する原因になります。

また、充電ケーブルを巻き付けずに放置するとコネクタの根元が破損する原因になります。

メモ

充放電中または万一故障によりコネクタに高圧がかかっている状態では、安全のためにコネクタの解除レバーが固定され、コネクタをEVから取り外すことはできません。運転停止中で電圧が印可されない状態では、コネクタの解除レバーのロックが解除されますので、解除レバーを押しながら引くと、コネクタをEVから外すことができます。



〔4〕コネクタの緊急離脱方法について

エラー停止状態の解除（P69 参照）を実施してもコネクタのロックが解除されない場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。

お知らせ

緊急を要する場合には、緊急離脱方法でコネクタと車両を外すことができます。但し、以下についてご了承ください。

緊急離脱を行ったコネクタは使用できなくなります。

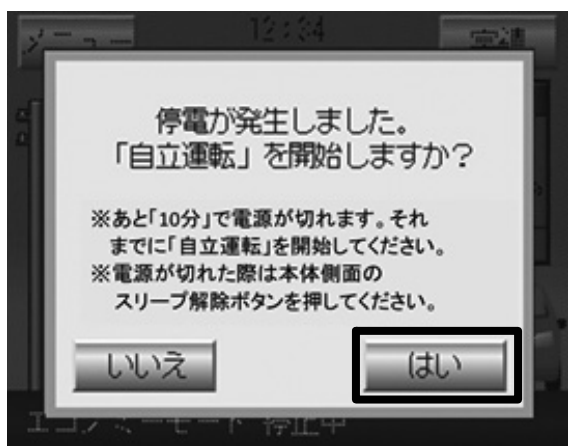
緊急離脱を行った場合はサービスマンによる点検・修理が必要なため、必ずサービスセンターに連絡してください。

保証期間内であっても故障でない場合に緊急離脱を行った場合は有償となりますのでお気をつけください。

緊急離脱方法に関しては、コネクタ緊急離脱用工具が入った袋を開封する前に同封の緊急離脱取扱説明書の表紙を必ずお読みの上、作業してください。

2. 自立運転をする

本システムは停電が発生した場合、EVの蓄電池を使用して住宅内の負荷に電力を供給する自立運転をすることができます。システムが正常な場合は、自立運転することはできません。



〔1〕自立運転を開始する

(1) 停電が発生した場合、リモコンの画面に『停電が発生しました。「自立運転」を開始しますか?』というポップアップ画面が表示され、ボタンランプ3箇所点滅、ブザー警告音が鳴ります。

※工場出荷時のブザー音量は「切」になっています。（P21 参照）

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯し、ブザー警告音も停止しますので、その場合は、画面をタッチして再点灯させてください。

※HEMS 操作中はリモコンでの運転ができません。特殊操作ボタンが「HEMS 解除」と表示されているので、ボタンを押した後に自立運転操作をしてください。

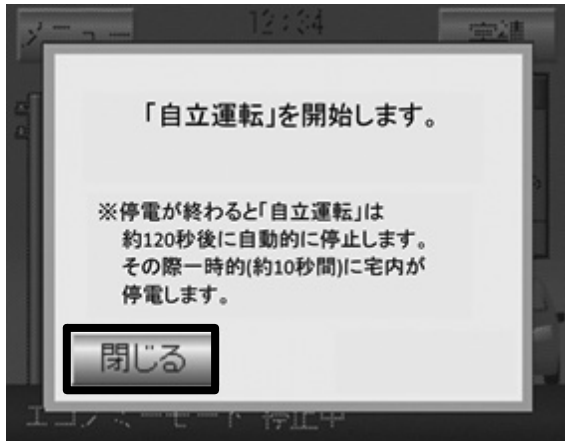
※停電発生から10分以内に自立運転を開始しない場合にはスリープ状態になります。

※「10分」の数字は残り時間に合わせて減少します。

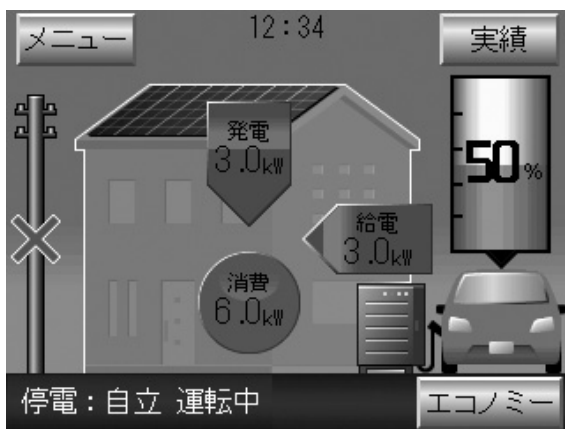
※スリープ状態ではリモコンの電源ランプが消え、操作画面が表示されません。スリープ状態を解除するには本体側面の「充電開始/スリープ解除」ボタンを押してください。

※停電が終わると自動的にスリープ状態は解除されます。

使いかた つづき



停電時



(2) リモコン本体の「自立」ボタン、または、画面右下の「はい」ボタンを押す。

「自立運転」を開始します。」というポップアップ画面が現れますので、「閉じる」ボタンを押してください。

ポップアップ画面が消え、ブザー警告音も停止します。しばらく（約 10 秒）すると、EV 用パワーコンディショナが起動し、住宅内負荷に電力が供給されます。

※住宅内の照明が点灯することで EV 用パワーコンディショナが自立運転していることが確認できます。

※商用系統停電時はリモコン画面の電柱に、停電を示す×印のアイコンが表示されます。また、リモコンには給電のアイコンが表示されます。

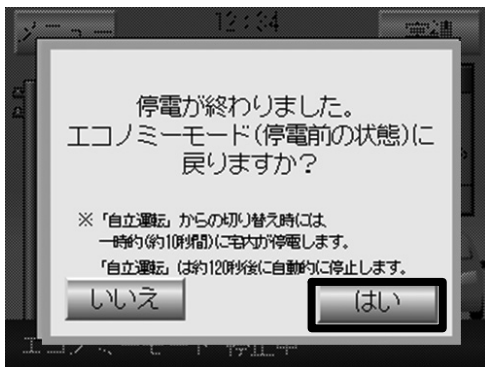
※画面左下が「停電：自立 運転中」と表示されていることを確認してください。

メモ

- ・ PV が接続されている場合は、自立運転開始後、しばらくすると、PV からの発電電力も住宅内負荷に供給されます。PV の発電で余剰電力が発生した場合は EV に充電します。
- ・ EV が接続されていない場合は、自立運転に移行できません。
- ・ EV の蓄電池容量が少ないときは自立運転ができません。
- ・ EV から住宅内への給電可能な電池残量は車種や年式により異なります。充電残量設定 1 を 0% に設定した場合でも、自立運転時の電池残量は EV 固有の放電下限値 + 充電残量設定 2 の設定値で給電が制限されます。(0% まで給電できません)(P29 参照) この場合、自立運転が停止し、PV からの発電電力も通常コンセントから住宅内負荷に供給できなくなります。(商用系統復電後に EV 電池を充電してください)
- ・ 本ポップアップ画面は自動的に消えません。停電が終わって復電していた場合は、「いいえ」ボタンを押して本ポップアップ画面を閉じてください。

お願い

- EVの蓄電池容量が放電できる下限値を下回っている場合は、EVから住宅内への給電およびPVからEVへの充電もできません。
復電してから放電できる下限値を上回るまで充電してください。
- 停電が発生してから自立運転に切り替えるまでは、EV用パワーコンディショナに内蔵しているリチウムイオン電池によって制御回路が動作しています。停電が継続し、約10分間自立運転への切替え操作が行われない場合は、自動的にスリープ状態になり電力の消費を抑えます。内蔵のリチウムイオン電池は放電を続けて容量が減り、自立運転が行えなくなることがありますので、停電が発生してから自立運転への切り替え操作はなるべく早く実施してください。
スリープ状態での内蔵リチウムイオン電池の持続時間の目安は2日間程度です。お客様の使用環境により目安時間は異なります。



(2) 自立運転を停止する。

(停電前運転への切替え操作)

- 自立運転中に復電した場合、停電が終わったことを示す復電のポップアップ画面がリモコンに表示され、ボタンランプ3箇所点滅、ブザー警告音が鳴ります。

※工場出荷時のブザー音量は「切」になっています。(P21参照)

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯し、ブザー警告音も停止しますので、その場合は、画面をタッチして再点灯させてください。

※復電後約120秒で自立運転は自動的に停止します。

- 画面右下の「はい」を押す。

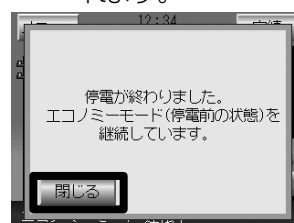
ポップアップ画面が消え、ブザー警告音も停止します。

メモ

停電時に自立運転せずに運転停止中(停電)の状態、復電した場合は、替わりに下記ポップアップ画面が表示されるので、「閉じる」ボタンを押してください。

※画面は、停電前の状態がエコノミーモードの場合の表示例です。

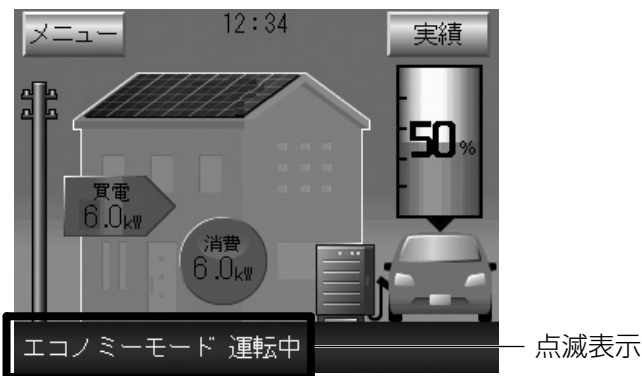
運転モード名は、停電前の運転モードが表示されます。



※画面は、停電前の状態がエコノミーモードの場合の表示例です。

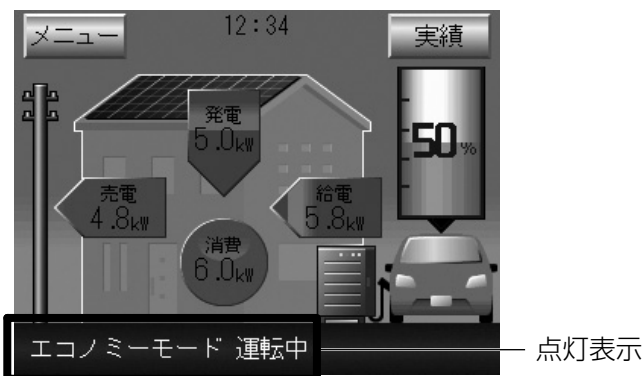
運転モード名は、停電前の運転モードが表示されます。

使いかた つづき



- (3) 自立運転していた EV 用パワーコンディショナが一旦停止し、住宅内の負荷への電力供給が約 10 秒停止しますが、その後、自動的に商用系統が接続され、住宅内の負荷への電力供給が再開されます。

※このとき EV 用パワーコンディショナは運転準備中で、「エコノミーモード 運転中」の文字は点滅しています。



- (4) 系統接続後、しばらくすると、EV 用パワーコンディショナが運転を開始し停電前の運転モードに復帰します。

※復電後、電力会社との取り決めにより、EV 用パワーコンディショナの運転は約 5 分程度待ってから再開されます。

お願い

停電前の状態にするためにポップアップ画面で「はい」をタッチすると EV 用パワーコンディショナの自立運転出力が停止し住宅内の負荷への電力供給が約 10 秒停止します。

パソコン等を使用している時はパソコンのデータを保存させてからリモコン画面の「はい」をタッチするようお願いをください。

復電後 120 秒で自立運転が自動で停止するので、その間に操作がなければ約 10 秒間停電します。

3. いろいろな使いかた

EV 用パワーコンディショナでは、さまざまな運転モードをお選びいただけます。

それぞれの運転の特長は、「さまざまな運転モード」(P6) をご覧ください。

説明の画面は EVP-SS60B3-M7 の場合です。EVP-SS60B3-Y7、EVP-SS60B3-Y7W はメニュー画面説明(P16) をご覧ください。

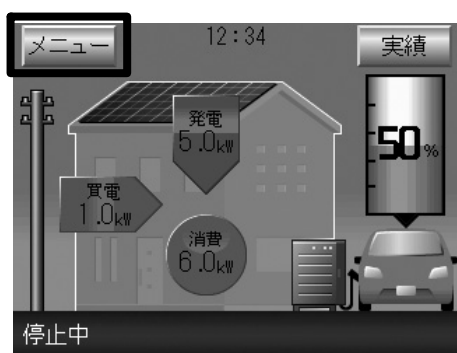
※ EV から住宅内への給電可能な電池残量は車種や年式により異なります。充電残量設定 1 を 0% に設定した場合でも、商用系統への接続運転時の電池残量は EV 固有の放電下限値 + 充電残量設定 2 の設定値 + 約 5% で給電が制限されます。(0% まで給電はできません)

※ HEMS 操作中はリモコンでの運転ができません。特殊操作ボタンが「HEMS 解除」と表示されているので、ボタンを押した後に各運転操作をしてください。

〔1〕エコノミーモード

夜間は EV に充電、昼間は EV から給電するピークシフトで、経済性を優先するモードです。

昼間の使用電力量が多いご家庭や PV の売電量を増やしたい場合に選択します。

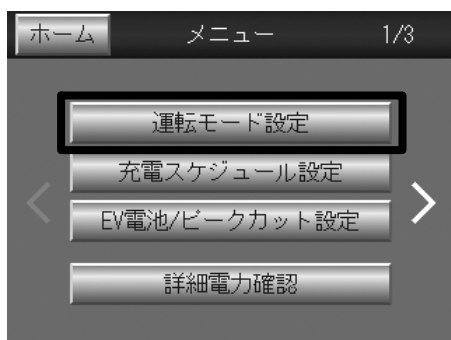


(1) 「メニュー」ボタンを押す。

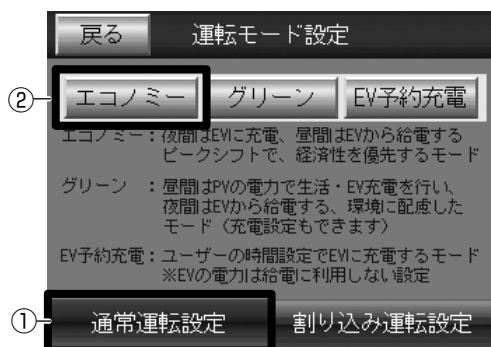
※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから値を取得できない場合は、「—」で表示します。



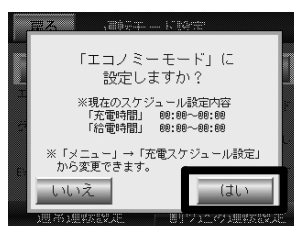
(2) 「運転モード設定」ボタンを押す。



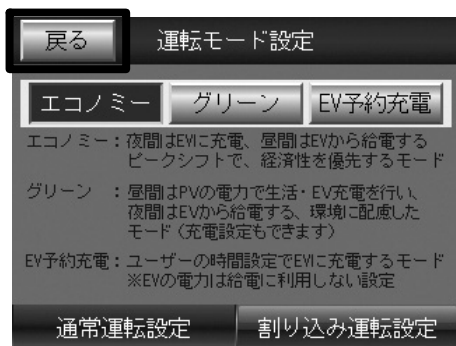
(3) 「通常運転設定」ボタンを押し、「エコノミー」ボタンを押す。確認画面が出ますので、予め設定した充電時間 / 給電時間を確認後、「はい」を押して確定する。

※充電時間 / 給電時間を変更する場合は、一旦「いいえ」を押して、「戻る」→「充電スケジュール設定」から変更後、再度エコノミーモードを設定してください。(設定方法は P26 参照)

※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。



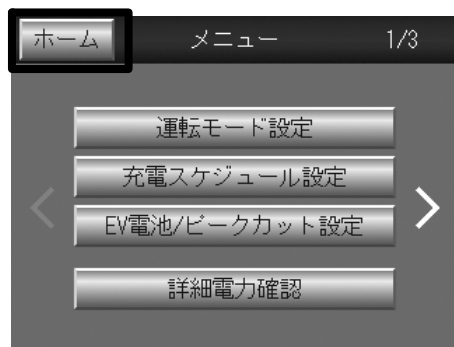
使いかた つづき



(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「エコノミーモード 運転中」と表示されていることを確認してください。(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

※エコノミーモードが開始されると、予め設定した充電時間帯でEV充電動作、給電時間帯でEV給電動作、それ以外は停止します。(ユーザー設定のスケジュール運転の場合)

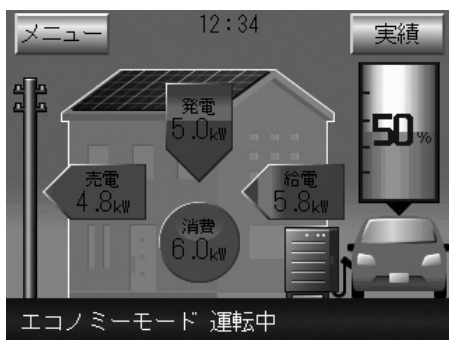


EV 給電動作

買電を最小にするように、住宅内負荷をEV給電でまかないます。但し、PV発電で余剰電力が発生した場合は、売電します。

充電により電池残量レベルが「充電上限設定1(または2)」に達した場合、充電動作が停止し、給電により電池残量レベルが一定量下がるまで充電を再開しません。

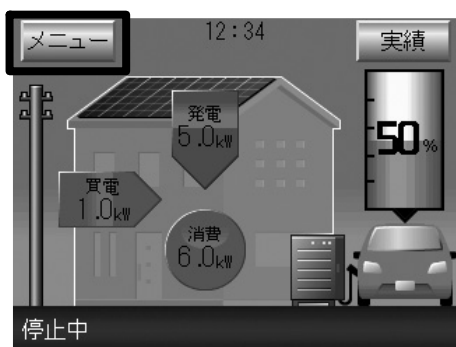
また、給電により電池残量レベルが「充電残量設定1」または車両固有の放電下限値付近に達した場合、給電動作が停止し、充電により電池残量レベルが一定量上がるまでは給電を再開しません。



(2) グリーンモード

昼間はPVの電力で生活・EV充電を行い、夜間はEVからの給電を主な電力源とすることで、エネルギーの自給自足を目指す環境に配慮したモードです。

購入電力量ゼロを目指す場合に選択します。

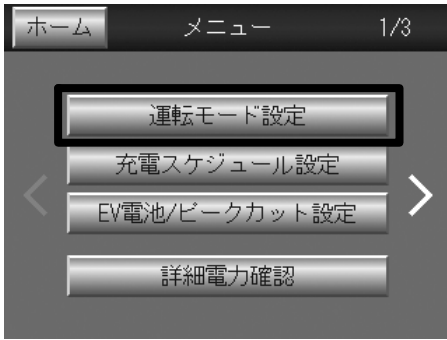


(1) 「メニュー」ボタンを押す。

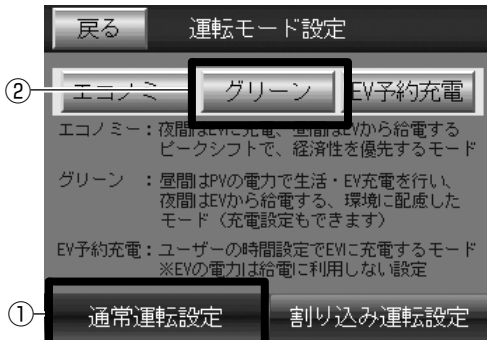
※買電/売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電/充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。

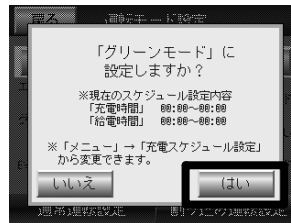


(2) 「運転モード設定」ボタンを押す。



(3) 「通常運転設定」ボタンを押し、「グリーン」ボタンを押す。確認画面が出ますので、予め設定した充電時間 / 給電時間を確認後、「はい」を押して確定する。

※充電時間 / 給電時間を変更する場合は、一旦「いいえ」を押して、「戻る」→「充電スケジュール設定」から変更後（P26 参照）、再度グリーンモードを設定する。

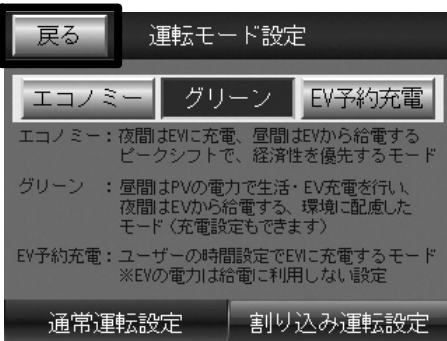


※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押しません。

(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「グリーンモード 運転中」と表示されていることを確認する。（文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません）

グリーンモードが開始されると、予め設定した充電時間帯で EV 充電動作、給電時間帯で EV 給電動作、それ以外は停止します。（ユーザー設定のスケジュール運転の場合）



EV 給電動作

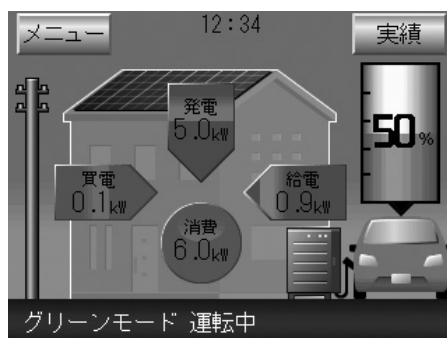
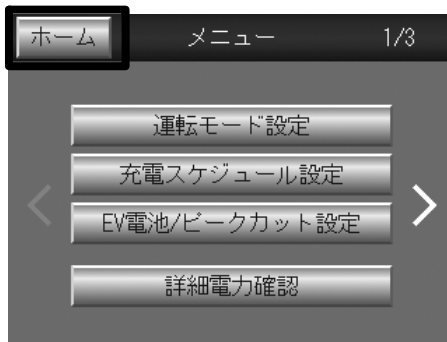
買電を最小にするように、住宅内負荷を EV 給電でまかないます。但し、PV 発電で余剰電力が発生した場合は、EV 充電します。

充電により電池残量レベルが「充電上限設定 1（または 2）」に達した場合、充電動作が停止し、給電により電池残量レベルが一定量下がるまで充電を再開しません。

電池残量レベルが「充電上限設定 1（または 2）」の設定値を一定時間内に下回らない場合は、運転を一旦停止し待機電力低減をはかるため、十分な電池残量レベルであっても給電せずに買電を開始する場合があります。（定期的に運転再開の診断をします）

また、給電により電池残量レベルが「充電残量設定 1」または車両固有の放電下限値付近に達した場合、給電動作が停止し、充電により電池残量レベルが一定量上がるまでは給電を再開しません。

電池残量レベルが「充電残量設定 1」または車両固有の放電下限値付近を一定時間内に上回らない場合は、運転を一旦停止し待機電力低減をはかるため、電池残量レベルが不足状態であっても充電せずに売電を開始する場合があります。（定期的に運転再開の診断をします）



使いかた つづき

(3) EV 予約充電モード

お客様の設定した時間に EV に充電するモードです。EV の電力は給電には使用されません。

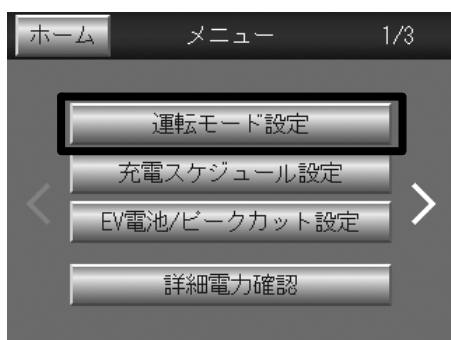


(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

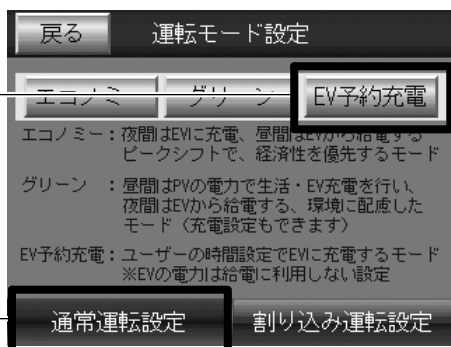
※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



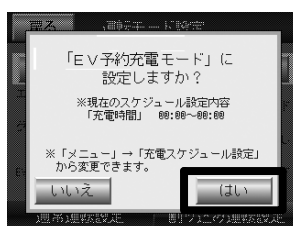
(2) 「運転モード設定」 ボタンを押す。

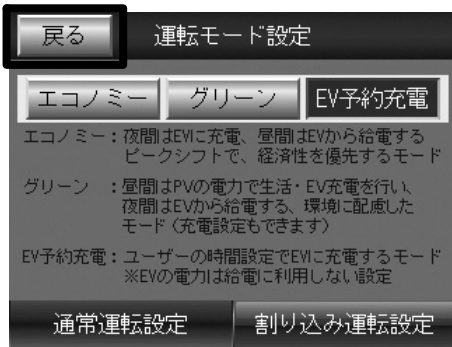


(3) 「通常運転設定」 ボタンを押し、「EV 予約充電」 ボタンを押す。確認画面が出ますので、予め設定した充電時間を確認後、「はい」を押して確定する。

※充電時間を変更する場合は、一旦「いいえ」を押して、「戻る」→「充電スケジュール設定」から変更後（P26 参照）、再度 EV 予約充電モードを設定する。

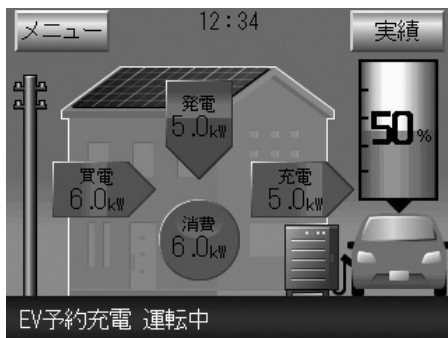
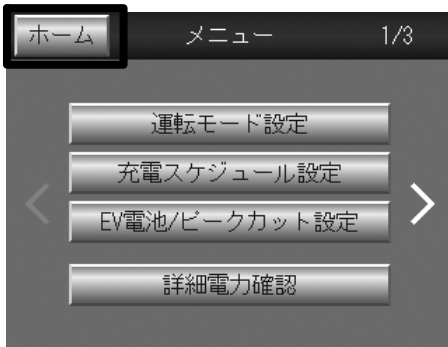
※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。





(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

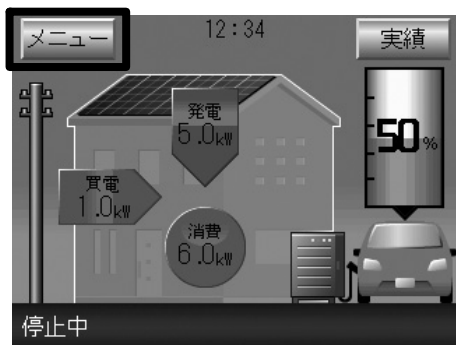
「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「EV 予約充電 運転中」と表示されていることを確認する。（文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません）EV 予約充電モードが開始されると、予め設定した充電時間帯でEV 充電動作、それ以外は停止します。（ユーザー設定のスケジュール運転の場合）



使いかた つづき

〔4〕売電最大運転 (EVP-SS60B3-M7 のみ)

住宅内の電力は EV からの電力を優先し、PV の売電を優先するモードです。

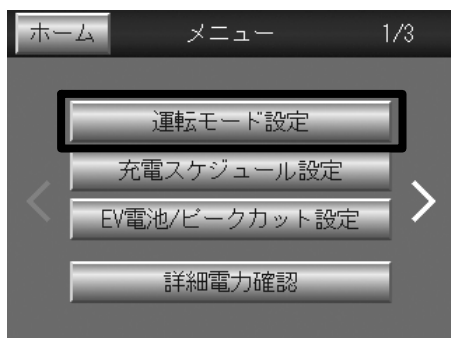


(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

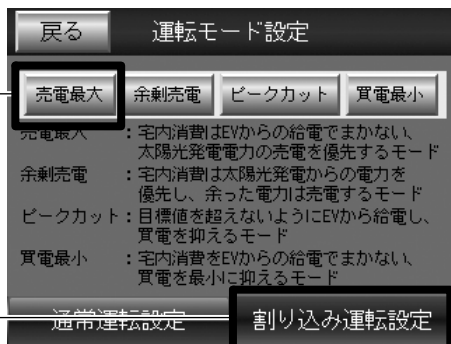
※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

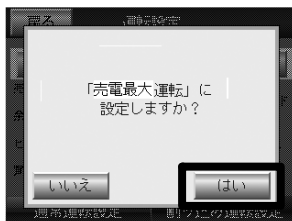
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



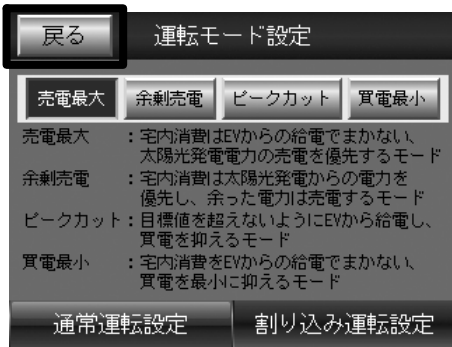
(2) 「運転モード設定」 ボタンを押す。



(3) 「割り込み運転設定」 ボタンを押し、「売電最大」 ボタンを押す。確認画面が出ますので、「はい」を押して確定する。



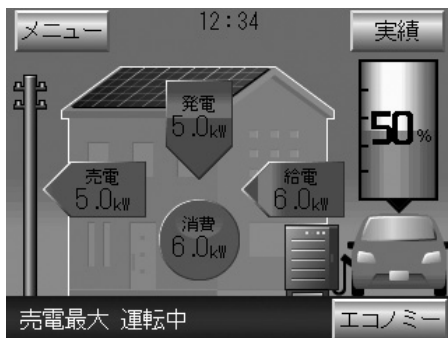
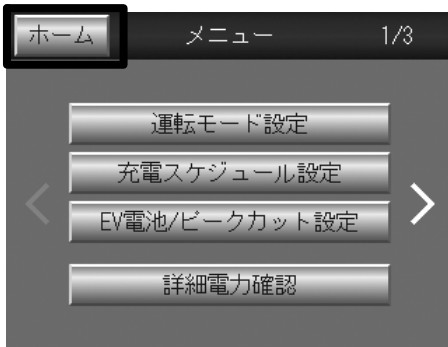
- ※ EVP-SS60B3-Y7、EVP-SS60B3-Y7Wは「売電最大」ボタンが表示されません。
- ※ 既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。



(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「売電最大 運転中」と表示されていることを確認する。(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

※売電最大運転が開始されると、住宅内負荷の電力は優先的にEV給電でまかないます。押し上げられたPVの発電電力は売電します。(EVP-SS60B3-M7のみ)



使いかた つづき

〔5〕 余剰売電運転

住宅内の電力は PV からの電力を優先し、余った電力を売電するモードです。

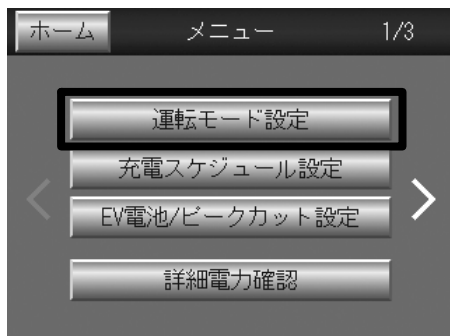


(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

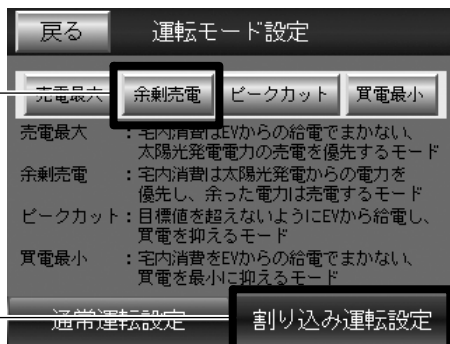
※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

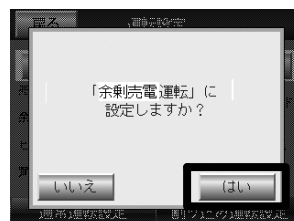
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



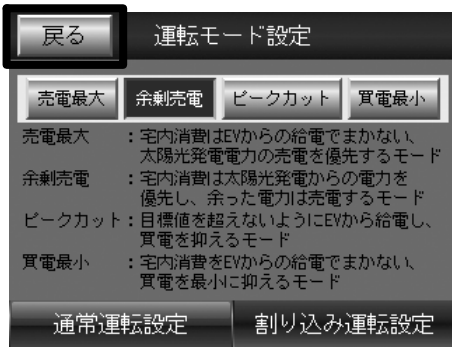
(2) 「運転モード設定」 ボタンを押す。



(3) 「割り込み運転設定」 ボタンを押し、「余剰運転」 ボタンを押す。確認画面が出ますので、「はい」を押して確定する。



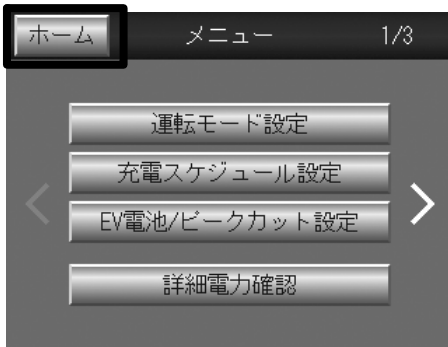
※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。



(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

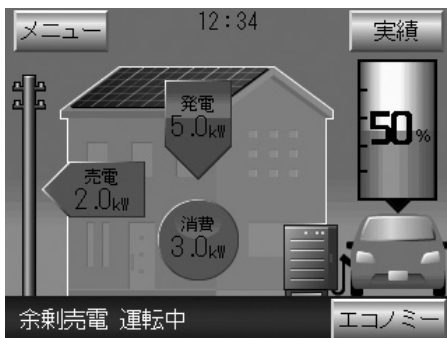
「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「余剰売電 運転中」と表示されていることを確認する。(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

※余剰売電運転が開始されると、住宅内負荷の電力は優先的にPV発電電力でまかない、足りない電力をEV給電でまかないます。PV発電で余剰電力が発生した場合は、EV給電を停止し、PVの余剰電力を売電します。



お知らせ

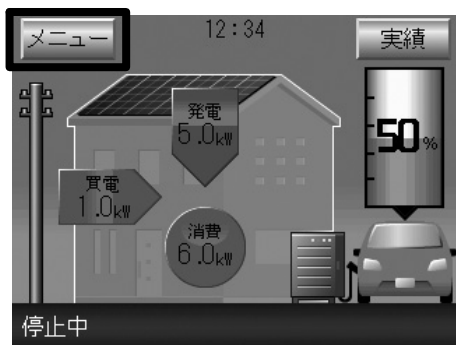
ダブル発電機種で運転モードを「余剰売電」に設定された場合でも、ダブル発電機種の売電単価は変わりません。



使いかた つづき

〔6〕 ピークカット運転

「EV 電池 / ピークカット設定」で設定したピークカット目標値を超えないように EV から給電し、買電を抑えるモードです。

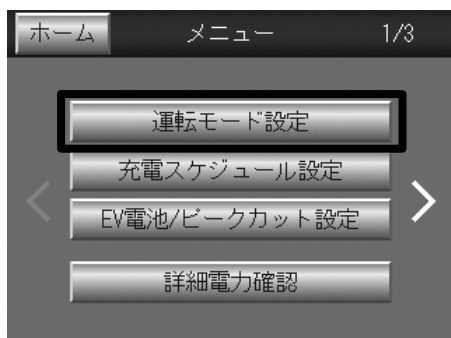


(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

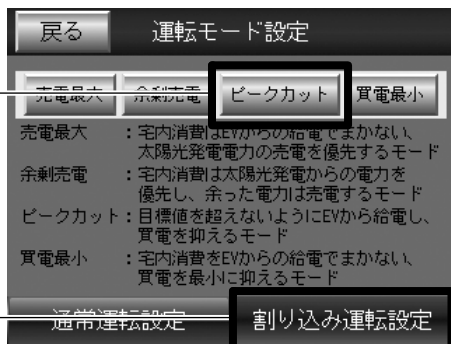
※買電 / 売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電 / 充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

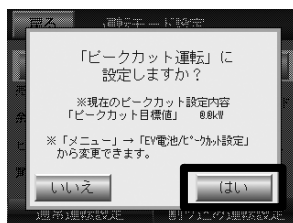
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



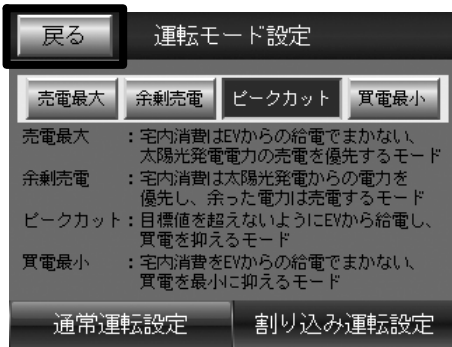
(2) 「運転モード設定」 ボタンを押す。



(3) 「割り込み運転設定」 ボタンを押し、「ピークカット」 ボタンを押す。確認画面が出ますので、「はい」を押して確定する。

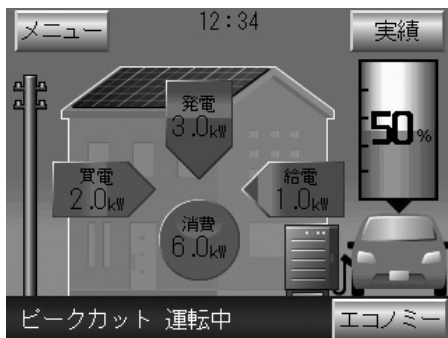
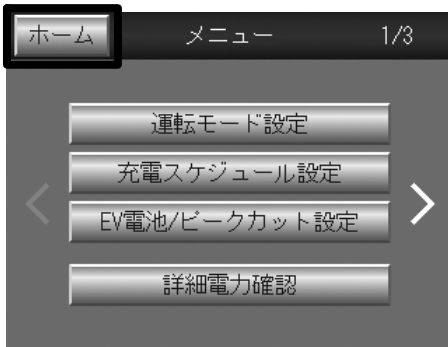


※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押せません。



(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「ピークカット 運転中」と表示されていることを確認してください。(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません) ピークカット運転が開始されると、買電を予め設定したピークカット目標値を超えないように、住宅内負荷をEV給電でまかないます。



使いかた つづき

〔7〕 買電最小運転

住宅内消費電力を PV や EV からの給電でまかない、買電を最小に抑えるモードです。

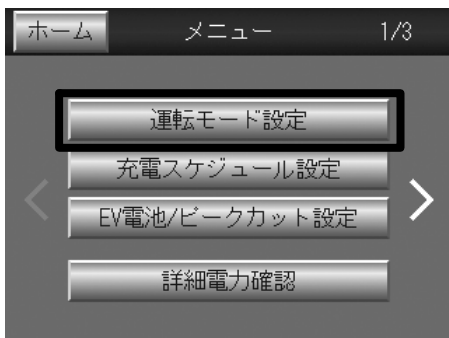


(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

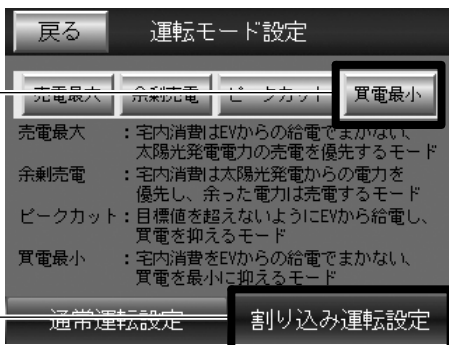
※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

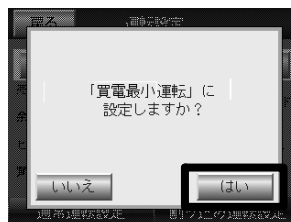
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



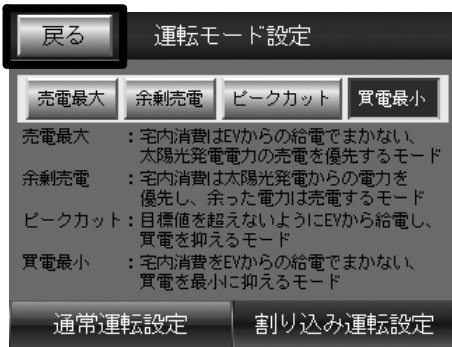
(2) 「運転モード設定」 ボタンを押す。



(3) 「割り込み運転設定」 ボタンを押し、「買電最小」 ボタンを押す。確認画面が出ますので、「はい」を押して確定してください。



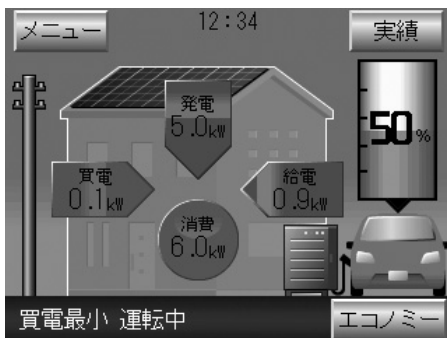
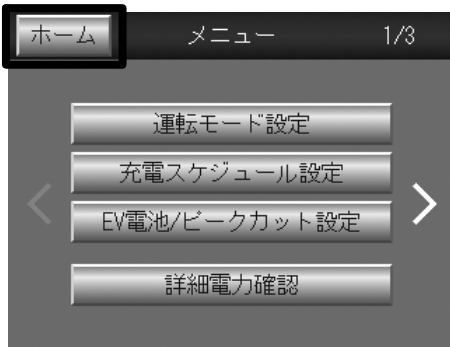
※既に運転モードが設定されている場合、その運転モードボタンは押しません。



(4) 以上で運転モードの切り替えは終了です。

「戻る」ボタン、「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻って、画面左下が「買電最小 運転中」と表示されていることを確認してください。(文字が点滅している間は、運転状態がまだ過渡状態で運転変更が完了していません)

※買電最小運転が開始されると、住宅内負荷の電力は優先的にPV発電電力でまかない、足りない電力をEV給電でまかないます。PV発電で余剰電力が発生した場合は、EV充電します。



使いかた つづき

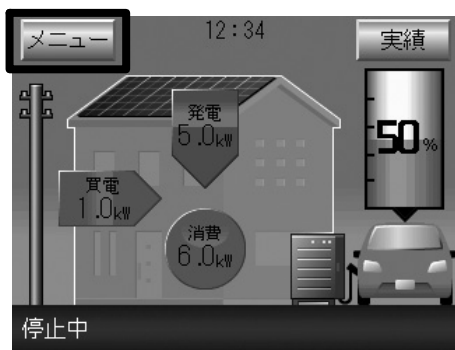
〔8〕 詳細電力確認

各種積算電力量の状況をグラフや数値で表示します。

「日」は7日前（8日分）、「月」は3か月前（3ヶ月分）、「年」は3年前（3年分）まで表示できます。

説明の画面はEVP-SS60B3-M7のメニューです。EVP-SS60B3-Y7およびY7Wのメニューは、メニュー画面説明の項をご参照ください。蓄積された「詳細電力確認」の積算電力量の結果は、リモコンの時刻設定で誤った時刻を設定されるとそれまでの積算電力量がクリアされる場合があるのでお気をつけください。

蓄積されたデータがクリアされた場合、修理はできません。



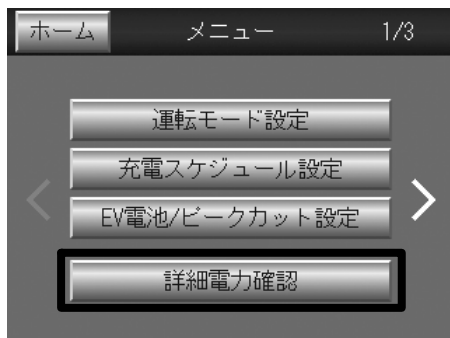
(1) 「メニュー」 ボタンを押す。

※ホーム画面の「実績」ボタンを押しても「詳細電力確認」画面が表示されません。

※買電／売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電／充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

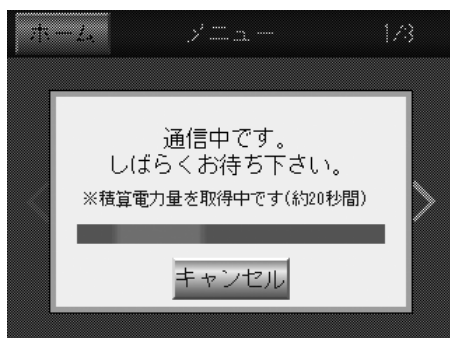
※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

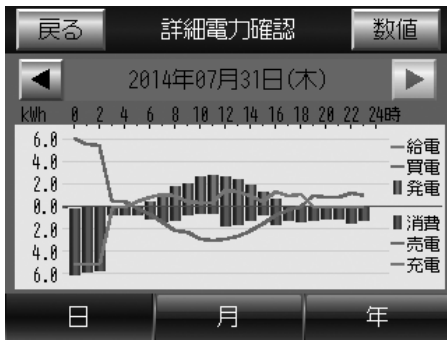
※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



(2) 「詳細電力確認」 ボタンを押す。

※「詳細電力確認」画面を表示するには約20秒程度かかります。





| kWh | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5時 | 積算 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発電 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 20.8 |
| 消費 | 6.0 | 5.5 | 5.5 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 35.4 |
| 買電 | 6.0 | 5.5 | 5.5 | 0.6 | 0.6 | | 1.9 |
| 売電 | | | | | | 0.1 | 収支 |
| 給電 | | | | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 収支 |
| 充電 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | | | | 2.5 |

(3) 「日」、「月」、「年」のいずれかのタブボタンを押して、確認したい各積算電力量の状況を表示する。
 グラフ表示画面で「数値」ボタンを押すと数値が表示され、数値表示画面で「グラフ」ボタンを押すとグラフが表示されます。
 「戻る」ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。「実績」ボタンで開いた場合はホーム画面に戻ります)

「日」は0時～24時の時間単位で表示されます。
 「月」は1日～31日(または28,29,30)の日単位で表示されます。
 「年」は1月～12月の月単位で表示されます。

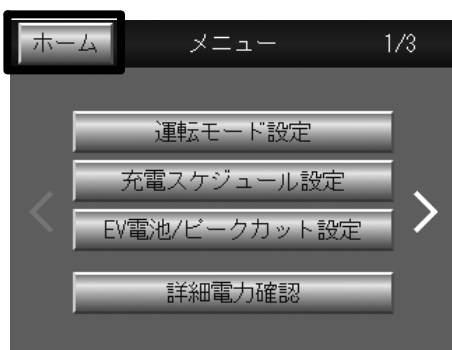
※ 詳細電力確認の数値表示において、
 「日」の時間単位の合算値と1日の積算値、
 「月」の日単位の合算値と1ヶ月の積算値、
 「年」の月単位の合算値と1年の積算値は、
 表示上丸め誤差により、一致しない場合があります。

〈グラフ〉

- ・PVの発電量が棒グラフで表示されます。
- ・住宅内家電の消費電力量が棒グラフで表示されます。
- ・買電/売電の合算電力量が折れ線グラフで表示されます。
- ・給電/充電の合算電力量が折れ線グラフで表示されます。

〈数値〉

- ・PVの発電量、住宅内家電の消費電力量、買電/売電合算の電力量、給電/充電合算の電力量がその日(月、年)の合計値(積算値)とともに数値で、表示されます。
- ・買電/売電の合算電力量、給電/充電の合算電力量の欄は、収支表示のため、例えば、買電/売電の合算電力量の場合、収支が買電側であれば、買電欄、収支が売電側であれば、売電欄に表示されます。
- ・各積算電力量データは30分毎に更新されますが、画面表示は「詳細電力確認画面」を開くタイミングでデータ収集し、1回表示のため、例えば、「日」の数値表示は、
 22:00～22:29で開いた場合、22時の欄は00表示
 22:30～22:59で開いた場合、22時の欄は22:00～22:30の積算値表示
 23:00以降で開いた場合、22時の欄は22:00～23:00の積算値表示
 となります。

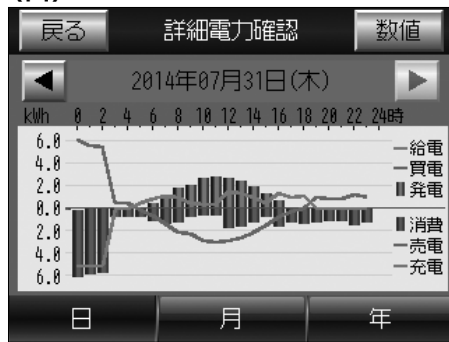


(4) 「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。

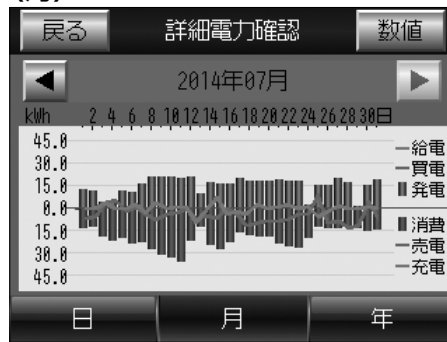
使いかた つづき

■グラフ表示イメージ

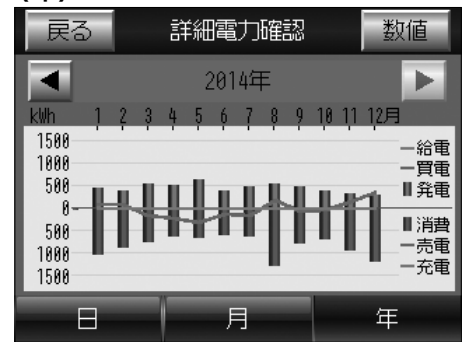
〈日〉



〈月〉



〈年〉



■数値表示イメージ

〈日〉

2014年07月11日(金)

| kWh | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5時 | 積算 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発電 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 20.8 |
| 消費 | 6.0 | 5.5 | 5.5 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 35.4 |
| 買電 | 6.0 | 5.5 | 5.5 | 0.6 | 0.6 | | 1.9 |
| 売電 | | | | | | 0.1 | 収支 |
| 給電 | | | | 0.0 | 0.0 | 0.6 | 収支 |
| 充電 | 5.0 | 5.0 | 5.0 | | | | 2.5 |

〈月〉

2014年07月

| kWh | 4月 | 5火 | 6水 | 7木 | 8金 | 9土 | 10日 | 積算 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 発電 | 6.0 | 12.6 | 11.8 | 17.2 | 21.6 | 22.2 | 21.5 | 498 |
| 消費 | 19.7 | 18.4 | 22.2 | 21.3 | 25.6 | 30.0 | 31.2 | 577 |
| 買電 | 6.4 | | 1.1 | | | | | 収支 |
| 売電 | | 0.9 | | 3.1 | 7.2 | 3.6 | 2.3 | 138 |
| 給電 | | | 2.7 | | 4.0 | 0.2 | 0.6 | 0 |
| 充電 | 0.4 | 0.6 | | 2.2 | | | | 収支 |

〈年〉

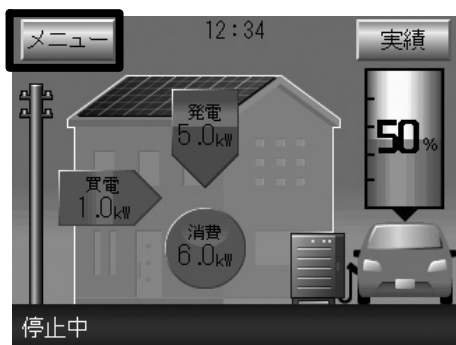
2014年

| kWh | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6月 | 積算 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 発電 | 400 | 411 | 570 | 540 | 653 | 428 | 5729 |
| 消費 | 966 | 813 | 703 | 552 | 507 | 531 | 9293 |
| 買電 | 120 | 95 | | | | | 46 |
| 売電 | | | 133 | 197 | 288 | 98 | 収支 |
| 給電 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 充電 | | | | | | | 収支 |

[9] システム履歴 / 機器情報確認

故障時のシステム履歴情報、機器情報の表示や、太陽光発電システムの接続 / 未接続設定を行います。

説明の画面はEVP-SS60B3-M7のメニューです。EVP-SS60B3-Y7およびY7Wのメニューは、メニュー画面説明の項をご参照ください。



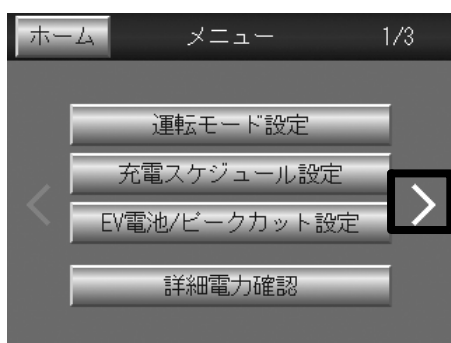
(1) 「メニュー」ボタンを押す。

※ホーム画面の「実績」ボタンを押しても「詳細電力確認」画面が表示されます。

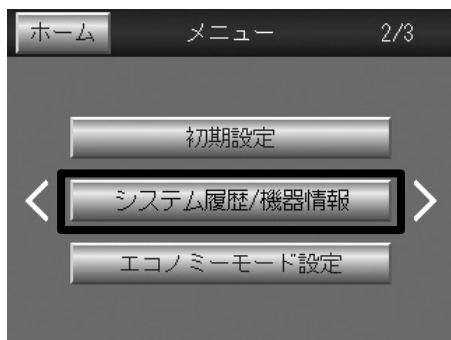
※買電 / 売電電力表示、住宅内消費電力表示、PV発電電力表示、EV給電 / 充電電力表示は、各電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

※“EV接続状態”が検出できない時は白抜車画像になります。

※EV電池残量表示はEVから電池残量情報を取得できない場合は、「—」で表示します。



(2) 「>」を押す。



(3) 「システム履歴 / 機器情報」ボタンを押す。

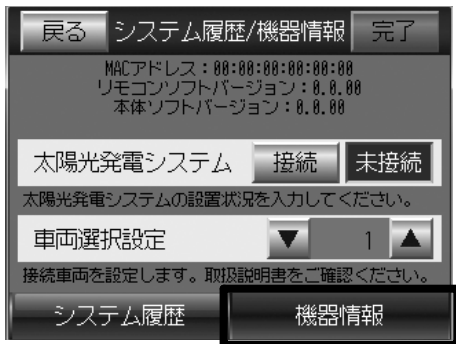


(4) 「システム履歴」ボタンを押すとシステム履歴が表示されます。

※システム履歴は最大200個まで表示され、200個を超えた場合は古いものから削除されます。

※「◀」「▶」ボタンでページが移動します。

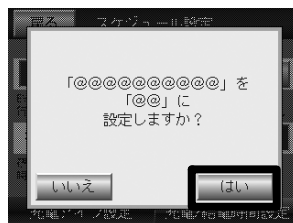
使いかた つづき



- (5) 「機器情報」ボタンを押すと機器情報が表示されます。
また、太陽光発電システムの接続 / 未接続を設定する場合は、「接続」、「未接続」ボタンを押してください。

※EV用パワーコンディショナ本体にPV用パワーコンディショナ出力を接続する場合は「接続」ボタンを押してください。接続しない場合は「未接続」ボタンを押してください。

確認画面が出ますので、「はい」を押して確定してください。



@表記

- ・「太陽光発電システム」を「接続」に設定しますか?
- ・「太陽光発電システム」を「未接続」に設定しますか?

「車両選択設定」の、「▼」「▲」ボタンでご使用になれる車両の車種を設定して「完了」ボタンを押す。

1：タイプA（リーフ、e-NV200）

2：タイプB

(i-MiEV、MINICAB-MiEV VAN、
MINICAB-MiEV TRUCK、アウトランダー PHEV)

※変更が無い場合は「完了」ボタンを押さないで、「戻る」ボタンを押してください。

<工場出荷時>

「太陽光発電システム」 未接続

「車両選択設定」 1

太陽光発電システム「接続」の場合は、ホーム画面の家の屋根のPVパネルが表示され、PV発電電力が表示されます。

電力値が「0.0kW」の場合は、電力表示及び矢印アニメーションは表示されません。

太陽光発電システム「未接続」の場合は、ホーム画面の家の屋根のPVパネルが非表示になります。






- (6) 以上で「機器情報」の設定は終了です。

「ホーム」ボタンを押して、ホーム画面に戻ってください。




お手入れと定期点検のお願い

製品を長く安全にお使いいただくため定期的なお手入れをおすすめします。

警告

| | |
|--|--|
|  接触禁止 | <p>高温時、低温時にはコネクタ、充電ケーブル、EV用パワーコンディショナの上面や背面排気口付近を素手で触れない 感電、火災、けがの原因になります。</p> |
|  分解禁止 | <p>分解・分解点検・改造は絶対に行わない(コネクタの緊急離脱時は除く) 感電、火災、転倒の原因になります。</p> |
|  指示に従い 必ず行う | <p>お手入れの際は必ずEV用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押して運転を停止し、保守用ブレーカ、PV用ブレーカを「OFF」にして、車両からコネクタを外す 感電・火災の原因になります。</p> |

注意

| | |
|--|--|
|  禁止 | <p>EV用パワーコンディショナ、コネクタ、充電ケーブル、リモコンには以下の薬品や油類・洗剤・スプレー等を使用しない シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・洗剤・サビ止め・解氷剤・スプレー等 感電、火災、やけど、破損によるけがの原因になります。</p> |
|  水ぬれ禁止 | <p>EV用パワーコンディショナ、充電ケーブル、コネクタを水につけたり、水をかけたりしない 感電や故障の原因になります。 EV用パワーコンディショナ、充電ケーブル、コネクタを高圧洗浄機で洗浄しない 感電や故障の原因になります。</p> |
|  指示に従い 必ず行う | <p>地震、大雪後の点検を受ける アンカーボルトの固定にゆるみや異常があるとEV用パワーコンディショナが転倒してけがをすることがあります。また、電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因になります。 お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。 EV用パワーコンディショナをから拭きするときは手袋を着用する 着用しないとけがの原因になります。</p> |

※お手入れ時に住宅内の家電機器をご使用の場合は、切替開閉器を、系統電力側に切り替えてください。(P8 参照)

お手入れと定期点検のお願い つづき

EV 用パワーコンディショナのお手入れ

- 本体が汚れた場合は、乾いた布などでふいてください。
- 雪が積もった場合は、吸気取り入れ口が埋まらないように除雪してください。

定期的なお手入れ

月に1回程度

- ・コネクタ収納ボックス内のゴミを取る。
- ・鍵付ケーブルカバー（オプション）の内側に貯まったゴミ、埃を取る。
- ・吸気口の周りの設置面を掃除する。

年に1回程度

- ・底面の吸気口にほうきなどを入れてゴミをはらう。

お手入れ後は、保守用ブレーカ、PV 用ブレーカを「ON」にし、切替開閉器を EV 用パワーコンディショナ側に切り替えてください。



リモコンのお手入れ

リモコンの表面の汚れは、水またはぬるま湯（+40℃以下）に浸した布をかたくしぼってふき取り、拭いた後は水分が残らないよう乾いた布でよくふき取る。水分が多量に残った布で拭くと製品内部に水が浸入するおそれがあり、故障の原因になりますので、必ずかたくしぼった布で拭く。

上記以外の清掃方法や下記の例にあげた溶剤を使用すると、製品表面の変質・変色の原因になります。

■清掃でご使用になれない溶剤の例

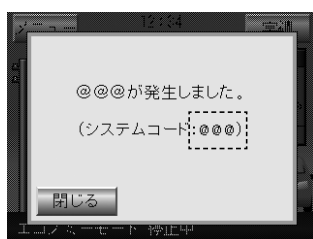
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・中性洗剤・研磨剤・その他

点 検

電気事業法では「システムの保安の確保のため、システム保持義務」をお客様に求めております。当社では、EV 用パワーコンディショナを長年安全にご使用いただくために、定期点検をおすすめしています。費用などの詳細についてはお買上げの販売店にご相談ください。

■日常点検

- EV 用パワーコンディショナ
本体、充電ケーブル、コネクタに破損は無い、「非常停止（点滅）/ 故障（点灯）」ランプが点灯していないか確認してください。
- リモコン
各電力の表示が正常か、エラー発生の画面が表示されていないか確認してください。



内の数字は異常の内容により変化します。

システムコードをメモに控えた後、「閉じる」ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。

「故障かな?と思ったら」(P71)を参照し、それでも解決しない場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

EV 用パワーコンディショナの保証について

- 保証書は内容をよくお読みのと、大切に保管してください。
保証期間・・・保証書に定める保証期間（1年）によります

リチウムイオン電池の交換

リチウムイオン電池の保守・点検上のお願い

リチウムイオン電池の交換の必要性

EV 用パワーコンディショナには、停電時のバックアップ用電源としてリチウムイオン電池を搭載しています。リチウムイオン電池は年数とともに劣化し容量が低下します。

リチウムイオン電池を交換せずに長期間製品を使い続けると、自立運転が開始できなくなるおそれがあります。またリチウムイオン電池が劣化した状態で長期間使用すると発煙、発火、火災の原因になります。

半年に一回、お客様が EV 用パワーコンディショナを運転していないときに自動的にリチウムイオン電池の劣化診断を行い、劣化していた場合はリモコンに蓄電池の交換のお知らせを表示します。劣化診断中に運転やリモコンの操作がなされた場合、診断は中断し自動的にやり直します。

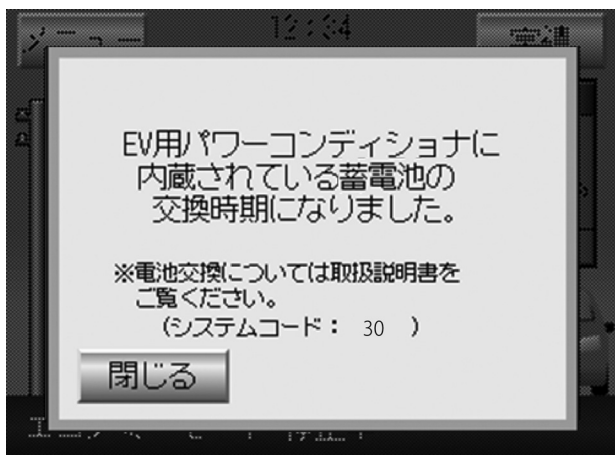
診断中はリチウムイオン電池の放電を行いますので、万一診断中に停電が起こりスリープ状態になった場合、リチウムイオン電池の持続時間は通常時に短くなることがあります。

⚠ 注意



指示に従い
必ず行う

蓄電池の交換時期のお知らせが表示された場合は必ず蓄電池(リチウムイオン電池)を交換する劣化した蓄電池を使用し続けると発煙、発火、火災の原因になります。



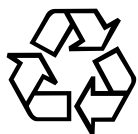
リチウムイオン電池の交換時期が近付くとリモコンの表示画面に左図に示すようなお知らせ画面が表示されます。この表示がされた場合はリチウムイオン電池を交換してください。

リモコンにリチウムイオン電池交換のお知らせが表示された場合は、販売店または修理窓口（P70）までお問合せください。販売店・修理窓口以外によるリチウムイオン電池交換による機器故障は弊社の保証対象となりません。一般家庭の個人等による蓄電池交換は、感電、火災、故障の原因になりますのでお止めください。

お手入れと定期点検のお願い つづき

リチウムイオン電池のリサイクル

- この製品の蓄電池には、リチウムイオン電池を使用しております。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。
- リチウムイオン電池は、そのまま廃却しないでください。古いリチウムイオン電池は、「産業廃棄物」として、「廃棄物処理法」に定められた手続きにより廃却する必要があります。特に事業者が廃却する場合は、特別な管理が必要になります。詳細についてはJBRCのホームページ内「安全・回収」の項目を参照してください。一般家庭の個人が廃却する場合は、地方自治体によりその対処方法が異なりますので、各々の地方自治体にご確認ください。または、最寄りの販売店または修理窓口（**P70**）までご連絡ください。



リチウムイオン電池はリサイクルへ

Li-ion32

三菱電機株式会社

充電ケーブルの交換

充電ケーブルの保守・点検上のお願い

充電ケーブルの定期交換の必要性

EV用パワーコンディショナの充電ケーブルは年数や部品の動作回数により内部の部品が劣化するため交換する必要があります。

充電ケーブルを交換せずに長期間製品を使い続けると、運転が開始できなくなるおそれがあります。また、充電ケーブルが劣化した状態で長期間使用しますと、火災や感電の原因となったり、自動車からはずれなくなるおそれがありますので、必ず交換を実施してください。

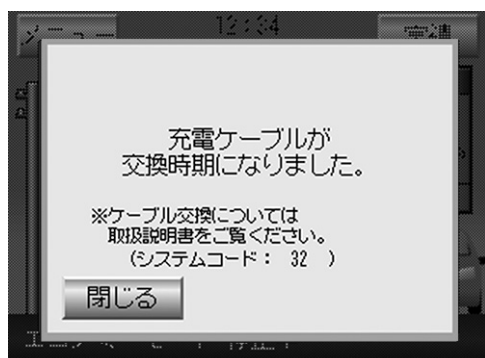
⚠ 注意



指示に従い
必ず行う

充電ケーブルは定期的に交換する

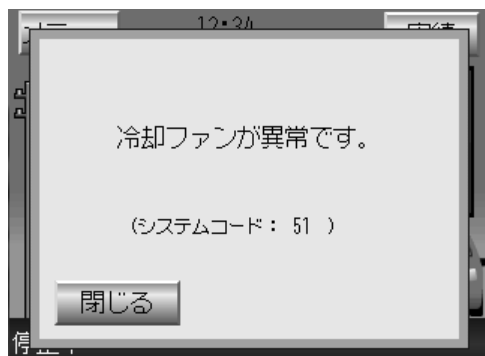
劣化した充電ケーブルを長期間使用しますと、火災や感電の原因になることがあります。



充電ケーブルの交換時期が近付くとリモコンの表示画面に左図に示すようなお知らせ画面が表示されます。この表示がされた場合は早めに充電ケーブルを交換してください。

リモコンに充電ケーブルのお知らせが表示された場合は、販売店または修理窓口（**P70**）までお問合せください。お知らせの表示は、充放電が規定回数に到達すると表示されます。また塩害地域では通電開始から一定期間を経過すると表示される場合があります。

ファンの交換



ファン交換の必要性

EV用パワーコンディショナ内部の冷却用ファンは塩害地域などの設置場所や使い方によっては、交換する必要があります。リモコンの画面に左図のメッセージが表示された場合は、販売店または修理窓口（**P70**）までお問合せください。

地震発生時のお願い

地震により停電が発生した場合は、リモコンの操作で自立運転を行うことができますが、主幹漏電ブレーカ、住宅用分電盤内の漏電ブレーカのどちらか 1 個でも OFF（トリップ動作）していた場合は、漏電または短絡故障している可能性がありますので、EV 用パワーコンディショナの自立運転は行わないでください。

注意



禁止

地震後、漏電ブレーカがOFF(トリップ)した場合は、自立運転を行わない
短絡や漏電が起こり火災の原因になります。

地震により停電が発生した場合は、主幹漏電ブレーカ、住宅用分電盤内の漏電ブレーカの両方とも OFF（トリップ動作）になっていないことを確認してから自立運転を行ってください。なお、電気ストーブ、アイロン、ドライヤーなどの電熱器具は、プラグをコンセントから抜き、使用しないでください。

EV に接続する際のお願い

1. 日産自動車株式会社の EV に接続する際のお願い

EV 用パワーコンディショナを日産自動車株式会社の EV に接続する場合は以下の点にお気をつけください。

| | 内 容 | 処置方法 |
|-----|--|--------------------------------------|
| 〔1〕 | 日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能を使用すると、EV および EV 用パワーコンディショナの機能が正常に動作しません。 | 日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能は使用しないでください。 |

〔1〕日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能を使用すると、EV および EV 用パワーコンディショナの機能が正常に動作しません。

日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能を使用すると、以下のように EV および EV 用パワーコンディショナの機能が正常に動作しません。

| 日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能 | 内 容 | 処置方法 | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------|
| 即充電 | 放電ができない ^(※1) | 操作しないでください | |
| タイマー機能 | タイマー充電 | 放電ができない ^(※1) | OFF に設定してください |
| | タイマーエアコン | 放電ができない ^(※1) | OFF に設定してください |
| リモート機能 | バッテリー状態チェック | 正常に通知されない | 操作しないでください |
| | プラグ差し忘れ通知 | 正常に通知されない | OFF に設定してください |
| | 充電停止通知 | 正常に通知されない | OFF に設定してください |
| | リモート充電 | 放電ができない ^(※1) | 操作しないでください |
| | 乗る前エアコン（リモート） | 放電ができない ^(※1) | 操作しないでください |

(※1) EV 用パワーコンディショナのリモコンの画面にシステムコード 52、67 が表示されます。

EV 用パワーコンディショナと接続する場合は、日産自動車株式会社の EV の「EV-IT」機能は使用しないでください。

※「EV-IT」機能については、日産自動車株式会社の EV の取扱説明書をご参照ください。

お願い

正常に動作しなくなった場合は、EV および EV 用パワーコンディショナで、それぞれ以下の操作を実施してください。

■ EV のリセット

- (1) コネクタを EV から外す。
- (2) EV のブレーキペダルを踏み、パワースイッチを ON にする。
- (3) EV のタイマー機能（タイマー充電、タイマーエアコン）が設定されている場合は、設定を解除する。
- (4) EV のパワースイッチを OFF にする。

※ EV の操作方法については、日産自動車株式会社の EV の取扱説明書をご参照ください。

■ EV 用パワーコンディショナのリセット

コネクタを EV に接続しなおすか、エラー停止状態の解除（**P69**）を実施してください。

2. 三菱自動車工業の EV に接続する際のお願い

三菱リモートコントロール（アウトランダー PHEV）のタイマー充電とプレ空調機能はご使用になることができません（普通充電ケーブル接続時のみご使用いただけます）。

車両選択による機能の一部制限に関するお知らせ

■車両選択をタイプBに設定した場合の制限

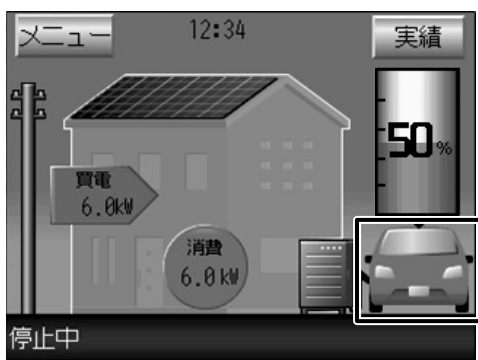
三菱自動車工業株式会社のEVは、コネクタをEVに接続しても接続確認ができないため、常にEVが接続された状態として取り扱っております。

初期設定（タイプA）との相違点は以下の通りです。

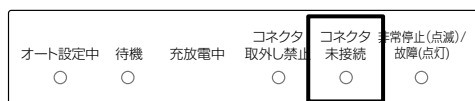
| | 内容 | 処置方法 | 取扱説明書関連箇所 |
|-----|---|--|------------------------------|
| 〔1〕 | リモコン画面のEV状態が常に接続になります。 EV用パワーコンディショナ本体の「コネクタ未接続」ランプが常に消灯になります。 | コネクタがEVに接続されていることを目視で確認して、操作してください。 | 「各部の名前とはたらき」 |
| 〔2〕 | コネクタをEVから外してもEVの情報がクリアされません。 | コネクタをEVから外す際には、EV用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押してください。 | 「使用前の準備 5. EV電池/ピークカット設定」 |
| 〔3〕 | コネクタをEVに差し込んで通常運転(自動運転)を再開する場合は一時停止解除が必要となります。 | リモコンの特殊操作ボタンの「一時停止解除」ボタンを押してください。 | 「各部の名前とはたらき」 |

〔1〕リモコン画面のEV状態が常に接続になります。

EV用パワーコンディショナ本体の「コネクタ未接続」ランプが常に消灯になります。



EV未接続が表示されない



「コネクタ未接続」ランプが点灯しない

初期設定（タイプA）の場合は、リモコン画面のEV状態やEV用パワーコンディショナ本体の「コネクタ未接続」ランプによって、EVと接続されているか確認できますが、車両選択をタイプBに設定した場合は、常にEVが接続された状態の表示となります。

コネクタがEVに接続されていることを目視で確認して操作してください。

メモ

コネクタをEVに接続しないで運転モードを設定した場合、充電、給電ができず、リモコンの画面に以下のメッセージが表示されます。

「EVからの応答がありません。EVを接続したまま画面を閉じてお待ちください。※EVが接続されていない可能性があります。EVとの接続を確認してください。」

(システムコード：72)

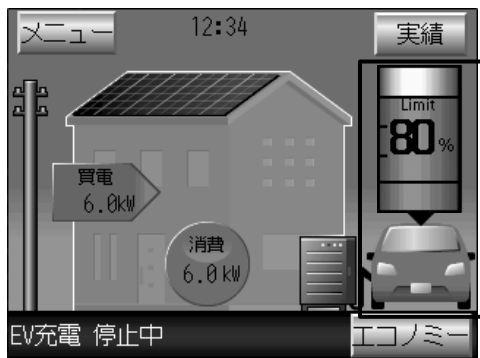
EVとの接続を確認し、コネクタをEVに接続してください。

EVが応答しない場合は、約1分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、コネクタをEVに接続しなおすか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。

EVのバッテリー（鉛蓄電池）の電圧が低下している場合は、バッテリーを充電または交換してください。

車両選択による機能の一部制限に関するお知らせ つづき

〔2〕コネクタをEVから外してもEVの情報がクリアされません。



EV状態が保持される

初期設定(タイプA)の場合は、コネクタをEVから外すと、EVの情報(EV電池残量表示、EV状態等)がクリアされますが、車両選択をタイプBに設定した場合は、コネクタをEVから外してもEVの情報が保持される場合があります。

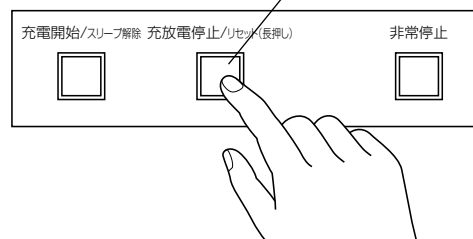
※充電、放電ができない場合は、EVの情報が保持されたままであることが原因である可能性があります。

(例:EVを充電した後に走行して、再びコネクタを接続したとき、EV電池残量表示の上部に「Limit」が表示されていて充電ができない)

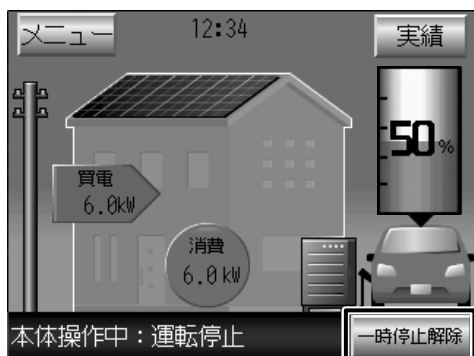
コネクタをEVから外す際には、EV用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを押してください。

「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンでEV情報をクリアせずにお車で外出された場合、帰宅後に、EV電池残量が満充電状態(Limit表示)のままのEV情報であることなどが理由で、EV充電できない場合があります。

充放電停止/リセット(長押し)ボタン



〔3〕コネクタをEVに差し込んで通常運転(自動運転)を再開する場合は、一時停止解除が必要となります。



初期設定(タイプA)の場合は、通常運転(自動運転)を一時停止した後、コネクタをEVに差し込むと、自動的に一時停止を解除して通常運転(自動運転)を再開しますが、車両選択をタイプBに設定した場合は、一時停止が継続されます。

一時停止を解除する場合は、リモコンの特殊操作ボタンの「一時停止解除」ボタンを押してください。

エラー停止状態の解除

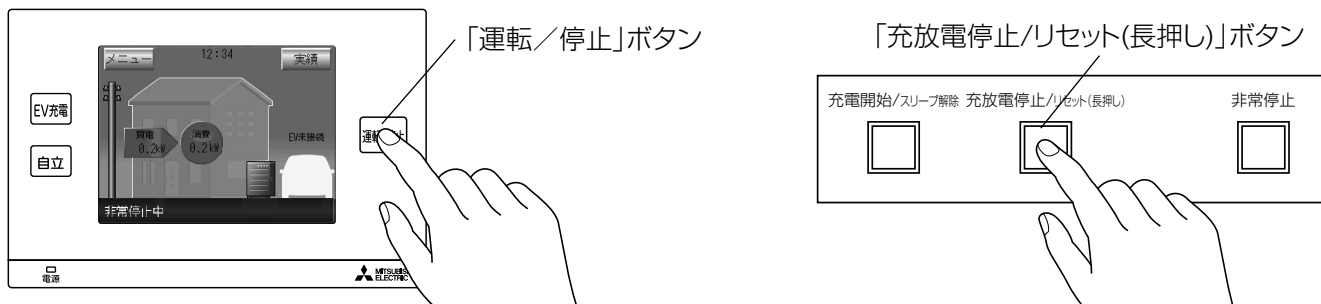
車両の状態により、エラーが発生する場合があります。その場合、下記要領にて EV 用パワーコンディショナを再起動してください。

●解除方法

①解除する前に、リモコンの画面にシステムコードが表示されているときは、必ず、システムコードをメモに控えた後、「閉じる」ボタンを押してポップアップ画面を閉じてください。(P62▶参照)

本作業を行わないで解除すると、システムコードが得られません。

②次にリモコンの「運転/停止」ボタンを 10 秒以上押し続けるか、EV 用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」ボタンを 5 秒以上押し続けることで EV 用パワーコンディショナを再起動することができます。



お願い

EV 用パワーコンディショナから、発煙、発火、異臭、異音がする場合は、再起動操作をせず、お買上げの販売店までご連絡ください。

上記の処置をしても直らないとき

①EV 用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット(長押し)」または「非常停止」ボタンを押すか、リモコンの「運転/停止」ボタンを押して EV 用パワーコンディショナの運転を停止させてください。(P12▶参照)

②車両からコネクタを取り外して EV 用パワーコンディショナに収納してください。

③お買上げの販売店に症状、システムコードを連絡し修理をご依頼ください。

※発生している事象により、車両からコネクタを取り外せない場合があります。コネクタを取り外せない場合は、「充放電停止/リセット(長押し)」または「非常停止」ボタンを押すか、リモコンの「運転/停止」ボタンを押して EV 用パワーコンディショナの運転を停止させた後、コネクタをそのままにしてお買上げの販売店にご連絡ください。無理にコネクタを取り外そうとすると、感電などのおそれがありますので、お気をつけください。

メモ

「非常停止」ボタンは、一度押すと押し込まれたままの状態 (EV 用パワーコンディショナは非常停止状態を継続) となります。解除するには、「非常停止」ボタンを再度押して戻してください。

保証とアフターサービス

■保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

保証書に定める保証期間（1年）によります。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、このEV用パワーコンディショナの補修用性能部品を製造打ち切り後11年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

■修理を依頼される時は（出張修理）

- 「故障かな？と思ったら」（71ページ）にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、保守用遮断器を切り、切替開閉器を系統電力側に切替え、また、太陽光発電を使用時は切替開閉器を住宅用分電盤側に切替え、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となる場合があります。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

- 技術料… 製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代… 修理に使用した部品代金です。
- 出張料… お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 EV用パワーコンディショナ
2. 形名 （製品左側側面をご覧ください。）
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 （できるだけ具体的に）
5. ご住所 （付近の目印なども）
6. お名前・電話番号・訪問希望日

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（EV用パワーコンディショナ）

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 EV用パワーコンディショナの取扱い方法の問合せ

●三菱電機EV用パワーコンディショナ「SMART V2H」技術相談センター

フリーダイヤル

ヴィトゥエイチ



0120-256-528（無料）

携帯電話・PHS・IP電話対応

■ご相談対応 平日（土日祝日・当社休業日除く）

9:00～12:00
13:00～17:00

修理窓口 EV用パワーコンディショナの修理の問合せ・依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル



インターネット



携帯電話サイト



0120-56-8634（無料）

<http://www.melsc.co.jp>

空メールの送り先：fc8634@melsc.jp
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。



携帯電話・PHSの場合



TEL 0570-01-8634（有料）



FAX 0570-03-8634（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S16A-EV

故障かな？と思ったら

「故障かな？と思ったら」にしたがって調べてください。なお、不具合があるときは保守用ブレーカを切り、切替開閉器を系統電力側に切替え、また、太陽光発電を使用時は切替開閉器を住宅用分電盤側に切替え、お買上げの販売店にご連絡ください。

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|------------------------------|---|---|
| 充電ができない。 | 主幹漏電ブレーカが「OFF」している。 | 主幹漏電ブレーカを「ON」にします。 |
| | EVの急速充電口にコネクタが接続されていない。 | EVの急速充電口にコネクタを接続します。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 「充電上限設定1（または2）」に達している。 EV固有の充電上限値に達している。（EVの仕様により充電上限が制限され、「充電上限設定1」以下のEV電池残量で満充電停止する場合があります。） 満充電付近では充電電力が制限されるため、充電に時間がかかる。 | 電池残量レベルが一定量下がるまで給電すると充電を再開できます。 |
| | 停電していて、EVの蓄電池容量が放電できる下限値を下回っている。 | 復電してから放電できる下限値を上回るまで充電してください。 |
| | 通常運転（自動運転）が設定されているため、EV用パワーコンディショナ本体操作部の「充電開始/スリープ解除」ボタンで「充電開始」操作をすることができません。（P12参照） | 通常運転（自動運転）をリモコンで停止させてください。 |
| | ピークカット目標値により電力会社から買う電力が制限されている。 | ピークカット目標値を上げてください。 |
| リモコンのブレーカ容量設定値が低い。（P21参照） | 正しい容量値に設定する。 | |
| 充電はできるが放電（住宅内負荷への給電）ができない。 | EVがV2H対応になっていないと充電しかできません。 | EVを購入された販売店にV2H対応になっているか確認してください。 |
| | EVを購入された販売店で更新された最新ソフトウェアが三菱EV用パワーコンディショナ向けV2H対応ソフトウェアでない場合がある。 | ソフトウェア改修が必要な場合、「三菱電機製EV用パワコン（EVP-SS60B3-**）とV2H接続が可能なソフトに書き換えてください。」とお客様より各自動車販売店へご依頼ください。 |
| 充電に時間がかかる。（充電電力が定格充電電力より少ない） | <ul style="list-style-type: none"> 「充電残量設定1」に達している。 EV固有の放電下限値付近に達している。（EVの仕様により放電下限が制限され、「充電残量設定1」以上のEV電池残量で放電停止する場合があります。） | 電池残量レベルが一定量上がるまで充電すると給電を再開できます。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 契約電力を超えないように充電電力を制御しているため、契約電力が少なかったり、使用する負荷が多い時は充電電力が少なくなります。 直射日光が当たっていませんか。EV用パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、出力を制限している可能性があります。 | <ul style="list-style-type: none"> 製品異常ではありません。使用している負荷の電源を切り、消費する電力を少なくしてください。 直射日光が当たらないようにひさしを設けてください。 |
| 製品内部から「カチッ」と音がする。 | 運転開始/停止時に回路を切り替える動作音です。「カチカチ」と音が連続することがあります。 | 製品異常ではありません。 |
| 充電コネクタ内部から「カチッ」と音がする。 | コネクタをロックするための動作音です。コネクタを接続しない状態でもチェックのため「カチカチ」と音がすることがあります。 | 製品異常ではありません。 |
| 製品から「ブーン」という風切音がする。 | EV用パワーコンディショナの温度上昇を防ぐため、冷却ファンによる風切音です。 | 製品異常ではありません。 |
| ラジオやテレビなどに電波障害がでる。 | ラジオやテレビなどがEV用パワーコンディショナに近すぎる。 | ラジオやテレビに影響の少なくなる場所へ移動してください。EV用パワーコンディショナの据付位置を変更する場合はお買上げの販売店にご相談ください。 |

故障かな？と思ったら つづき

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|---|---|--|
| 自立運転モードで装置が停止する。 | 総負荷容量が給電可能容量（6kVA）を超えている。片相に100V 5kVAを超える負荷が接続されている。 | 製品異常ではありません。 使用する負荷を減らしてください。 |
| | 突入電流の大きい負荷が接続されるとEV用パワーコンディショナ内の保護機能が動作することがあります。 | 突入電流の大きい負荷のご使用をひかえてください。 |
| 自立運転モードで電球がちらつく。 | 白熱電球などはちらつくことがあります。 | 製品異常ではありません。 |
| 充電ケーブルがかたい。 | 周囲の温度が低いときに、充電ケーブルがかたくなる場合があります。 | 製品異常ではありません。 |
| 住宅内負荷がEVからの給電で賄えるとき、またはピークカット目標値が0.0kW設定時においてもリモコンの買電に数値が表示される。 | EV用パワーコンディショナから系統への逆潮流を防止するための制御により、買電に0.1～0.2kW程度が表示されます。 | 製品異常ではありません。 |
| | EVからの給電で賄える電力（最大6.0kW）とPVの発電電力の合計より住宅内負荷が大きい場合は目標値を超えて買電します。 | 製品異常ではありません。 |
| リモコンの電力表示が安定しない。 | 片相のみに住宅内負荷が集中しているときに、それを抑える制御をしています。 | 故障ではありません。 |
| 一部の電熱機器（ヘアードライヤー、電気ストーブ、ホットカーペット等）を使用すると運転が停止する。 | ヘアードライヤー、電気ストーブ、ホットカーペットなどの電熱機器を、「弱」設定等の半波（はんぱ）整流負荷状態にて、同時に複数ご使用になられる場合、検出回路の誤検出（規格値超と判断）によって運転を停止させる場合があります。 | 複数の電熱機器を「弱」設定で同時に使用しないでください。 半波（はんぱ）整流負荷でない電熱機器を使用してください。 |
| 住宅内負荷への給電が十分でない。 | 総負荷容量が車両の給電可能容量を超えている。 | 製品異常ではありません。 使用する負荷を減らすか、車両を充電してから再度運転してください。 |
| | 直射日光が当たっていませんか。EV用パワーコンディショナ内部の温度が上昇し、出力を制限している可能性があります。 | 直射日光が当たらないようにひさしを設けてください。 |
| リモコンのタッチパネル画面にノイズが見える。 | 画面切替えのときに、画面にノイズが見える場合があります。 | 製品異常ではありません。 |
| リモコンのタッチパネル画面がちらつく。 | リモコンのタッチパネル画面がちらついて見える場合があります。 | 製品異常ではありません。 |
| コネクタのロックが解除できない。 | 充電、放電している。 | EV用パワーコンディショナ本体の「充放電停止/リセット（長押し）」ボタンで停止してください。 |
| | 停止してもコネクタに電圧が印加されている。 | エラー停止状態の解除（ P69 ）を実施してもロックが解除されない場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 なお、お客様の自己責任において緊急離脱する場合は、緊急離脱方法を実施してください。（ P39 参照） |

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|---|--|---|
| 電力系統が停電していないのに、住宅内が停電状態を継続する。 | EV 用パワーコンディショナ内部の開閉器が故障している。 | 切替開閉器で電力系統と住宅用分電盤をバイパスして、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 |
| | 住宅内負荷を契約容量以上、または不平衡状態での使用により、受電主幹漏電ブレーカまたは保守用ブレーカが「OFF」している。 | 住宅内でご使用中の電気製品の電源を一旦落としてから、受電主幹漏電ブレーカおよび保守用ブレーカを「ON」する。 |
| 電力系統が復電しても充電、放電ができない。 | 電力会社との取り決めにより、復電後はすぐに運転できない。 | 復電から約 5 分以内に運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| 自立運転で PV 用パワーコンディショナが停止する。 (例：三菱製 PV 用パワーコンディショナに U-1 表示が出る場合) | PV 用パワーコンディショナの発電電力が EV の充電可能な電力を超過した。(EV 電池残量が上限付近では EV から充電電流が制限されます)(エラーで停止しないため PV 用パワーコンディショナを切り離す) | 約 15 分以内に PV 用パワーコンディショナが運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| | EV 電池残量が上限に達した。(過充電防止のため PV 用パワーコンディショナを切り離す) | EV 電池残量が約 5% 低下するまで放電すると、約 5 分以内に PV 用パワーコンディショナが自動的に運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| | 自立運転時は、PV 用パワーコンディショナの保護機能が動作することがあります。 | 約 5 分以内に PV 用パワーコンディショナが自動的に運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。 「LAN の接続を確認してください。」 (システムコード：1) | LAN を使用しないのに「LAN 接続」を「有効」に設定している。 | 「LAN 接続」を「無効」に設定してください。(P21 参照) |
| | LAN 通信機器の設定や接続に問題がある。 | LAN 通信機器の設定や接続を確認してください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「EV 用パワーコンディショナに内蔵されている蓄電池の電圧が低下しています。電気がきているか確認してください。」 (システムコード：10) | EV 用パワーコンディショナ内部の蓄電池が充電不足になっている。 | 電力系統と接続すると EV 用パワーコンディショナ内部の蓄電池が自動的に充電されます。エラー停止状態の解除 (P69) を実施して運転を再開してください。 |
| | EV 用パワーコンディショナ本体または内部の蓄電池に異常がある。 | 電力系統と接続して約 6 時間以上経過してもエラー停止状態が解除できない場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 |
| 充電、放電ができない。 (システムコード：13、14、18、102、104、182、185) | EV 用パワーコンディショナ内部の温度が上昇している。 | 約 10 分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、エラー停止状態の解除 (P69) を実施して運転を再開してください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。 「外気温が低くなりすぎたため運転を停止しました。※外気温が上がったら運転を再開します。」 (システムコード：16、39) | 外気温が低下して使用温度範囲を下回る。 | 外気温が上昇すると自動的に運転を再開します。 |

故障かな？と思ったら つづき

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|--|--|---|
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。 「冷却ファンが異常です。」 (システムコード：51、127) | EV 用パワーコンディショナ内部のファンが故障している。 | EV 用パワーコンディショナ内部の温度が上昇するため、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 |
| 充電残量設定 1 を 0% に設定しているのに、0%まで放電できない。 | 給電可能な電池残量は車種や年式により異なります。EV 固有の放電下限値により給電が制限されます。(0% まで給電できません) | 充電残量設定 2 を初期値の 5% から 0% に変更することで 5% 分だけ改善することができます。詳細は P29 を確認してください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて放電ができない。 「この EV は放電できません。」 (システムコード：52) | EV の設定で放電が禁止されている。 (P66 参照) | EV の設定を確認してください。 |
| | EV が V2H 対応になっていない。 | EV を購入された販売店に V2H 対応になっているか確認してください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「この EV には対応していません。」 (システムコード：53) | PHEV の場合、イグニッションがオンになっている。 | PHEV のイグニッションをオフにして、運転を再開してください。 |
| | EV に対応していない。 | EV の車種、型式をご確認の上、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電ができない。 「充電が終わりました。」 (※ 1) (システムコード：54) | EV 電池残量の上限まで充電して「EV 満充電」になった。(P31 参照) | EV 電池残量が約 5% 低下するまで放電してください。 コネクタを EV に接続しなおすか、エラー停止状態の解除 (P69) を実施して運転を再開してください。 |
| | 買電最小運転 (グリーンモードの場合は「給電時間」動作時) で EV 電池残量が上昇して充電が禁止された状態を継続した。 (EV 用パワーコンディショナ本体の消費電力削減のため一時停止) | 買電 / 売電電力が買電になると、約 10 分後に自動的に運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて放電ができない。 「EV 電池の残りが少なくなりました。充電してください。」(※ 1) (システムコード：55) | EV 電池残量の下限まで放電して「EV 不足充電」になった。(P31 参照) | EV 電池残量が約 5% 上昇するまで充電してください。 コネクタを EV に接続しなおすか、エラー停止状態の解除 (P69) を実施して運転を再開してください。 |
| | 買電最小運転 (グリーンモードの場合は「給電時間」動作時) で EV 電池残量が低下して放電が禁止された状態を継続した。 (EV 用パワーコンディショナ本体の消費電力削減のため一時停止) | 買電 / 売電電力が売電になると、約 10 分後に自動的に運転を再開します。しばらくお待ちください。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「EV のシフトレバーをパーキングにしてください。」 (システムコード：58) | EV のシフト位置がパーキング以外になっている。 | EV のシフト位置を確認した後、コネクタを EV に接続しなおして運転を再開してください。 |

(※ 1) 通常運転 (エコノミーモード、グリーンモード、EV 予約充電モード) または HEMS 操作中の場合、メッセージは表示されません。

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|--|--|--|
| <p>充電、放電ができない。 「EVが充放電できなくなりました。EVの状態を確認してください。」 (システムコード：61)</p> | <p>EVから停止指令を受信した。</p> | <p>製品異常ではありません。 約10秒後に自動的に運転を再開します。 自動的に運転を再開しない場合は、コネクタをEVに接続し直すか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「EVからの応答がありません。EVを接続したまま画面を閉じてお待ちください。※EVが接続されていない可能性があります。EVとの接続を確認してください。」 (システムコード：72)</p> | <p>コネクタがEVに接続されていない。 EVが応答しない。 EVのバッテリー（鉛蓄電池）の電圧が低下している。</p> | <p>コネクタをEVに接続してください。 約1分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、コネクタをEVに接続しなおすか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。 EVのバッテリー（鉛蓄電池）を充電または交換してください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「充電ケーブルのコネクタがロックできていません。コネクタの接続を確認してください。」 (システムコード：75)</p> | <p>コネクタが正しく差し込まれていない。 コネクタのロック機能に異常がある。</p> | <p>コネクタの差し込みを確実に実施してください。 最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 コネクタをEVから外す場合は、感電のおそれがありますので、停止したことを確認してから外してください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「EVの充電口に異常があります。充電ケーブルを抜かないでください。」 (システムコード：119)</p> | <p>停止してもコネクタに電圧が印加されている。</p> | <p>エラー停止状態の解除（P69）を実施してもコネクタのロックが解除されない場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電ができない。 「EVからの応答がありません。EVの状態を確認してください。」 (システムコード：125)</p> | <p>EVが応答しない。</p> | <p>コネクタをEVに接続しなおすか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電ができない。 「充電するための電気が不足しています。電気の使用量を減らしてください。」 (システムコード：126)</p> | <p>EV電池残量が下限まで放電した状態で、EVの充電電力が低下した。</p> | <p>住宅内負荷の消費電力を減らしてください。 買電電力が少なくなると約10分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、コネクタをEVに接続しなおすか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電ができない。 「最大充電時間を超過したため運転を停止しました。」 (システムコード：123)</p> | <p>V2H非対応のEVに充電しているときに、EVが許容する最大充電時間を超過した。</p> | <p>約5秒後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、コネクタをEVに接続しなおすか、エラー停止状態の解除（P69）を実施して運転を再開してください。</p> |

故障かな？と思ったら つづき

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|---|---|---|
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。「EV用パワーコンディショナ内の温度が高いため、一時的に出力を減らしています。」 (システムコード：151)</p> | <p>EV用パワーコンディショナ内部の温度が上昇して充電、放電電力が制限されている。</p> | <p>製品異常ではありません。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。「系統電圧が高いため一時的に出力を減らしています。」 (システムコード：152)</p> | <p>電力系統の電圧が上昇して放電電力が制限されている。</p> | <p>製品異常ではありません。 本システムコードがひんぱんに出る場合は、最寄りの電力会社様にご相談ください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。「電気を使いすぎています。電気の使用量を減らしてください。」 (システムコード：122)</p> | <p>自立運転で住宅内負荷の消費電力が給電可能な電力を超過している。</p> | <p>自立運転が停止して停電するおそれがあります。住宅内負荷の消費電力を減らしてください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて自立運転できない。「電気を使いすぎています。電気の使用量を減らして運転を再開してください。」 (システムコード：155、156)</p> | <p>自立運転で住宅内負荷の消費電力が給電可能な電力を超過した。</p> | <p>住宅内負荷の消費電力を減らして運転を再開してください。 エアコンなど運転開始時の消費電力が大きい機器が複数ある場合は、機器の運転開始のタイミングをずらすことで給電可能になることがあります。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて充電、放電できない。「充電ケーブルのコネクタが熱くなっています。取り外す場合はご注意ください。」 (システムコード：135)</p> | <p>エラー停止状態の解除 (P69) を短時間に何度も繰り返した。</p> | <p>約3分後に運転ができるようになります。コネクタが熱くなって故障の原因になりますので、エラー停止状態の解除 (P69) は短時間に何度も繰り返さないでください。</p> |
| <p>リモコンの画面に以下のメッセージが表示されて自立運転できない。「電気を使いすぎています。電気の使用量を減らして運転を再開してください。」 (システムコード：173)</p> | <p>自立運転で住宅内負荷が片相100Vに集中して、住宅内負荷の消費電力が給電可能な電力を超過した。</p> | <p>住宅内負荷の消費電力を減らしてください。約3分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、エラー停止状態の解除 (P69) を実施して運転を再開してください。</p> |
| <p>EV用パワーコンディショナ本体の「充電開始/スリープ解除」ボタンやリモコンの割り込み運転で運転モードを設定しても、運転状態が変化しない。</p> | <p>エラーが発生して一時停止している。 条件によっては、特定の運転モードを受け付けず、前回の運転モードを継続する。 (例：“EV満充電”で売電最大運転中にEV充電運転を設定しても売電最大運転を継続する)</p> | <p>約3分後に自動的に運転を再開します。自動的に運転を再開しない場合は、エラー停止状態の解除 (P69) を実施してください。 製品異常ではありません。停止したい場合は、EV用パワーコンディショナ本体の充放電停止/リセット(長押し)ボタンまたはリモコンの運転/停止ボタンで停止してください。</p> |

| 現象 | 原因 | 処置方法 |
|--|---|---|
| リモコン画面に以下のメッセージが表示される。「電気を使いすぎています。電気の使用量を減らして運転を再開してください。」 (システムコード：196、197) | 住宅内負荷の消費電力が供給可能な電力を超過している。 住宅内負荷が片相 100V に集中している。 | 住宅内負荷の消費電力を減らして運転を再開してください。 住宅内負荷の消費電力を減らして運転を再開してください。 |
| リモコンのホーム画面のシステム状態表示に「非常停止中」と表示される。 | EV 用パワーコンディショナ本体の非常停止ボタンを押した。 重大なエラーが発生した。 自動的に運転を再開するエラーが続けて複数回発生した。 | 充放電停止 / リセット (長押し) ボタンを長押し (約 5 秒間) して解除してください。 エラー停止状態の解除 (P69) を実施しても非常停止中を継続する場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 エラー停止状態の解除 (P69) を実施しても非常停止中を継続する場合は、最寄のサービスセンターまでご連絡ください。 |
| コネクタを接続しても、「コネクタ未接続」ランプが点灯したままになり、リモコンの EV 接続状態が白抜車画像 (EV 未接続) になる。 | 「車両選択設定」がご使用の車種と合っていない。 EV のバッテリー (鉛蓄電池) の電圧が低下している。 | 「2. 車両選択設定」 (P23) を実施して、設定がご使用の車種と合っているかご確認ください。 EV のバッテリー (鉛蓄電池) を充電または交換してください。 |
| 非常停止状態が解除できない。 | EV 用パワーコンディショナ本体操作部の「非常停止」ボタンが押し込まれた状態になっている。 | 「非常停止」ボタンを再度押して戻してください。 |
| リモコンの操作画面をタッチしても画面が表示されない。 | スリープ状態になっている。 | EV 用パワーコンディショナ本体操作部の「充電開始 / スリープ解除」ボタンを押してスリープ状態を解除してください。(P12 参照) |
| リモコンの画面に何も表示されず、操作ができない。(リモコンの電源ランプが消灯) | 停電発生後、自立運転を開始していないため、スリープ状態になり、リモコンの電源ランプが消え、操作画面が表示されません。 | 本体側面の「充電開始 / スリープ解除」ボタンを押してスリープ状態を解除してください。詳細は「2. 自立運転をする」(P39) を確認してください。 |
| EV への充電電力、または EV からの供給電力が抑制される。 | 外気温が高い、または低い場合に、電力を抑制する場合があります。 | 製品異常ではありません。低温で電力が抑制された場合は、運転を始めて本体内温度が上昇すると抑制を解除して運転します。 |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。「EV 用パワーコンディショナに内蔵されている蓄電池の交換時期になりました。」 (システムコード：30) | 内蔵されているリチウムイオン電池が劣化して電池容量が少なくなっている。(P63) | 販売店または、修理窓口までご連絡ください。(P70) |
| リモコンの画面に以下のメッセージが表示される。「充電ケーブルが交換時期になりました。」 (システムコード：32) | 充放電が規定回数に到達したか、通電開始から一定期間が経過している。(P64) | 販売店または、修理窓口までご連絡ください。(P70) |

仕様

| 製品名 | | EV用パワーコンディショナ |
|--------------------|--|--|
| 形名 | EVP-SS60B3-M7、EVP-SS60B3-Y7、EVP-SS60B3-Y7W | |
| 設置場所 | 屋外 ^{*1} | |
| 保護等級 | IP45 ^{*2} | |
| 使用温度・湿度範囲 | -20～+40℃ ^{*3} 、30～90%(RH) ^{*4} | |
| EV側電圧範囲 | DC150～440V | |
| AC側定格電圧、周波数（連系運転時） | AC202V、50/60Hz | |
| AC側定格電圧、周波数（自立運転時） | AC202 / 101V、50/60Hz | |
| AC側定格電力（連系運転時） | 6.0kW | |
| AC側定格電力（自立運転時） | 6.0kVA（片相100V 最大5.0kVA） ^{*5} | |
| 最大電力変換効率 | 90% ^{*6} | |
| 運転時騒音 | 45dB ^{*7} | |
| 電気方式（連系運転時） | 単相2線式（単相3線式配電線に接続） | |
| 電気方式（自立運転時） | 単相3線式 | |
| 保護機能 | 連系保護 | OV（過電圧）、UV（不足電圧）、OF（周波数上昇）、UF（周波数低下）、RP（逆電力） |
| | 単独運転検出方式 | 受動的方式、能動的方式 |
| 充電ケーブル長 | 7m | |
| 質量 | 158kg ^{*8} | |
| 外形寸法（W×D×H） | 842×451×1219mm ^{*8} | |

※1：本製品の設置条件は、周囲温度 -20～+40℃の一般地域。直射日光が当たる場所は避けてください。重塩害地域およびこれに相当する地域には設置不可。

※2：JIS C 0920 で規程する防塵防水に関する保護等級を示しています。いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない防塵・防噴流形であることを示すものであり、故障や破損が一切生じないことを保障するものではありません。

※3：外気温が -20℃以下では保護機能が動作するため運転停止します。保護機能は -15℃（目安）以上になると解除されます。

※4：ご使用の環境及び負荷により出力制限する場合があります。

※5：各相のご使用電力差が 4kVA を超えると運転を停止する場合があります。

※6：車両への充電および車両からの放電には直流・交流の電力変換による電力損失が発生します。電力変換効率は EV 用パワーコンディショナの運転モード、EV の駆動用蓄電池の電圧やご使用の環境などによって変化します。また、EV 用パワーコンディショナは待機時も電力を消費しています。

※7：JIS C 1509-1 で規程する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央 1m、高さ 1m での測定値です。運転音は反響の少ない無響音室で測定した数値です。

※8：本体背面突起物、取付足部を含む。鍵付ケーブルカバーを含みます。

リモコン

| | |
|-------------|--------------------------|
| 設置場所 | 屋内 |
| 使用温度範囲 | 0～40℃ |
| 外形寸法（W×D×H） | 180×30×120mm |
| 電源 | DC 9V（EV用パワーコンディショナより供給） |
| 画面 | 5インチカラー液晶、表示画素数 320×240 |
| 質量 | 380g |

※本リモコンは EV 用パワーコンディショナ専用品です。説明書に記載されていない機能については使用できません。

※本リモコン下部にスロットキャップがありますが、本製品ではご使用いただけませんので、開けないでください。

オプション

鍵付ケーブルカバー

形名：EVP-BC02

外形寸法（W×D×H）：113×350×1119mm

電流センサー（CT）接続用ケーブル 25m（Y7W用）

形名：EVP-BT25




リモコンケーブル 50m

形名：EVP-BK50

リモコンケーブル 20m

形名：EVP-BK20

| | |
|------|----------|
| 便利メモ | お買上げ販売店名 |
| | 電話番号 |

| | | | |
|---|--|---|--|
| 愛情点検 | ●長年ご使用のEV用パワーコンディショナの点検を! <small>(熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。)</small> | | |
| | <table border="1"><tr><td>こんな症状はありませんか</td><td><ul style="list-style-type: none">●本体、電線が異常に熱い。●コゲくさい臭いがする。●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。●その他の異常・故障がある。</td><td>ご使用中止 事故防止のため、保守用ブレー力を切り、切替開閉器を系統電力側に切替え、また、太陽光発電を使用時は切替開閉器を住宅用分電盤側に切替え、お買上げの販売店にご連絡ください。</td></tr></table> |  こんな症状はありませんか | <ul style="list-style-type: none">●本体、電線が異常に熱い。●コゲくさい臭いがする。●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。●その他の異常・故障がある。 |
|  こんな症状はありませんか | <ul style="list-style-type: none">●本体、電線が異常に熱い。●コゲくさい臭いがする。●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。●その他の異常・故障がある。 | ご使用中止 事故防止のため、保守用ブレー力を切り、切替開閉器を系統電力側に切替え、また、太陽光発電を使用時は切替開閉器を住宅用分電盤側に切替え、お買上げの販売店にご連絡ください。 | |

三菱電機株式会社

京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場図所1番地